

第1号

日本語で 読みたい 韓国の本

— おすすめ50選



K-文学振興委員会

韓国文化と 韓国文学の 紹介によせて 中沢けい

日本と韓国は隣り合った国で、現在では人の往来も多く、相互に様々な品物が行き交っています。かつては近くて遠い国と言われた韓国が、現在では本当の隣国としての交際が始まっています。日本文化、日本文学、そして現代日本の諸相に、韓国の人々は高い関心を寄せています。ソウルの書店に入れば、日本関連の書籍の多さに驚くことでしょう。また多くの生徒、学生が日本へ留学しています。

日本が韓国に抱く関心もまた高まり始めています。観光のために韓国を訪れる人も多く、日本から韓国への留学生は増加し、韓国語学習者も増えました。韓流のK-POP、テレビドラマ、

映画を楽しむ人々もいます。

しかし、韓国語から日本語へ翻訳紹介される書籍は、日本語から韓国語に翻訳紹介される書籍に比べ、まだまだ少ないと言わざるを得ません。活字による理解は、文化の理解をより深くするもので、多面的で厚みのある相互理解をもたらします。この度、設立いたしましたK-文学振興委員会では、韓国の現代文化、現代文学を広く皆様にご紹介し、日本での翻訳出版へのご案内をしたいと計画しています。それにより、一般の読者の喜びとなることはもとより、韓国語学習者のより深い理解を助け、相互の文化的な刺激をもたらすことを望みます。

日本文学、日本文化が韓国で翻訳出版されるのと同程度の韓国文化、韓国文学が日本で翻訳出版されれば、良い競争相手を得て両国の文化はより豊かな発展を遂げることでしょう。

良き競争相手の存在は、両国の文化をより厚みのあるものと育てることでしょう。一九世紀ヨーロッパに優れた文化の華が開いたのも、ヨーロッパには競


争相手となる国々があったためです。言葉の壁は障害ではなく、文化を多様で豊饒なものとするための跳躍台となることでしょう。言葉の壁の中で静かに優しく育てられた文化と文学は、翻訳によって新しい息吹に触れ、美しい変容を起こすことでしょう。


日本と韓国の微妙な違いこそ、新たな創造を育てるための水源です。水源はこんこんと新たな創造を生み出すことでしょう。


K-文学振興委員会が両国の新たな時代精神を生み出すための一助になれば、これほどの喜びはありません

中沢けい（なかざわけい）


K-文学振興委員会委員長、小説家、
法政大学教授


 **映画が好きだ**
—韓国映画を代表する忠武路の映画関係者らの率直な話
나는 영화가 좋다
- 한국영화를 대표하는 충무로 영화인들의 진솔한 이야기
92


 **銭湯で出会った億万長者の金持ちの話**
목욕탕에서 만난 백만장자의 부자이야기
74


 **一日3時間、ママの匂い**
하루 3시간, 엄마 냄새
56


おすすめの本：実用


 **踊る韓方医チェ・スの自分で作る韓方薬**
춤추는 한의사 최승의 내 손으로 보약만들기
94


 **ダーウィンの知能**
—共感の時代を生きるための知恵
다윈 지능
- 공감의 시대를 위한 다윈의 지혜
76


 **キムチ愛国主義**
—マスコミの理由なき反日
김치 애국주의
- 언론의 이유 없는 반일
58

 **美肌をダメにする42の真実**
—最強のビューティー・アドバイザー2人による肌の常識
명품 피부를 만드는 42가지 진실
96

 **戦う人文学**
—韓国人文学の最前線
싸우는 인문학
- 한국 인문학의 최전선
78

 **私が読んで出会った日本**
내가 읽고 만난 일본
60


 **料理になったトッポッキ**
요리가 된 떡볶이
98

 **私の文化遺産 踏査記7: 濟州道**
나의 문화유산 답사기 7 : 돌하르방 어디 갈수광
80


 **身長103cmヒアの奇跡**
103センチメートル 희아의 기적
62


おすすめの本：マンガ

 **SNOWCATのひとり遊び**
SNOWCAT의 혼자 놀기
100


 **東洋と西洋のお茶物語**
동과 서의 차 이야기
82


 **寂しい時は山に行け**
외롭거든 산으로 가라
64


 **陶磁器**
一心を込めた器
도자기 - 마음을 담은 그릇
102

 **ユ・ホンジュンの国宝巡礼**
유흥준의 국보순례
84


 **韓国式の産後ケア 100日の軌跡**
산후조리 100일의 기적
66


 **お風呂の神**
목욕의 신
104


 **協同組合は素晴らしい**
—世界の99%のための企業を学ぶ
협동조합, 참 좋다
- 세계99%를 위한 기업을 배우다
86

 **健闘を祈る**
건투를 빈다
68


 **奥付**
107


 **都市生活者の政治白書**
도시생활자의 정치백서
88

 **男の空間**
남자의 공간
70

 **ハン・ホングと一緒に歩く**
—平和のまなざしで振り返った韓国現代史
한홍구와 함께 걷다
- 평화의 눈길로 돌아본 한국 현대사
90


 **脳美人 뇌미인**
72

 **私の人生に勇気を与えてくれた一言**
내 인생에 용기가 되어준 한마디
40


 **たった一度の愛**
단 한 번의 연애
22

ご挨拶
1

おすすめの本：文芸


 **地球という星の大人が星の王子様に**
出会う
지구별 어른, 어린양자를 만나다
42


 **桃の木**
복숭아 나무
24


 **高齢化家族**
고령화 가족
6

おすすめの本：絵本

 **お花畑**
꽃밭
44


 **西の森へ行った**
서쪽 숲에 갔다
26

 **旅をする猫**
고양이 여행자
8

 **雪のはら**
눈발
46


 **時間を売る店**
시간을 파는 상점
28


 **야じ馬たち**
구경꾼들
10


 **しらないふりの**
おひめさま
모르는 척 공주
48

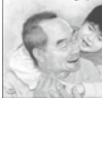
 **wnduggi**
윈득이
30


 **私のTOEIC**
満点手記
나의 토익 만점 수기
12


 **チェ・スッキの童謡CD付き**
絵本セット
최숙희의 그림책 동요 세트
50

 **ウィザード・ベーカリー**
위저드 베이커리
32

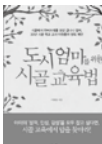
 **わたしの恋愛のすべて**
내 연애의 모든 것
14

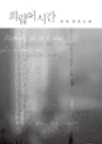
 **おじいさんを喜ばせる12の方法**
할아버지를 기쁘게 하는 12가지 방법
52

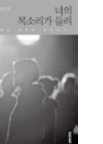
 **おやすみ、ママ**
잘 자요, 엄마
34

 **わたしの舌が口のなかに閉じ込められているのを拒否したら**
내 혀가 입속에 갇혀 있을 거부한다면
16


おすすめの本：ノンフィクション


 **都会のママに贈る**
田舎の教育法
도시엄마를 위한 시골 교육법
54

 **古代ギリシャ語の時間**
희랍어 시간
36

 **君の声が聞こえる**
나의 목소리가 들려
18

 **都会のママに贈る**
田舎の教育法
도시엄마를 위한 시골 교육법
54

 **幸せな晩餐**
행복한 만찬
38

 **オオカミ**
늑대
20

になっていたミンギョンを救い出してきたのであった。

ミヨンの三度目の結婚式。ミヨンの手を取ってバージンロードを歩いてくのは、母のかつての不倫相手?! 俺だけが知らなかった家族の秘密が一つずつ明らかになり、俺は家族がそれぞれ歩んできた人生について考え始める。

大ハンマーが去り、ミヨン母娘が去り、家には母と俺二人きりになった。

そんなある日、大ハンマーから空港に呼び出され、衝撃の告白を聞かされる。組織との約束を破り、例の美容室の女と海外に逃亡することにしたという! そして、それは見事に成功する。俺は、後日このせいで組織の者に連行されて半殺しの目に遭うが、殴られながら人生の意味、家族の意味を再発見し、大ハンマーの居場所を最後まで黙り通すことを決める。

その後、俺は昔の恋人と再会し癒しを得てゆく。そして、俺たち中年三兄弟が十分に回復し、再び社会に立ち向かう勇気を得、それぞれに新しい居場所を獲得した時、母はこの世を去って行った。



2013年5月9日公開(現在上映中)
(監督: ソン・ヘソン 注演: パク・ヘイル、ゴン・ヒョジョン等)

全体のあらすじ

48歳、「映画監督」とは名ばかりで、12年前にデビュー作が大コケして以来、廃人まっしぐらの俺。妻には離婚され、酒に溺れ、ついには破産まで。大家に家を追い出され、70過ぎの母の家に転がり込むことに。

しかし、母の家には3年前からすでに、52歳で体重120キロ、前科5犯で現在無職の兄オ・ハンモ、別名「大ハンマー」が居座り中。こいつは俺の宿敵。早くも初日から取っ組み合いのケンカに。

ひと月後、居間のソファで昼寝から覚めると、制服姿の見知らぬ少女がテレビを見ながらケラケラ笑っている。元ホステスでカフェバーを運営中の妹ミヨンの娘で、名前はミンギョンというらしい。ミヨンは再婚した夫に浮気がばれて袋叩きにされ、子連れて母のもとへ逃げてきたようだ。

こうして平均年齢49歳のドタバタ共同生活が始まった。

母性愛にあふれる母は、人生に敗れて戻ってきた俺たち三人の子供を無条件に受け入れ、せっせと食事の面倒をみてくれる。しかし、俺たちはいい年してその自覚もなく、ミヨンはさっさと新しい男を作って外泊がちになり、俺は姪のミンギョンからまきあげた金で、大ハンマーがひそかに想いを寄せる美容室の女を旅行に誘ったりしている。

夏も終わりかけのある夕方、事件は起こる。俺は大ハンマーがキャラクター柄のパンツを片手にオナニーに耽っているのを目撃してしまった! 母はそれは自分のパンツだと言って大ハンマーをかばうが、罵声を浴びせるミヨンの言葉から、俺は母がこれまで一度も語る事のなかった大ハンマーの出生の秘密を知ることになる。

しばらくして、ミンギョンが「この家族ぜんぶイヤ」というメモを残して家出。時を同じくして女子中学生を狙った強姦殺人事件が頻発する。泣きじゃくるミヨンを前に、大ハンマーは「母さんが罪深いせいだ」と意味深なことを言って涙を流すが、大ハンマーの言葉に少年期の記憶が反応し、俺は母の過去に疑問を持ち始める…。そして、パンツ事件以来、家族に隠れるように縮こまって暮らしていた大ハンマーは、何かを悟ったかのように家を出てゆく。ミンギョンの家出は長引き、その間、俺は警察に呼ばれて女子中学生の死体を見せられ(幸いミンギョンではなかった)、ミンギョンを探し出すことを決意する。しかし、いざ出発という瞬間に、ミンギョンが生きて戻ってきた。

大ハンマーが裏社会の知り合いに頼み、後に身代わりになって刑務所に入る約束で、飲み屋街に売り飛ばされそう

高齢化家族

고령화 가족

著者: チョン・ミヨングァン 천명관

出版日: 2010年2月18日

発行元: 文学トンネ 문학동네

ISBN-10: 8954610552 | ISBN-13: 9788954610551

ページ数: 291ページ

版型: A5(148×210mm)

分野: 文学>小説



本書の概略

文学トンネの小説賞を受賞した『鯨』に続く2作目の長編小説。『鯨』が、ある物語が別の物語を生み、その物語がまた新たな物語を作り出していく展開なのに対し、本作はひとつの家族のなかで、様々な登場人物が繰り広げる事件や事故、隠された真実が描かれている。

著者の経歴

2003年、文学トンネ新人賞に小説「フランクとわたし」が入選し執筆活動をはじめ。長編小説『鯨』で2004年の第10回文学トンネ小説賞を受賞。小説集に『愉快な下女マリサ』がある。

日本でのアピールポイント

筋書きを読んだだけでは、重苦しく深刻な内容を想像するかもしれないが、さにあらず、これはむしろ、爽やかな諧謔小説といえるべきものである。前作『鯨』で片鱗を示した作者の腕前は一段と冴えを見せている。

これまで韓国の小説には、「笑い」の要素が乏しいと指摘されてきた(土俗的な笑いがあったが)。この作品はその「笑い」が満ちあふれている。世間的な「常識」からずれた登場人物たちの「生真面目な言動」や人間関係が、むしろまともものように感じられ、微笑、苦笑、哄笑を誘う。自由な想像力で編みだされた奇想天外のユーモア小説。尚、韓国では本作が映画化され、2013年の5月から公開されている。

関連作品

- ・ 演劇「高齢化家族」(劇団トウタンジ) 2011年3月31日〜4月17日
- 2011年7月21日〜8月14日
- 2012年4月12日〜4月29日
- ・ 演劇「高齢化家族」(韓国文化芸術委員会、韓国演劇協会) 2011年6月3日〜6月21日
- 全国演劇祭
- ・ 映画「高齢化家族」 2013年5月9日公開(現在上映中)



旅をする猫

고양이 여행자

著者：マリーキャット 마리캣

出版日：2011年12月14日

発行元：メディアセム 미디어셈

ISBN-10：8996398810 | ISBN-13：9788996398813

ページ数：232ページ

版型：B6(128×182mm)

分野：エッセイ+絵



本書の概略

本書は繊細で美しい猫の絵で知られるイラストレーターのマリーキャット (Mariecat) による、初のイラストエッセイである。10年前に引き取ったマリーを筆頭に5匹の猫と暮らす著者が、彼らを主人公に描いた絵と、絵にまつわる物語が80編ほど収録されている。それぞれ悲しい過去を背負って著者の家に来ってきた5匹の姿を通し、生きる者への愛と憐れみ、自然環境への想いなど著者の温かい視線が伝わってくる。

著者の経歴

ソウル大学で産業デザインを専攻。在学中に描いた動物保護基金向けのイラストをきっかけに、動物の絵を描き始める。2003年よりデザイン文具ブランド「マリーキャット」を通して様々な絵を発表してきた。2009年「猫の夢」、2010年「私は森へ行く」など個展も開催。躍動感あふれる自然の姿を絵に収めるためにアトリエを地方の山間部に移し、5匹の猫と暮らしている。

日本でのアピールポイント

「ノラ猫だった頃の苦痛を忘れ、せめて絵の中だけでも苦しむことなく生きてほしい」という著者の願いから、背中の羽で空を飛び、ピカピカ光るたくさん宝石を身にまとう華やかな世界の主人公として描かれた猫たち。すべて実在する猫をモデルにしたことでリアルな魅力に加え、彼らを一番近くで見えた作者の熱い想いが伝わってくる。美しいイラストもさることながら、みんな生きていく。みんな同じ。そんな穏やかな気持ちにさせてくれる1冊である。

全体のあらすじ

マリーとの運命的な出会いは10年前。子猫だと思っていたのに、随分と大きな猫がやってきて驚いたことを覚えている。まん丸な目と愛らしい仕草、マリーを飼いだしてから猫への感心は増すばかり。そんな猫の行動を眺めていたら、いつの間にか彼らの暮らす世界へと迷い込んで……。鏡に写る猫、紙から飛び出す猫、そして猫は旅人になる。マリーは深い森を抜け、歌の間こえる塔を目指す。動く物だから「動物」。みんなが共存する為に必要なこととは何なのか。

ぼくは旅行先から親が送ってくれる写真を集めたり、自分と同名の製造者の名前が書かれた800個のパンを食べたりする。そんな頃、マンション内にある商店街のトイレで、強姦犯が小さい少女を犯そうとする場面を目撃した祖父は、少女を救うため強姦犯ともみ合った末に頭を殴られて病院に運ばれるが、結局息を引き取る。祖父の死がきっかけで、父と母が家に帰って来る。父は世界を旅する中で出会った人達、風景の写真をまとめ旅行記を出版する。しかし世界を巡りながら他人の人生を見物する間に自分の人生を失ってしまった父は、また他人の人生を見物するために今度は国内旅行をはじめ。

ある日、父と母、そしてぼくの3人が旅先で訪れた建屋がいきなり崩れ、ぼくだけが石積みの中で生き残る。父と母が亡くなった後、ぼくは転校生と友達になる。転校生はぼくの家を訪れるはじめての友達になる。ある日、同じクラスの班長から再開でなくなる町の撮影を頼まれたぼくと転校生は、班長と一緒に町へ向かう。そこで、咳をしたぼくは、咳の衝撃で肋骨が折れてしまう……

全体のあらすじ


ぼくの祖父は叔母が7歳になる年に、ワケありの二階建て一軒家を捨て値同然で買うことになる。その家に祖父と祖母、父と二人の叔父、未っ子の叔母が住み始める。父と母が結婚してぼくが生まれ、家族は母と母方の祖母、ぼくを含めて9人になる。

下の叔父が軍隊から休暇を取って実家に帰った時、父は今まで家族で旅行をしたことがないのに気づき、会社の同僚から借りた大型乗用車で家族旅行に出かけるが、あいにく旅行から帰る途中、大きな交通事故に巻き込まれ家族全員が病院に運ばれる。病院に入院している間に、上の叔父が自殺しようと屋上から飛び降りた女性にぶつかり、突然その生を終えることになる。7人になった家族の中に、憂鬱な雰囲気が漂う。ある日、亡くなった叔父と同じ事故に遭ったが死ななかった男に関する新聞記事を見た父は、その男に会うため私を置き去りにして、母と世界を巡るようになる。

親が不在の間、下の叔父が一家の家長になる。

主な登場人物

語り手、私を囲んだ祖父母、父母、二人の叔父、叔母、外祖母



윤성희

경기도 수원에서 태어나, 1999년 동아일보 신춘문예에 단편집 『레고로 만든 집』이 당선되어 작품활동을 시작했다. 소설집 『레고로 만든 집』 『거기, 당신?』 『감기』가 있다. 2005년 제50회 현대문학상과 제2회 율해의 예술상을, 2007년 제14회 이수문학상을 수상했다.

나뿐만 아니라 이 소설 속의 '나'도 여전히 어딘가를 헤매고 있다. 부러진 갈비뼈는 영원히 붙지 않을지도 모른다. 우리는 자신을 어느 정도까지 경험할 수 있는 것일까? 겨우 한 귀퉁이 정도만 볼 수 있는 것이라면 그 나머지는 누가 보는 것일까? 그 나머지의 공간, 그 나머지의 경험, 그 나머지의 이야기들은 어디를 떠돌게 되는 것일까? 나는 늘 그것이 궁금했다.

『작가의 말』 중에서

やじ馬たち

구경꾼들

著者：ユン・ソンヒ 윤성희
 出版日：2010年10月5日
 発行元：文学トネ 문학동네
 ISBN-10：8954612806 | ISBN-13：9788954612807
 ページ数：309ページ
 版型：A5(148×210mm)
 分野：文学>小説



本書の概略

現代文学賞をはじめ多数の文学賞を受賞した作家ユン・ソンヒによる初の長編小説『やじ馬たち』は、インターネッ卜に連載していたものを一冊の本としてまとめたものである。本書は主人公の「ぼく」が生まれるところからはじまる。ある一家の物語が、私の世界とは全く縁のない事件や他人の物語と関わりながら、過去と現在のねじれた時間軸が噛み合って展開される。偶然としか思えない事件で次々に亡くなる家族と、その中で奇跡的に生き残ったぼくは、他人の人生を眺めるやじ馬から、自分の人生を見つめる見物人になって行く。

著者の経歴

韓国の水原で生まれた。1999年、短編小説『レゴで作られた家』が東亜日報の新春文芸に当選、作家活動をはじめ。著書に小説集『レゴで作られた家』『そこ、あなた?』『風邪』などがある。2005年に第50回現代文学賞と第2回今年の芸術賞を、2007年に

第14回梨樹文学賞を受賞した。

日本でのアピールポイント

ついに少年は自身の物語より、一度も会ったことのない世界のあちら側の人々の物語をもっと愛する人になる。
 ─ 本文より ─

全ての物事には理由があり、一見何のつながりもないように見える人間同士も、どこかで必ず繋がっている。「見られる」「やじ馬」という題材を通して伝えられる著者のこうしたメッセージは、最終章に余白を残して終わる。その余白は、読者ひとりひとりの物語で埋めるというのが著者からの最終的なメッセージなのかかもしれない。「ぼく」の物語は、みんなの物語なのだ。

過剰な捜査で罪のない外国人を傷つけたオーストラリアの警察は事実が公になることを恐れ、スティープに二度と麻薬の栽培をしないように警告し、入院している「私」の治療費を全額負担する。入院中にビザの期限が切れた私は、退院して韓国に戻ることになった。1年ぶりに韓国に帰ってきた「私」はTOEICを受け、満点を取った。そして就職のために面接に向かう……。

主な登場人物

私 男性。TOEICで高い点数を取るためオーストラリアに渡り、ありえないような幾多のトラブルに巻き込まれながらも懸命に勉強を続ける。

スティープ バナナ農園の経営者。実はひそかに麻薬を栽培している。

ヨーコ スティープの妻。日本人。アポロ13号を信仰しており、そのことが元でスティープと大喧嘩の末、バナナ農園に穴を掘って暮らしている。そのためスティープとは別居状態。

TOEICのリスニングで声優をしていた夫婦
スティープのバナナ農園の近くで、同じバナナ農園を経営している。スティープが麻薬を栽培していることに薄々気づいているが、確実な証拠をつかむため見てみぬふりをしている。

私の父 幼少の頃に孤児となり、ある会社の社長に引き取られる。そのことで彼は社長をイエスだと信じ、社長の写真を家に飾ってあがめている。その信念は固い。「私」が子どもの頃から、“本物のキリスト”を信じる近所の人々に「異端」だと非難され、家にまで押しかけてくる彼らに破壊行為や暴力行為を受けるが、自らの信仰をやめようとしな

全体のあらすじ

就職活動のシーズン。どの会社も高いTOEICの点数を要求する。だからTOEICが590点の「私」は、大学を卒業しても就職することができない。「私」は就職するためにTOEICで満点をとることを決心し、オーストラリアへ発つ。そこで自身のバナナ農園で、密かに麻薬を栽培しているスティープと知り合う。「私」はスティープと一緒にいればずっと英語で会話ができると思い、彼の「警察に麻薬栽培がばれたときに私が逃げられるよう、人質になってほしい」という危険すぎる申し出を承諾し、一緒に暮らし始める。共に暮らすうちに、「私」はスティープと親しくなり、バナナ農園のマネージャーとしてバナナと麻薬の栽培を手伝うことになる。

スティープにはアポロ13号を信仰する妻のヨーコがいる。スティープは昔から彼女が変な宗教にはまっていると思っており、その宗教をやめるよう強いていた。ヨーコはそんな彼が嫌いになり、2人は大喧嘩をする。その結果、今は別居状態だ。彼女はバナナ農園の地下に住んでいる。

ある日、ヨーコと偶然に出会った「私」は、自身を育ててくれた社長をイエスだと信仰する父の姿とヨーコを重ね合わせ、友達になる。そして韓国に興味があったヨーコに韓国語を教える。ヨーコと寄り添っていたスティープも、彼女と話ができると思って勉強会に参加、一緒に韓国語を学ぶ。

スティープとヨーコが韓国語を話せるようになり英語が使えなくなった「私」は、「このままでは英語が上達しない」と家出し、隣の夫婦が経営するバナナ農園に行く。

「私」が遠くに行かずに隣のバナナ農園に行った理由は？ 以前、そこに住む夫婦の声を聞いた「私」は、それがTOEICの試験中に聞く声、つまりTOEICのリスニング問題の声優だということに気づいていたからだ。「私」は夫婦の家で執事として働きはじめ、地下で発見した過去の問題集をひそかに読みTOEICの勉強を続ける。

スティープ危機一髪!!! ついにTOEICの声優をやっていた隣の夫婦はスティープが麻薬を栽培している証拠をつかみ、警察に通報。それを知った「私」は今までの恩を返すという一念でスティープの家に行き、自ら人質になる。しかし、警察のミスで顔に銃弾を浴びせられ、片方の目を失ってしまう。

私のTOEIC満点手記

나의 토익 만점 수기

著者：シム・ジェチョン 심재천
出版日：2012年1月16日
発行元：ウンジンジシクハウス 웅진지식하우스
ISBN-10：890113960X | ISBN-13：9788901139609
ページ数：302ページ
版型：A5(148×210mm)
分野：文学>小説



本書の概略

「応募資格：TOEIC 800点以上」という一文に、私はこんな声を聞いた。「お前は消えろ」。だから私は消えることにした。―― 本文から

TOEICの点数が590点だった「私」は、このままでは何もできないという危機感を感じ、英語を勉強するためにオーストラリアへ発つ。そこで英語の実力を必ず向上させるという目標を達成するために、危険でとんでもない取引を受け入れてしまう……。ちょっと変わったイエスを信奉するお父さん、堅実なバナナ農園のオーナーに見える男と「アポロ13号」を信仰して地下で暮らす彼の奥さん、引退後の余生をミステリアスに暮らすTOEICの声優夫婦。そんな彼らに翻弄されながら、TOEICで満点をとることにすべてをかけた「私」の躍動感あふれる物語が繰り広げられる。

著者の経歴

1977年生まれ。世界日報の文化部長として活躍。2011年に、本作

品で第3回中央長編文学賞受賞。

日本でのアピールポイント

就職するためには、いや、ただ人間らしく平凡に生きるためには、死ぬほど努力しなければいけないのか。若者の深刻な就職難が続いているのは日本も韓国も同じ。ありとあらゆる資格に海外での語学研修、TOEICの点数で履歴書を埋めつくしても、就職できる若者の数は半数にも満たない。本書では英語に翻弄され孤軍奮闘する「私」の姿がユーモアを交えて描かれているが、これは単なる英語習得までのドタバタ劇ではない。そうした厳しい時代を生き抜くために自分なりの生き方や方法を模索する、すべての「私」に捧げる応援歌なのだ。自分を見失いそうなとき、くじけそうなとき、ぜひ読んでもらいたい1冊。笑いと勇気を与えてくれること必須。

アン・ドンリム 剣道師範でキム・スヨンの師匠。キム・スヨンとともにチョン・テヤンを更正させるが、交通事故で亡くなる。

花の美男 極右テロリストの革命家。ヒトラーに心酔し、オ・スヨンの事務室に爆弾を仕掛ける。本名、アン・チャンシク。

ムン・ボンシク 新韓国党議員。キム・スヨンと同期だが、彼に嫉妬し憎悪している。親日派の悪の黒幕で、のちに殺人教唆で逮捕される。

イ・ヨジン アナウンサーを夢見る25歳の美女。ムン・ボンシクのインターン職員となり肉体関係を迫られる。

コ・ドンスク 進歩労働党のもう一人の議員。離婚した歯科医師の前夫がミス・コリアと再婚することになり、悔しがる。

ノ・テガン 新韓国党幹部でムン・ボンシクのボス。親日派の悪の黒幕。

ボン記者 右派新聞の記者。

ソン補佐官 ムン・ボンシクの補佐官。悪事を手助けするが後に改心し、事件解決のための情報を提供する。



韓国でドラマ化され放送中
(主演:シン・ハギョン、イ・ミンジョン、SBS、2013年5月現在)

全体のあらすじ

結婚適齢期は過ぎてきているものの、性格がよく能力もある新韓国党の議員キム・スヨンと、進歩労働党の党首で美人女性議員のオ・ソヨン。国家観や世界観が全く違う党にそれぞれ所属する2人は、180度異なる政治信念のためにことごとく対立するが、いつからかお互いを強く意識するようになる。混乱に満ちた政治劇の真っ只中で密かに生まれ、育まれた愛は、大きな壁に突き当たりながらも深まってゆくが……。現代韓国の政治が直面する問題を鋭く指摘すると同時に、政治の虚像を通して真実の愛を見事に描ききった。

主な登場人物

キム・スヨン 新韓国党の議員。過激な野生児のような性格で剣道の達人。祖父は抗日独立運動家、父親は国史学者、母親は西洋画家だったが、両親は年老いてから離婚する。海兵隊、判事を経て国会議員となる。39歳で独身。

オ・ソヨン 進歩労働党の党首である美人女性議員。大統領候補と言われる政治家だったが謎の交通事故で亡くなった、姉ムニョンの遺志を継ぎ政治家となる。

チャン・ドジュン ラジオDJ、ロッカー、麻薬で逮捕された前科をもつ。

ボン記者 いつもキム・スヨンの味方となる新聞記者。

オ・ムニョン オ・ソヨンの亡き姉で政治家。かつて大統領選挙に立候補したが、選挙前に謎の交通事故で夫とともに死去。

ポリ オ・ソヨンの姪、亡きオ・ムニョンの娘。オ・ソヨンに引き取られた。『三国志』が大好きなIQ171の天才少女。

チョン・ユニ 進歩労働党補佐官、キム・ソヨンと大学の同期で、ずっと思いを寄せている。

メン・ジュホ 新韓国党補佐官：キム・スヨンの補佐官として、つねに彼を手助けする。

チョン・テヤン 19歳の若者。アルコール依存症の父親から逃げて非行に走るが、キム・スヨンとアン・ドンリムにコテンパンにやられて更正。キム・スヨンの演説を聞いて彼に心酔し、剣道の道を歩む。のちに師範となり道場を継ぐ。

わたしの恋愛のすべて

내 연애의 모든 것

著者：イ・ウンジュン 이응준

出版日：2012年2月20日

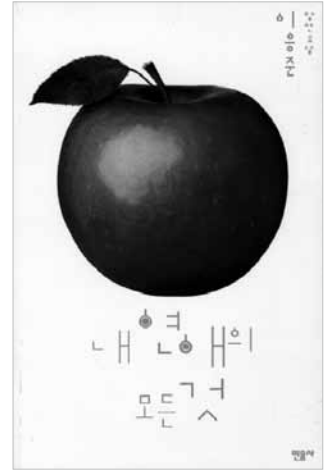
発行元：民音社 민음사

ISBN-10：8937484382 | ISBN-13：9788937484384

ページ数：340ページ

版型：B6(128×182mm)

分野：文学>小説



本書の概略

対立する与野党にそれぞれ所属する国会議員が、理念の壁を乗り越え愛し合うまでの姿を描いた、『わたしの恋愛のすべて』。本書は小説家であり、詩人であり、映画脚本家・監督としても有名なイ・ウンジュンによる本格ロマンス・コメディである。韓国のテレビ局SBSによってドラマ化され、2013年4月〜5月まで放映されていた。

著者の経歴

1970年ソウル生まれ。漢陽大学ドイツ語ドイツ文学科卒業、同大学院修士課程修了。1990年、季刊誌『文学と批評』の冬号に『悟りは突然訪れる』ほか9編の詩で登壇し、1994年に季刊誌『想像』秋号に短編小説『彼は追憶の速度で歩いて行った』を発表し小説家デビューした。2008年に脚本と監督を務めた映画『Leon Tree (40分)』が、ニューヨーク・エイジアンアメリカン国際映画祭短編コンペティション部門、パリ国際短編映画祭国際コンペ

ティション部門に招請された。

日本でのアピールポイント

多彩な才能の持ち主である作者らしい、非常にエンターテインメント性に富んだロマンス・コメディである。異なる政治理念をもった、いわば敵同士でありながら叶わぬ恋に落ちるというスリリングな設定は、『ロミオとジュリエット』の現代版パロディーをほうふつとさせる。脇役も個性的で強烈なキャラクターが配置されており、最後まで読者を飽きさせずに引き込む魅力がある。またこの小説の特徴として、古今東西の名言、格言や『三国志』『聖書』、シェイクスピアの戯曲、カミュの小説の引用などが、アフリズムとして使われている面白さがある。すでに韓国でドラマ化されており、2013年5月まで韓国のテレビ局SBSで放送され好評を博した。斬新な恋愛小説として、あるいはドラマ化された話題の作品として、韓国政治が抱える問題点を知る作品としても読み応えがあると思われる。



김선우 金宣佑

1970년 강원도 강릉에서 태어났다. 1996년 『창작과 비평』 겨울호에 「대관령 옛길」 등을 발표하며 작품 활동을 시작했다. 시집 『도와 아래 잠들다』 『내 몸 속에 잠든 이 누구인가』, 산문집 『물 밑에 달이 열릴 때』 『김선우의 사물들』 『내 입에 들어온 설탕 같은 키스들』, 장편소설 『나는 춤이다』 등이 있다. 현재 『시월』 동인으로 활동중이다.

표지 그림: Matisse, Capucines à "La Danse" (1912)

全体のあらすじ

『オラヨン』という詩では韓国の江原道にあるオラヨン溪谷の深い谷川で、墓からくっ付けてきたらしい紅葉を母が洗い落としている。見ればまだ20歳くらいの若い母だ。そのままいてくださいお母さん、きれいですよ、と幻の母に声をかける娘。美しい自然の中、わずか10数行に切り取られた母娘の鮮烈なワンショット。娘はまた、洋式便器に腰を降ろすと、幼い頃にネギ畑で野糞したことを思い出したりもする。母はかぼちゃの葉で尻を拭いてくれたものだ。帰り道では、ほどよく乾いたそれを敵に放ち、肥やしになるんだよと教えてくれた。都会の水洗便所で用を足すと、ただ流されていだけで、生命循環の役には立たないなあ(『洋式便器の上で』)。

母は、自分の骨は先祖の墓には入れずにもち米と混ぜて粉にし、鳥や小さな生き物たちに食べさせてくれと言っていた。残りの骨は風に吹かれて空に飛んでいけばいいと(『かあさんの骨ともち米3升』)。

こんな母が『来歴』という詩では、病んで床につき老いた性器を娘にゆだねている。娘は当然のように受容する。

詩人の目は、ただ母娘に注がれているだけではない。最後のあくびをしているように大きな口をあけたまま皮を剥かれ、人間に食われてゆくアナゴを見つめ、ヤリを胸に突きさされたまま死に場所を求めてやって来る2頭のクジラを捉える。死んだクジラの子宮では赤ん坊クジラが死んでいた。

わたしの舌が口のなかに閉じ込められているのを拒否したら

내 혀가 입 속에 갇혀 있길 거부한다면

著者：キム・ソヌ 김선우

出版日：2000年2月29日

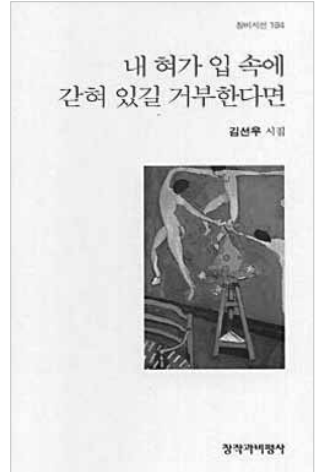
発行元：チャン비 창비

ISBN-10：8936421948 | ISBN-13：9788936421946

ページ数：124ページ

版型：B6(128×182mm)

分野：文学>現代詩



本書の概略

祖母から母へ、母から娘へと代々伝わり循環する生命の思想。ひと昔前は当たり前だったはずのその思想が、いま壊れかけている。この詩集の背景にはそんな危機意識がユーモアと官能性をともなうてほのかに見える。

また、歴史の中へ女性性を広げた詩や、光州事件の影が射しているような詩もあり、内省と社会性をあわせ持った詩集でもある。都会的な感受性に慣れた90年代の若い詩人の言葉が記号化、観念化されつつあるのに対し、キム・ソヌの言葉はあくまで具体性を持った現実的な観点から発せられており、生き生きとした感情にあふれている。彼女が建てた詩の家の玄関は簡素で狭く見えるが、実は思いがけない奥行きと幅広さを持ち合わせている。

著者の経歴

1970年韓国の江原道(カンウオンド)生まれ。1996年『創作と批評』誌で

デビュー。主な著書に詩集『桃の花の下に眠る』『わたしの体に眠っているのはどなた』。散文集に『水の下に月が開かれるとき』『キム・ソヌの事物』。大人の童話『パリー姫』など。2004年に詩『咲け! 石油』で第49回現代文学賞を受賞。同人誌『詩の力』所属。

日本でのアピールポイント

母親を通して表現された肉体の老いや病の悲しみ、自らの女性性、いずれはどの肉体もたどることになる運命などが、一切の無駄を省いたシンプルな言葉でつづられており、難解ながらも噛めば噛むほど味が出る作品といえる。あらすじでも取り上げたオラヨン溪谷は、生まれ、死に、次の世代へ脈々と受け継がれていくすべての命の流れと悲しみを、静かに表現しているようだ。著者がイメージする静謐ながらも力強く豊かな詩の世界に、ぜひ足を踏み入れてもらいたい。

角を表しはじめたジェイを追うもなかなか出会えない。多くの暴走族がジェイの姿に魅了されるようになり、史上最大の暴走が8月の光復節に計画される。警察は取り締まり中に殉職した警官がいることから、総力を挙げてジェイらに立ち向かう。だが取り締まりの最中、ジェイはタイヤがパンクしたバイクから放り出されそのまま死んでしまうのだった。

主な登場人物

トンギユ 作中では「僕」と称され、全体の主人公の役割を担う。幼いころからのジェイの友達。家庭環境が原因で家出し、ジェイとともに暴走族になる。

ジェイ パスターミナルで生まれるとそのまま捨てられ、孤児として成長する。一時は施設で過ごす、ホームレスとして生活していた時期が多い。トンギユとともに暴走族になる。

モクラン トンギユ、ジェイの友達。

パク・スンテ 暴走族の子どもたちに同情しながら、子どもたちの目線に立って取り締まろうと努力する警察官。

全体のあらすじ

話はジェイがバスターミナルで産み落とされ、孤児としての生活を始めるところから始まる。1章はジェイがトンギユ(僕)の家の近くに引っ越して来て同じ学校に通う、2人の出会いの章である。トンギユは家庭環境が原因で言葉が話せないが、ジェイはそんなトンギユの心の声を聞いて代弁する通訳のような役割を果たすことになる。だがクラスが別々になると次第に2人の間には距離が生まれ、中学へ上がる頃に不登校になったジェイは、再開発指定区域の廃墟でひとり暮らすのだった。

2章ではジェイがある施設に送られることになり、トンギユと連絡が取れなくなる。その後、施設の生活に耐えられず抜け出したジェイが非行少年・少女と共同生活を始め、墮落した日々を送る姿が描かれている。この章では、特に日本語に訳しにくい悪口がたくさん用いられている。

3章は人々の苦痛を感じ取れる特別な能力を持つことになるジェイが、共同生活をやめて路上生活の日々を送り、ジェイと再会を果たしたトンギユも家庭環境の悪化から家出を決意する話が中心になる。2人の再会の裏には共通の友達モクランの存在があり、3人はともに過ごすことになる。

4章では暴走族を取り締まる警察官パク・スンテの視線からトンギユやジェイの姿が描かれている。いたずらに暴走族を取り締まるのではなく、彼らの背景にあるもの、彼らの更生に重きを置くパク・スンテは、頭

悲しみ、魂の叫びが込められていたこと、彼らを上からの目線で見下している我々もやはり、抱えているものは孤児と変わらないのだという作者の声が聞こえてくる。作者が「孤児3部作」と呼ぶ『黒い花』『クイズシヨ』と共に読むことをお勧めしたい。

君の声が聞こえる

너의 목소리가 들려

著者：キム・ヨンハ 김영하

出版日：2012年2月28日

発行元：ムンハクトンネ 문학동네

ISBN-10：895461762X | ISBN-13：9788954617628

ページ数：282ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説



本書の概略

本書は作者の『黒い花』『クイズシヨ』に続く「孤児3部作」の最終章で、トンギユ(僕)という主人公の目線を通して、トンギユの幼い頃からの仲間であるジェイや、彼らが路上で出会う孤児たちの姿が描かれている。物語はジェイが高速バスターミナルのトイレで生まれるところから始まり、孤児として成長する過程、暴走族のトップに上り詰めるも事故死するまでが綴られる。生まれながらの孤児、路上での生活、暴走族と、社会に蔑まれ差別や偏見の目で見られがちな登場人物を通して「自分とは異なる他者の声」が聞こえるのが本作の大きなテーマとなっている。

著者の経歴

1968年、韓国の江原道生まれ。1995年に短篇『거울에 대한 명상』(『鏡に対する瞑想』)でデビュー以来、長篇『黒い花』『光の帝国』『クイズシヨ』『私は私を破壊する権利がある』『阿娘(アラン)はなぜ』、短篇集『エレ

ベーターに閉じ込められたあの男はどうなった』『呼び出し』など数多くの作品を発表している。2012年には『どうもろこしと私』で李箱文学賞を受賞。韓国現代文学の中で、作品の多くが中国語やフランス語、英語などに翻訳されている作家であり、『光の帝国』『阿娘(アラン)はなぜ』は日本語にも翻訳出版されている。

日本でのアピールポイント

韓国でキム・ヨンハと言えば「破壊的な新世代」を代表する作家、日本の韓国語学習者にもおなじみの「延世大学語学堂」で、外国人に韓国語を教えながら作品を生み出す作家として有名だ。彼の5年ぶりの長編小説となった本作は、孤児、非行少年、暴走族という社会の底辺に見られがちな環境の中で、誰からも愛されない差別の対象であるジェイやトンギユが、自己の存在の証明を求めて疾走する物語である。彼らの声は一見乱暴で下品だ。しかし本作を読み終えると、そこには孤独、深い

ハサンは狩人に頼まれてラマ教の寺院に行き、狩りの許可を求める。新月の夜に、しかもラマ寺院の領地内だと、禁忌を二重に犯しているにも関わらず、意外にもラマ僧は狩りを禁じなかった。そのころゲルではホワとチムゲが言葉も交わさず、ポーズ(モンゴルの小籠包)を作っていた。ホワはチムゲがある一皿だけ特に心を込めてポーズを包んでいるのに気付く。誰か好きな男ができたのかと繊細な観察力で皿の行方を探してみると、愛されているのは自分であることに気づく。

遊牧民カサルの手によって黒いオスのオオカミは殺されていたことを、ハサンは自分のゲルで知る。死んだオオカミのさびしい魂が語りだす。その夜、ゲルを抜け出したチムゲとホワは思いを交わして抱き合う。それを見た狩人は自らの手で愛するホワを銃殺する。欲望のために雌オオカミを犠牲にした報いに、自分の愛する女性を失ってしまうのだった。

全体のあらすじ

舞台は現代(市場開放から十数年)のモンゴル。ハサンは妻を亡くし、男手ひとつで娘のチムゲを育てている。モンゴルの民主化の中で家畜を売って財産を得て、固定のゲル(モンゴル式のフェルトでできたテント)を持って定住し、キャンプ村を経営している。資本主義には懐疑的で、自由経済の中でタイミングよく財をなしたものの、虚無感から酒浸りの日々を送っている。精神的に不安定になっている思春期の娘、チムゲも悩みの種で、自分の手元ではなく都会に送り出せばよかったとも思っている。

狩人は韓国で財をなしたが、失った情熱を取り戻すためにモンゴルに来てサーカス事業を興し、成功している。今は1頭の黒いオオカミを生け捕りにしようと狩りを続けている。またサーカスの元曲芸師で聴覚障害のある美しい娘、ホワにも執着している。狩人は自分に体を開かないホワや、チョルロンとカサルにも疑惑の目を向けている。サーカスに加えようと考えている黒いオオカミの狩りがうまくいかず業を煮やした狩人は、メスをおとりのために殺すことにする。

オオカミ

늑대

著者：ジョン・ソンテ 전성태

出版日：2009年4月30日

発行元：チャンピ 창비

ISBN-10：8936437097 | ISBN-13：9788936437091

ページ数：302ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説



本書の概略

2009年に出版された本作は、作者がモンゴル滞在中に感じたことをもとにした6作品を含む全10作の短篇集である。表題作『オオカミ』の他に李箱文学賞候補になった『2度目のワルツ』、脱北者たちを描いた『川を渡る人たち』、韓国の純血主義と多文化社会の現実を扱った『イミテーション』、経済が高度成長する韓国の田舎の少年たちを描く『子供にも金が必要だ』などが収録されている。この短編集で著者は2009年チエ・マンシク文学賞、2010年民族文化研究所の「今年の作家賞」、「無影文学賞」を受賞している。韓国文学翻訳院の支援対象作になっており、英訳本がアメリカで出版される予定である。

著者の経歴

1969年に全羅南道高興(コフン)生まれ。1994年に『鳥追い』でデビュー。2012年に『釣りをする少女』で現代文学賞小説部門の大賞を受賞している。主な作品に短編集『埋香』

『国境を越えること』、長編に『理髪師の女性』などがある。彼は旅人のような作家だ。自ら国境を越えて旅先で出会った風景や人を描き、また時には国境を越えて韓国にやってきた人々を描く。ディアスポラ文学の作家とも呼ばれ、国境を越えた人たちのさびしい内面を描写し、共感できる温かで繊細な文章が魅力だ。

日本でのアピールポイント

自由経済と発展がもたらす矛盾や不安定は、日本・韓国・モンゴルに限らず、世界中に共通する問題である。韓国はモンゴルよりも成熟した資本主義の国であるが、筆者は本文中で韓国人の狩人に「社会が安定するにつれて、(中略)飛躍だとか型破りだとか言われるある種の躍動感が消えました。それは仕事に人と人との関係がなくなったことを意味します。人の変わりにシステムが入ってきたのです」と母国に失望した気持ちを語らせる。母国では失われてしまった躍動感をモンゴルに求める彼の

言葉には、私たち日本人が韓国に対して期待する気持ち、同じ視線を感じる。また、モンゴルは旧共産圏として北朝鮮と交流のある国であり、韓国人が北朝鮮の人間に出会える場所でもある。短編集全体を通して日本の読者は「日本人とは異なる韓国人の視線」を新鮮に感じるだろう。

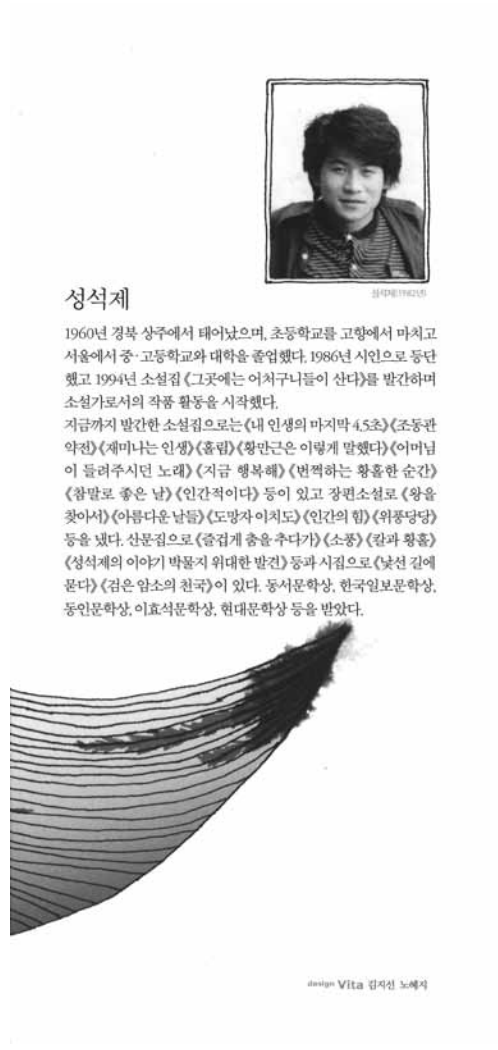
主な登場人物

イ・セギル 漁村に生まれた平凡な男。小学校の入学式で鯨取りの娘、バク・ミニョンを好きになり、その後の人生でずっと片思いを続ける。

バク・ミニョン 鯨取りの父と、日本人の家で働いていた母「ナナ」の間に生まれる。母親似の美人で勉強もよくでき、学校の成績はいつもトップだが、心の安らげる場所がない。

全体のあらすじ

漁村に生まれたセギルは、小学校の入学式で魅力的なミニョンに一目ぼれする。美しく非凡な才能を持ちながらも、幼い頃から父親の家庭内暴力に悩まされてきたせいで、心の安らぎを知らないミニョン。そんなミニョンを想うとことん平凡な男、セギルの愛は、思春期の中学～高校生、デモとコンパに明け暮れた大学生、軍隊生活を経て社会人になっても、当時と変わることなく続く。セギルの一途な愛は、ミニョンの心を救うことができるのか。



성석제

1960년 경북 상주에서 태어났으며, 초등학교를 고향에서 마치고 서울에서 중·고등학교와 대학을 졸업했다. 1986년 시인으로 등단했고 1994년 소설집 《그곳에는 어차구니들이 산다》를 발간하며 소설가로서의 작품 활동을 시작했다.
지금까지 발간한 소설집으로는 《내 인생의 마지막 4.5초》(조동관 약전) 《제마나는 인생》(홍림) 《황만근은 이렇게 말했다》(어머님이 들려주시던 노래) 《지금 행복해》(번역하는 황홀한 순간) 《참말로 좋은 날》(인간적이다) 등이 있고 장편소설로 《왕을 찾아서》(아름다운 날들) 《도망자 이치도》(인간의 힘) 《위풍당당》 등을 냈다. 산문집으로 《즐겁게 춤을 추다가》(소풍) 《관과 황홀》 《성석제의 이야기 박물관 위대한 발견》 등과 시집으로 《낯선 길에 묻다》 《검은 암소의 천국》이 있다. 동시문학상, 한국일보문학상, 동인문학상, 이효석문학상, 현대문학상 등을 받았다.

design VITA 김지선 노해지

たった一度の愛

단 한 번의 연애

著者：成碩濟(ソン・ソクジェ) 성석제
出版日：2012年12月17日
発行元：ヒューマン・アンド・ブックス 휴먼앤북스
ISBN-10：8960781541 | ISBN-13：9788960781542
ページ数：300ページ
版型：A5(140×210mm)
分野：文学>小説



本書の概略

ストーリーテラーとして人気の高い著者が、初めて書いた恋愛小説。小学生のときに一目ぼれした女性を中年になるまでひたすら愛し続けた男、セギルによる愛の年代記を描いた作品だ。どこにもいる平凡な男セギルの、常に変わることもない盲目的な愛の旅程に、人が本来持ち合わせている暴力性、近代の韓国がたどってきた激動の波を同時に描くことで、現代社会が抱える暴力に立ち向かい、人間と自然の尊厳を守りながら生きることの大切さや、誰にでも人間らしく生きる権利があるという本作品のテーマが、鮮やかに浮かび上がっている。

著者の経歴

1961年慶尚北道生まれ。延世大学で法学を学ぶ。詩でデビューしたが、1994年から本格的に小説を書きはじめ、東西文学賞、イ・ヒョソク文学賞、現代文学賞などを受賞。代表作は『私の人生の4.5秒』『チョ・ドングアン

略伝』『楽しい人生』『お母さんに聞いた歌』『今、幸せ』『人間的だ』『王を探して』『人間の力』『遠足』『刃物と恍惚』などがある。

日本でのアピールポイント

「女に生まれたからには、一度で良いからこんな風に愛されてみたい」「70〜80年代の韓国って、こんな激動の時代だったんだ！今のK-POPとか韓流からは想像がつかない……」本作を読むと、この両方が一度に味わえる。どんな些細な存在にも物語があり、暴力に対する救いは愛でしかないことを証明する感動的なストーリーはもちろん、随所に散りばめられたユーモアも秀逸な作品である。

チェ・ドンヒョン 双子の兄サンヒョンとひとつの体を分け合う結合双生児。後頭部に別の顔を持つ兄がいることを「障害」と感じ、30年にわたって森の奥深くに身を隠して生活してきた。ある日、自分の身の上を1冊の絵本に綴ることを決心する。

チェ・サンヒョン 存在するのは顔だけ。弟の体を借りながら生きる宿命を負った結合双生児の兄。この世に生を受けてから一度もわがままを言ったことのない彼が、弟のサンヒョンに頼んだ最初で最後の「願い」とは……。

韓国で2012年映画化
(監督:ク・ヘソン 注演:チョ・スンウ、ナム・サンミ)



全体のあらすじ

遊園地で似顔絵描きをしながら暮らすスニアは、ふとしたきっかけで色白の青年ドンヒョンから絵本のイラストを依頼される。30年もの間、森の奥深くの一軒家で身を隠すようにして暮らしてきたドンヒョンが描こうとしていたのは、体がひとつ、顔がふたつの結合双生児の物語。突飛とも思える内容に衝撃を受けるスニアだったが、桃の木の下で語り合いながら物語を紡ぐうち、「怪物」と呼ばれる存在の切なさに、自らの抱える孤独を重ねるようになる。ドンヒョンとの時間を大切に感じはじめるスニア。しかしドンヒョンにはスニアの知らない秘密があった。ドンヒョンこそ、ひとりの体を兄と分け合う結合双生児だったのだ……。

主な登場人物

パク・スニア 遊園地で似顔絵描きをしながら生活する女性。ふとしたきっかけから、ひとつの体にふたつの顔を持つ結合双生児のドンヒョンとサンヒョンに出会う。深い森のなか、桃の香りが漂う古びた屋敷でふたりと過ごすうち、スニアは自分の中に眠っていた大切な何かを知ることになる。

ゲットに、「エンタメ分野での好奇心も満たしつつ、韓国文学の香りも味わえる「ひと粒で二度おいしい1冊」として推薦したい。

桃の木

복숭아 나무

著者：ク・ヘソン 구혜선
出版日：2012年10月17日
発行元：ウンジンジシクハウス 웅진지식하우스
ISBN-10：8901149478 | ISBN-13：9788901149479
ページ数：216ページ
版型：B6(128×182mm)
分野：文学>小説



本書の概略

深い森に建つ古びた屋敷。漂う桃の香り。ピアノの音。信じてもらえないかもしれないけれど、私は確かにあの場所で彼らと出会った。互いを「兄弟」と呼び合い、でも人々からは「怪物」と恐れられてしまう彼らに……。
孤独を内に秘めた女性はふとしたきっかけで、30年にわたり森で身を隠すように暮らしてきた「きょうだい」と出会う。結合双生児という斬新な題材を取り上げ、誰もが感じる「生きづらさ」を抒情的に描き、さわやかな感動を残す新感覚小説。

著者の経歴

1984年11月9日生まれ。19歳の純情『花より男子』などのドラマで主演、可憐な魅力で人気を集める一方、女優以外にも画家、作曲家、映画監督として多方面で才能を発揮。趣味の域にとどまらない本格的な創作活動に「天は二物を与えた!」と韓国国内で高い評価を得ている。2009年には日本人音楽家坂本龍一の曲から着想を得て初の長編

小説『タンゴ』を発表。みずみずしい感性が織り成す作品群は常に注目を集めている。本作品は2作目の長編小説。

日本でのアピールポイント

韓流スターとして日本でも知名度の高い女優ク・ヘソンのイメージが、本作を読むことでガラリと変わる。独自の感性が見事に開花した小説世界は、「あの女優にこんな才能が!？」と新鮮な驚きを与えるのに十分。ク・ヘソンを少しでも知っている日本人であれば、思わず手に取ってみたいことだろう。小説自体のクオリティーはもちろん、折々に著者自筆のイラストが挿入され、彼女が思い描く小説の中の世界が実に豊かに表現されている。また、日本でもファンの多いチョ・スンウ、リュ・ドクファン、ナム・サンミが出演する同名映画が韓国で2012年秋に公開されており、話題性も満点だ。巻末の映画制作日記や付録のサントラCDは映画出演者のファンにとっても魅力的。ドラマや映画から韓国に親しんできたいわゆる韓流ファンをター

入山禁止期間であるにもかかわらず、森から聞こえてくる音。森に何があるのか。自分は不法伐採を隠匿するための管理人なのだろうか。前任者の失踪、ハインの事故死、不法伐採、全てをジンが握っているのではないかと疑念を抱くインス。森に秘密がある。自分の疑念が真実であることを確かめるため、インスは森へ入る。音を追い歩き続ける。森は生きていた。道が開かれているかと思えば行く手を阻み、誰かが後をつけてくる気配、誰かが自分を見つめている気配まで感じる。風が吹きつけ、木々が枝葉を猛烈に揺さぶるズシン。音に近づいている。ある瞬間、風の感触が変わる。ざっしりと立ち並ぶ木々の間をすり抜ける風ではなく、広い大地に吹きつけるような荒く冷たい風。やがて木々の間隔が広まり、森を抜けたかのように思われた。

しかしそこは森の外ではなかった。木の墓場だった。乱雑に散らばる丸太や枝、骸骨のような無数の切り株。そんな墓場に涙を流すインス。自分は一体何を確かめたかったのだろうか。音が再び鮮明に聞こえて来た。今度は機械音だ。唸るように繰り返されるその機械音はミミズクの鳴き声にも似ていた。あの音を聞きに森に来たのかもしれない。彼はゆっくりと音の方へ歩みを進めた。

不法な手段で入手したミミズクを飼育するジン。野性的でありながら内向的であり、黙然とした森に似たミミズクは彼に安らぎを与える。今まで声を出したことのないミミズクが、突然鳴き声をあげた。もう一度鳴き声が聞きたかったジンは、一歩譲る思いで檻の扉を開放した。ジンを見つめながらゆっくりと翼を広げたミミズクは、大空へ舞い上がった。未知の世界へ飛び立つミミズクを眺めながら、ジンは寂しさを覚えた。空っぱの檻に暗闇だけが残った。



全体のあらすじ

森の入口に設けられた森林管理事務所に、失踪した兄を探す男イ・ハインが現れた。管理人として勤めていた兄が「ミミズクの鳴き声が聞こえる、木が飛びかかって来る」という涙声での通話を最後に失踪したという。しかし現管理人バク・インスを始め、商店街で店を営むチェ・チャンギ、イ・アンナム、ハン・ソンス、そして事務所の実権を握るジンまでも前任者の存在を否定する。村の居酒屋で酒を飲んだ帰り道、ハインは車に引かれ死亡する。

山中の倉庫を改築した住宅に妻子と暮らすインス。森に直結した地下室があるが、住居脇にある地下室入口は内側から施錠された鉄扉に阻まれ、外からは開閉できそうにない。アルコール依存症のため禁酒中だったインスだが、ジンの誘いで再び酒を手にしてしまう。ある夜、台所で酒を探し回っていると、地下室から怪しい物音が聞こえる。慌てて逃げ出そうとした拍子に落とした茶碗で足を負傷したが、2階に駆け上がり身を潜めた。やがて「あなた、酔ってるわ」という妻の声が目覚める。割れたはずの茶碗も足の傷もない。ただ自分から酒の匂いが漂っていた。妻に追い出されるように家を出て居酒屋へ向ったインスは、泥酔しジンの家で目覚める。居酒屋からの記憶がかすんでいる。現実と非現実の境界がわからない不安に怯えるインス。元伐採作業員のチャンギ、アンナム、ソンスには苦い記憶がある。ジンが主導する不法伐採の事実を知り、利益の分け前を要求してきた当時の管理人ギョンインを3人で暴行し口封じをしたのだ。数日後、3人は事務所を訪ねる。重たい空気が漂う中、ギョンインが突然、ミミズクを捕まえると言って森へ入って行く。翌日になっても彼は戻らなかった。3人が森を捜索したが見つからず、そのまま彼を森へ放置した。



西の森へ行った

서쪽 숲에 갔다

著者：ビョン・ヘヨン 편혜영

出版日：2012年6月22日

発行元：文学と知性社 문학과지성사

ISBN-10：8932023115 | ISBN-13：9788932023113

ページ数：366ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説



本書の概略

へんびな村に広がる巨大な森。その森の管理人をしている時に失踪した兄を探す男が、管理事務所に現れる。村人たちは兄を見たこともないと白を切る。平凡な村の裏側に潜む隠密な犯罪。それぞれ店を営む元伐採作業員たち、そして彼らを操るジンを巡る森の秘密が暴かれるが……。部外者の訪問と共に再び始まった森の悪夢が繰り広げられる。

著者の経歴

2000年「ソウル新聞」新春文芸でデビュー。韓国日報文学賞、李孝石文学賞、東仁文学賞など多数受賞。主な作品として小説集『青い庭園』『飼育場の方へ』『夕方の求愛』、長編小説『灰と赤』などがある。

日本でのアピールポイント

推理小説的な導入部、徐々に与えられる謎解きの力ギ、そして最後まで秘密を包み込む森。一歩一歩真実に近づくか

のよう見え、ますます迷宮に迷い込んでいく。森へ行った男が探し求めていたものは、森に隠された真実であると同時に、自分という人間の本質だったのかもしれない。森の奥深さと人間の本質の奥深さの重なりを絶妙に描いた作品。

主な登場人物

ベク・オンジョ インターネットカフェ「時間を売る店」の主人で、クロノスと名乗る。小心者で嘘がつけない、正義感と思いやりにあふれた性格の持ち主。

ホン・ナンジュ オンジョのクラスメイト。勤がするどく、オンジョの変化を敏感に察知し、時にはそれがオンジョの仕事邪魔することもある。チョン・イヒョンという生徒に熱を上げている。子どもっぽさと大人っぽさの両面を持っている高校生らしい人物。

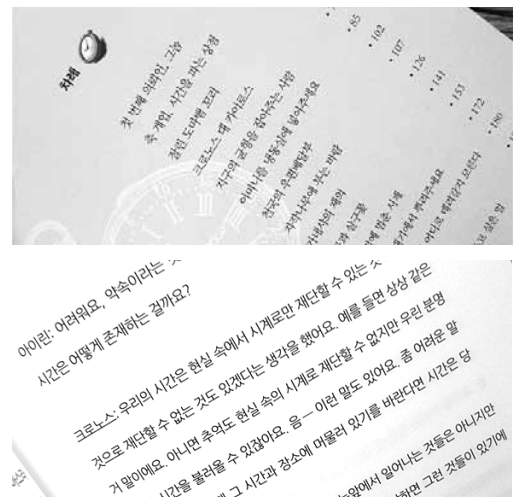
オ・ヘジ オンジョのクラスメイト。常に一人で行動しているが、成績がよくて的確で鋭い発言をするため存在感がある。いつも携帯電話でロックやメタルを聴き、外界との交渉を遮断している節があるが、それには幼い頃からの家庭環境などが関係するようだ。

「お前の傍に」 「時間を売る店」の初めての依頼人。最新型PMP(タブレット)盗難事件の解決という無理難題をオンジョに依頼する。クロノスとオンジョが同一人物であることを知っているようだ。

チョン・イヒョン ナンジュが熱を上げている男子学生。女子生徒に人気があるもののあまり興味がないようだ。

全体のあらすじ

女子高校生のベク・オンジョはいくつかのアルバイトに失敗し、母のひよんな一言から時間について考えるようになり、「時間を売る店」というインターネットカフェを作る。そこを訪れるのは時間について真剣に考え悩む依頼人たちである。PMP盗難事件の盗品を依頼主の下に返すという依頼や、ある老人と「美味しく」食事をする依頼など、次々に舞い込む奇妙な依頼にオンジョは体当たりで立ち向かう。様々な依頼と周囲の人々との関わりを通して、オンジョが時間について深く考え成長していく姿が、推理小説の手法を用いて書かれている。



かし、それは大人から青少年に向けての教訓、高圧的な言葉ではなく、些細なことで悩み傷つく年頃である青少年世代を労り、絶望から希望を見出す手助けをするための言葉である。「時間は流れるが、流れた時間はそこで終わるわけではない」という大人から青少年へのメッセージを、どこにでもいそうな女子高生が時間について悩み、複雑な依頼をこなしていく姿を通して描くことで、青少年が共感しやすい作品に仕上がっている。

時間を売る店

시간을 파는 상점

著者：キム・ソニョン 김선영

出版日：2012年4月10日

発行元：子音と母音 자음과모음

ISBN-10：8954427170 | ISBN-13：9788954427173

ページ数：265ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説>青少年小説



本書の概略

この本の大きなテーマは「時間」である。「時間を売る店」を開業したオンジョは、自らを「クロノス」と名乗る。クロノスとはギリシャ神話の神で、過去から未来へ一定速度・一定方向で機械的に流れる、人間が決めた連続する時間を司る。またギリシャ神話のもう一人の時間の神・カイロスは、時計や時間という概念が生まれる前から存在した、計測も分割も不可能で主観的な時刻を司る。オンジョは開店当初、自分自身の時間と依頼の報酬金で自分の時間と行動の価値を量ろうと考え、クロノスの時間を理解しようとする。しかし、依頼をこなすうちに物理的に分割することが出来ないカイロスの時間についても考えるようになる。そして自分の大切な人と過ごす時間の特別さや、過去が現在と切り離されているのではなく、いつでも現在に呼び戻すことが可能であることなどに気づく。常に人に与えられているクロノスと、突如、人に訪れるカイロス。オンジョは考えたり悩んだりしながら時間

の両面性を知り、成長していく。

著者の経歴

1966年、忠清北道清原郡生まれ。9歳までは自然に囲まれて過ごしたが、その後は清州に移る。学生時代から小説を好んで読んでおり、文筆で生計を立てていければと考えながら十代を過ごす。2004年に『ミルレ』で登壇し、著作には小説集『ミルレ』などがある。2011年に『時間を売る店』で第一回子音と母音青少年文学賞を受賞。最初は主に大人向けの小説を書いていたが、試行錯誤の末、青少年向けの小説が自分に合っていることに気づき、青少年たちの抱える悩みや問題について力を与えることが出来る作品を書こうとしている。

日本でのアピールポイント

この本は青少年向けということもあり、青少年に親しみやすい内容や言葉遣いで書かれている一方で、大人の言葉や考えも作品の中に込められている。し

当する。母さんも来てくれる。社会のはみ出し者だったワンドゥクを、ドンジュがみつけて導いてくれた。今度はワンドゥク自身が何かを見つける番だ。平凡でも充実した日々の中でTKO勝ちを目指すのだ。

主な登場人物

ワンドゥク ケンカに明け暮れる17歳の少年。

父さん ワンドゥクの父。生まれつき背骨が曲がっており人より背が低い。

ドンジュ ワンドゥクの担任。

ミングおじさん ワンドゥクと父さんと一緒に住んでいる。人より知能が低い。

母親 ワンドゥクの実母でベトナム人。

ユナ ワンドゥクのクラスメート。

韓国で2011年映画化(注演:キム・ユンソク、ユ・アイン)



全体のあらすじ

第1部

クラスメートのユナが気になっている17歳のワンドゥクは、人より小さな父さんと、人より知能の低いミングと暮らしている。ケンカばかりする問題児だがケンカが好きなのではなく、近所のおやじのように父さんをバカにする相手とケンカをするのだ。彼は自分に干渉してくる担任のドンジュが大嫌いで「この世から抹殺してください」と密かに教会で祈るほどだ。ところがある日、そのドンジュから「お前の母親はベトナム人で、お前に会いたがっている」と告げられる。

第2部

ドンジュから教会の隣にある憩いの場に差し入れを届けると言われたワンドゥクは、そこでインドネシア人のハッサンに会う。憩いの場にはワンドゥクの母親もいて、お詫びの手紙を手渡される。父さんに母親と会ったことを話すと、母親と別れた理由を話してくれた。母親のことを知るきっかけを作ってくれたドンジュに感謝するワンドゥク。

キックボクシングをやっているハッサンに影響を受けワンドゥクもキックボクシングを始めるが、父さんに反対される。不法滞在者に関わっているとして留置場に入れられていたドンジュが戻ってきた。出所祝いの豆腐を持って来たワンドゥクにドンジュは、外国人労働者の人権を守るため活動していることを話す。ある日家に帰ると不審者がおり、殴ったら何とドンジュだった。ドンジュは入院する。

第3部

見舞いに行くとドンジュの父親がいた。ドンジュは父親の工場を告発していたのだ。ワンドゥクはドンジュに、貧乏人のふりをしているだけじゃないかと指摘する。学校は休みに入った。教会に行くとドンジュがいて、休みの間だけ伝道師をしていると言う。実際はドンジュが購入した家を、外国人労働者が安心して休憩できるよう教会に偽装したのだった。

キックボクシングの練習試合に挑戦するもTKO負けしてしまったワンドゥクに、ユナが傷を見るふりをしてキスしてくれた。ミングがいなくなったことをきっかけに、父さんと自分たちのことについて語り合ったワンドゥクは、劣等感が人間を育てるのだと考える。戻ってきたミングと父さんは、ドンジュの教会でダンス教室を開くことになった。父さんが理論、ミングが実践、ワンドゥクが雑用を担

ワンドゥギ

완득이

著者：キム・リョリョン 김려령

出版日：2008年3月17日

発行元：チャンビ 창비

ISBN-10：8936456083 | ISBN-13：9788936456085

ページ数：211ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説>青少年小説



本書の概略

チャチャチャより愉快に、キックボクシングより痛快に！

人より背の低い父さん、人より知能の低いミングおじさんと暮らすワンドゥクは、ケンカに明け暮れる貧しい17歳の少年だ。ワンドゥクの担任であるドンジュは、ワンドゥクへの配給品を奪うなど、かなり型破りな教師。ワンドゥクは自分を干渉するドンジュに反発するが、ドンジュのおかげで生き別れになっていたベトナム人の母親と再会したり、キックボクシングを始めたりと少しずつ変わっていく。暴力でしか社会と向き合うことができなかった不遇な少年ワンドゥクが、家族、教師、友人、スポーツを通して前向きに成長していく姿を明るくリズミカルに描く。

著者の経歴

1971年ソウル生まれ。ソウル芸術大学文芸創作科を卒業。『내가슴에 해마가 산다(未邦訳・仮邦題・私の胸にタツノオトシゴが生きている)』で

2007年文学トシネオリニ文学賞大賞、『기억을 가져온 아이(未邦訳・仮邦題…記憶を持ってきた子供)』で2007年馬海松文学賞を受賞。同じく2007年に本書『완득이』で第1回創批青少年文学賞を受賞する。2009年の作品『우아한 거짓말(未邦訳・仮邦題…優雅なウソ)』は、2012年のIBBYオナーリストに選ばれている。真摯なテーマをコミカルに描く筆力には、目をみはるものがある。

日本でのアピールポイント

YA(ヤングアダルト)小説だが弱者差別、多文化共生など様々なテーマを取り上げられている。韓国の庶民の生活が垣間見える内容が随所に盛り込まれており、年代や性別を問わず楽しめる作品である。映画化、ミュージカル化されており、そちらを観た日本人から「原作を読んでみたい」という声も多い。

客の怨みを買うたびに警察の捜索を受け、店をたんで転々としていた店長と青い鳥は俺を逃がし、最後に、時間を巻き戻せるメレンゲ・クッキーのタイム・リワインダーを託す。家に戻った俺が目撃したのは、寝室でムヒの服のなかに手を入れる父親の姿だった。声を出そうとあがくあいだに帰宅したベ先生に全てを見られてしまう。父子共謀を信じるベ先生がカミソリを振り上げながら襲いかかってくる。俺は必死でタイム・リワインダーを掴むと叫ぶ。「時間よ、戻れ!」……。

結末その1: 9歳に戻った俺は、父親の見合いに同席した。相手はバツイチで7歳の娘を連れてくる。嫌な予感がして強硬に反対する俺の勢いに負け、父親は再婚をあきらめたが、6年後に不特定多数の女兒への常習的なわいせつの罪で逮捕される。あるベーカリーの前に見た青い服の女の子がひどくつかしいのに、誰だか思い出せない。

結末その2: タイム・リワインダーは壊れ、傷害は免れる。わいせつ事件はマスコミの好餌となり、父親は会社をクビになり離婚。俺も遠くへ転校することに。3年後、俺は高校を卒業してレストランでアルバイトを始める。吃音も少しずつ治ってきた。ある日、俺は客から駅前に新しく出来たベーカリーの宣伝用のパンをもらう。袋の裏には忘れもしない店の名前があった。

全体のあらすじ

俺は9歳のときに父親が再婚したベ先生の巧妙な虐めによって、中学に入る頃には吃音がひどくなっていた。家のなかに居場所を失い、夕食時になるとウィザード・ベーカリーでパンを買って自室にこもる毎日。ある日、ムヒが何者かに性的暴行を受ける。混乱したムヒに犯人として指された俺は、ウィザード・ベーカリーの秘密の部屋にかくまってもらい、しばらく居候をすることに。居候の対価はネットショップの注文書を随時アウトプットする作業。扱う商品は店舗とは全く違う魔法のお菓子だったが、それらには「使用上の注意」があり、夢を叶えることで相手が受けた傷を背負う覚悟のない者には、容赦なく激しい副作用が起こった。

夢魔たちは店長のお菓子のおかげで獲物が減ったため、復讐をしようと隙を窺っている。来客が続き睡眠不足の店長はついに夢魔の襲撃を受け、その悶え苦しむ姿に俺は思わず「自分が身代わりになる」と申し出る。夢のなかで五歳の頃に戻り、母親が首を吊って絶命するまでの生々しい光景を見せつけられた俺は気絶する。気がつくと、父親とベ先生と中学生になったムヒが穏やかに食卓を囲んでおり、ムヒは俺を指差して自分をレイプしたと主張する。俺の首を締めるベ先生と無関心を決め込む父親。「もはや帰る家はない」という現実を受け入れる決心をして二日ぶりに目覚めた俺を殴り、「危険なことに首をつっこむな」と激怒する店長。俺は生まれて初めて誰かに本気で心配された喜びに泣く。

主な登場人物

俺 主人公。高校一年生の男子

店長 ウィザード・ベーカリーの店長

青い鳥 ウィザード・ベーカリーの店員。昼間は女の子の姿をしている。

ベ先生 主人公の継母。教師

ムヒ ベ先生の連れ子。七歳の女の子。

夢魔 人間の抱く怨みや悩みをもとに人間に悪夢を見させる生きもの

ウィザード・ベーカリー

위저드 베이커리

著者：ク・ビョンモ 구병모

出版日：2009年3月30日

発行元：チャンビ 창비

ISBN-10：8936433695 | ISBN-13：9788936433697

ページ数：252ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説>青少年小説



本書の概略

もつとも保護してくれるはずの者が絶望的に信頼できない場合はどうするか……。ファンタジーの形式を借りたりアルナヤングアダルト小説。

著者の経歴

本作で第2回チャンピオン青少年文化賞を受賞。長編小説には他に『えら』『方舟にいらっしやい』、短編小説には『故意ではないけれど』がある。

日本でのアピールポイント

離婚の増加に伴い子連れの再婚も増加し、親の再婚相手による精神的・肉体的な虐待(性的なものを含む)は、事件化する前の潜在的なものも含めて相当の規模になるものと思われる。大人の身勝手さを暴露し、社会の不条理を突きつけたうえで、ときには心ある大人たちの手を借りながら、最終的には自力で苦難を乗り越えるよう促す本作は、厳しいようで深く

傷ついた心に同じ目の高さで静かに寄り添う。物語のトーンは決して明るくはないが、凄かなえ『告白』のヒットを考えると、日本で受け入れられる素地は充分あり、ヤングアダルト文学の読者が青少年に限らない日本の現状において検討するに値するものと思われる。

さん」によく似たソングョンなら歌を止められるだろうと信じ、彼女に事件の経緯を語り始めるが、彼の精神は徐々に触まれていく。

ハヨンの攻撃性、残虐性は度を増し、学校では猫の腹をカッターで切り裂こうとしたらしい。それでもハヨンはまだ更生の余地があると信じ、彼女を優しく抱きしめるソングョン。そんな折、ハヨンの祖父母の死因が毒殺であったという知らせが届く。しかもその毒はハヨンの母親が自殺で用いたものと同じ毒だった。不審に思ったソングョンがハヨンの部屋を探ると、鳥の死骸が詰まった箱が出て来た。帰宅したハヨンは箱が見つけれられた事実気づき、ここでは暮らせなくなるかもしれないと恐れる。父親との暮らしを守るため、ソングョンを消さなくては。

ある夜、イ・ビョンドがソングョンの家に侵入する。彼の精神錯乱と拘置所からの圧力によりソングョンが彼に黙って面談を打ち切り、それを裏切りと感じた彼は命がけの画策を企て脱獄したのだ。裏切りに対する憤りを爆発させ彼女の首を絞める彼の口から、思わぬ言葉が飛び出す。「母さんはそんなに僕が憎かった？」彼の瞳に映るのはソングョンではなく母親の姿だった。その時、ハヨンが彼の脇腹にナイフを突き立てた。薄れる意識の中、欲し続けた母親の温かな手に包まれるのを感じながら彼は息絶える。

翌朝、ハヨンに差し出された牛乳を口にしたソングョンは、彼女から衝撃的な事実を告げられる。虐待を見かねた父親に手渡された毒薬で母親を殺害し、父親と暮らすために祖父母を殺害したのだと。そして母親にも今と同様、毒入りの牛乳を飲ませたのだと。昏睡の谷間に落ちるソングョンの耳元に清々しいハヨンの囁き声が届く。「おやすみ、ママ」

全体のあらすじ

犯罪心理学者イ・ソングョンが医師である夫の後妻となってから1年ほどになる。ある日、仕事を終え帰宅すると、夫と共に夫と前妻との間の子ハヨンが待っていた。未明の火事で焼け出され、同居していた祖父母が亡くなっらしい。前妻は夫の再婚後間もなく服毒自殺で他界し、夫がハヨンを引き取らなくてはならなくなったのだ。ソングョンは彼女との同居を承諾し良好な関係構築に努めるが、ハヨンは一向に心を開かず攻撃的、むしろソングョンに猛烈な敵意を見せる。夫はハヨンの攻撃性は母親から受けた虐待のせいだとソングョンを諭す。

連続殺人犯イ・ビョンドとの面談を持ちかけられたのはその頃だった。彼からの直接指名だという。面識もない彼がなぜ自分を指名したのか？疑わしく思いながら初回の面談に挑んだが意思疎通も図れずに終わった。それでも面談を重ねるうちに彼も心を開き始める。彼は母親から凄絶な虐待を受けて育ったという。彼の冷酷な瞳の奥に潜む、愛情欠乏と孤独の影。その眼光がハヨンのそれと酷似していると感じたソングョンは、ハヨンも殺人鬼と化すのかと恐れる一方で、虐待による彼女の心の傷を愛情で癒そうと決意する。

イ・ビョンドにはかつて身を寄せていた果樹園があり、そこには彼に愛情を与えてくれる「おばさん」がいた。しかし、ある日耳にした歌が彼をおぞましい記憶へと連れ戻す。母親が彼を虐待する度に口ずさんでいた歌だ。虐待の恐怖が蘇り狂気に陥る。母親を消さなくては。彼は果樹園を去り母親を殺害し死体を葬った。しかし、この汚れてしまった身では果樹園に戻りたくても戻れない。そんな思いを誰にも明かせずにいる。その後、彼は連続殺人を犯し死刑囚の身となった。それでも頭の中に「歌」が流れず平穏な日々だった。しかしソングョンと面談を重ねるうちに「歌」が再び流れだす。頭の中の母親がソングョンを殺せと囁く。果樹園の「おば

主な登場人物

ソングョン 犯罪心理学者。ジェソンの後妻。

ハヨン ジェソンと前妻との間の子。

イ・ビョンド 連続殺人犯。

おやすみ、ママ

잘자요, 엄마

著者：ソ・ミエ 서미애

出版日：2010年11月26日

発行元：ノブルマイン 노블마인

ISBN-10：8901115131 | ISBN-13：9788901115139

ページ数：357ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学>小説



本書の概略

「母さんはそんなに僕が憎かった？」韓国推理文学界を代表する作家ソ・ミエが贈る心理サスペンス。家族という存在に対する問いを投げかけ、おぞましくも悲しい悪の根源を掘り下げる。生まれた瞬間から、自分を愛してくれるはずの母親に徹底的に無視され、虐待されながら成長した連続殺人犯イ・ビョンド。彼がなぜ連続殺人犯となり、何が彼の人格を形成したのか。連続殺人犯の心理を描写すると共に、殺人魔は殺人魔として生まれつくのか、環境により作られるのかを問いかける。

著者の経歴

1994年「スポーツソウル」新春文芸推理小説部門に『夫を殺す30の方法』が入選。韓国推理作家協会理事、「季刊ミステリ」編集委員を歴任。主要作品に2009年韓国推理文学大賞受賞作『人形の庭』、短編集『ありがたい殺人者』『世紀末の童話』（共著）などがある。

日本でのアピールポイント

日本でも社会問題とされる児童虐待。その結果がもたらすものとは。本作品ではその最悪の結果を提示すると共に、虐待と社会責任に対する問題意識を喚起する。

彼女は彼の手をとると「メガネ屋が開く時間です。外は雨が降っているので、処方箋があるならそれを持って私が一人で行ってきます」と伝える。その瞬間、彼は彼女を抱きしめる。

主な登場人物

彼女 母を亡くし、離婚した夫との裁判に敗訴して子どもの親権を失った。そんなある日、何の前触れもなく、言葉を失ってしまう。言葉を発したいが、唇が動かなくなってしまった。そのせいで、手がけていた仕事をすべてやめることになってしまう。実は、彼女は17歳のときにも1度言葉を失ったことがある。そのとき彼女の唇を動かしたのは、フランス語のある単語だった。それを記憶している彼女は、今は使われることのなくなった「古代ギリシャ語」を勉強することにする。失われた言葉を取り戻すことができることを期待して。

彼 15歳のとき、父親の仕事の関係で渡ったドイツで古代ギリシャ語と哲学を勉強する。彼は17歳から自分の視力が40歳になったらなくなってしまうことを知っていた。それは、彼の父そして祖父、曾祖父からの遺伝だった。どんどん視力を失う彼は、ドイツに家族を残し、生まれ故郷である韓国に戻る。そして、生計のため市民アカデミーで「古代ギリシャ語」を教える。

全体のあらすじ

ある日、突然言葉を失った「彼女」は、市民アカデミーで、失った言葉を取り戻すために「古代ギリシャ語」を習い始める。そんな彼女に注視する古代ギリシャ語講師「彼」は、彼女から「硬い沈黙」を読み取り恐れるようになる。生きている人から感じたことのない「沈黙」を感じたからだ。そんな中、彼自身はどんどん視力を失っていく。彼女と彼が自分の人生を振りかえっていたある日、市民アカデミーの建物に一羽の鳥が迷い込んでくる。それを見た彼女は鳥を外に逃がそうとするが、うまくいかない。それを見た彼が手伝おうとするが、声をかけられた彼女は教室に逃げってしまう。鳥を外に出そうとする彼は、鳥が暴れた拍子に落としたメガネを踏んで壊してしまう。何も見えなく、踏んだメガネのガラスで怪我を負う彼。どうしようもなく慌てていると、授業の時間がすぎても現れない講師が心配になった彼女が彼の前に現れる。彼は彼女に助けを求め、二人はタクシーに乗って病院で怪我の手当てをする。そして、何も見えない彼を彼女は家に送り届けた。そこで彼は突然自分の話を始める。どんどん視力を失っていくことや妹の話など、自分の中に閉じ込められていた話が彼の口からあふれ出した。何も応えず、ただ聞いているだけの彼女に「聞いていますか?」と確認しながら。二人はその夜、彼の家で眠りに落ちたが、彼が眼を覚ましたときには彼女の姿はすでに彼の家にはなかった。帰ってしまったかどがっかりしていると、突然彼女が現れる。

古代ギリシャ語の時間

희랍어 시간

著者：ハン・ガン 한강

出版日：2011年11月10日

発行元：文学トーン 문학동네

ISBN-10：8954616518 | ISBN-13：9788954616515

ページ数：194ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：文学 > 小説



本書の概略

「言葉を失っていく女の沈黙と、眼を失っていく男の光が出会う刹那の話」この小説はある意味、恋愛小説とも言える。それにしても、特別な事件もなく、かといつて数行でまとめることもできない。この小説には、言葉を失って話すことができない女と、視力を失っていく男の独白が続く、クライマックスでは二人が暗闇の中で「会話」を交わす構成になっている。作家は200ページもある長い過程を通して、人間が失った本質とは何であるかを読者に問いかける。韓国のTV番組に出演した著者に、なぜ「古代ギリシャ語をテーマとしたのか」という質問をしたところ、「古代ギリシャ語は受動態・能動態はもちろん、中間態まである、とても精巧な言語だ。しかし、衰える気配がなかったにもかかわらず、いつのまにか死んだ言語になった」と答えた。古代ギリシャ語の運命が、文学または人間のおかれた状況と似ていると思ったという作家

の告白だ。本書には古代ギリシャ語の文章が登場するが、作家はそのためにも勉強したという。

著者の経歴

1970年初冬、韓国の南西部、クァンジュ(光州)で生まれた。11歳になった冬、ソウルのスユリに移住し、思春期を過ごした。ヨンセ(延世)大学の国文科を卒業した後、1993年『文学と社会』という雑誌の冬号に、『ソウルと冬』など4編を発表した。1994年にはソウル新聞の新春文芸に応募した短編小説『赤い錨』が当選し、作品活動を始めた。長編小説『黒い鹿』(1998)、『あなたの冷たい手』(2000)、『菜食主義者』(2007)、日本での発売…2011『風が吹いている、行け』(2010)、創作集『麗水の愛』(1995)、『私の女の実』(2000)を出版した。ドナリ文学賞、イサン文学賞、韓国小説文学賞、今日の若手芸術家賞を受賞し、現在はソウル芸術大学文芸創作科に籍を置いている。ハン・ガンは、品のある詩のよう

な文体と密度の高い構成力を持つ小説家で、「人間の根本的な悲しみと寂しさを表現する」作品を発表してきた。デビュー当時、韓国では若手というイメージを与える「70年代に生まれた作家」という言葉で注目されたが、若手作家らしくない正統な小説文法と繊細な感受性、そして悲劇的な世界観を特徴に、独自の世界を構築している。

日本でのアピールポイント

簡潔な言葉で伝える作家の文体が受け入れやすい。錘の音のように心に残る主人公の言葉が、今の時代を生きる人々に共感を与える。著者の『菜食主義者』は既に日本でも翻訳出版されており、今後もエッセイ集などの翻訳出版が予定されている。吹き抜ける風によそよと葉を揺らしながら佇む一本の木を連想させるような著者の作品に、日本でも更なる注目が高まるのではないだろうか。



幸せな晚餐

행복한 만찬

著者：コン・ソノク 공선옥

出版日：2008年5月27日

発行元：タル 달

ISBN-10：8954605737 | ISBN-13：9788954605731

ページ数：269ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：エッセイ+写真



本書の概略

田舎育ちの著者が書き綴った自然の贈り物に対する讃歌。穀物、野菜、野草、筍、どじょうなど身近な食べ物が登場し、人びとの暮らしとの関わりが明らかにされていく。

著者の経歴

1963年生まれの中堅作家。91年に『種火』を発表して文壇にデビュー、『咲け、水仙花』『奥地里に置いてきた三十歳』『流浪家族』『私が最も美しくかったとき』など多数の作品集がある。社会の疎外された人々の暮らし、とくに女性の粘り強い生命力と母性を繊細かつ生き生きと描き出す。女性新聞文学賞、申東ヨブ創作基金、今日の若い芸術家賞、2005今年の芸術賞(文学部門)、カトリック文学賞などを受賞した。

日本でのアピールポイント

ここに登場する食べ物はほとんど日本にも存在する。しかし、調理の仕方や

食べ方は異なっているものもある。作者は本書でそれぞれの土地、地域の風土で育った食べ物がいかに美味しいものであるかを、すなわち「地産地消」することの大切さを語っている。先祖伝来の食べ物、食習慣がどんなに人々の暮らしに合うものだったかを伝えようとしているのだ。自然の恵みの尊さ、それを守り育てていくことの必要性を訴える作者の気持ちは、日本の読者にも十分に理解されるだろう。写真とイラストは躍動感があつて好ましい。韓国の食べ物が好きで、自然食品を愛する読者は、きっと歓迎されるだろう。

全体のあらすじ

特に粗筋のようなものはない。目次に挙げている自然の恵みの数々に寄せる作者の追憶エッセイというべきもので、いまでは食べる機会が少なくなった田舎の食べ物への懐かしさ、いとおしさが文章にあふれている。取り上げられた食べ物のことを知らなくても、作者の愛情にあふれた説明によって食べたくなってくるから不思議である

全体のあらすじ

この本は、チョン・ホスンが失敗と遭うことで生きる意味を失ってどん底に陥った時に、生きる勇気や慰労を与えた文章やそこから悟ったことをまとめたものである。全3部にわたって、人生の失敗やそれによる挫折、自殺などを主題とし、全ての失敗が後に会うことのできる希望について語っている。

第1部では現実の問題にとらわれ、理想に向かい進むことをためらい、挑戦する前から失敗を恐れる態度に対して、失敗することを恐れるより宇宙のような自分の可能性を考えろと助言している。韓国仏教である曹溪宗の精神的指導者だった故ソン Chol 和尚から得た教訓「写真を撮るなら1000回撮りなさい」や、著者自身も毎年12月31日を失敗記念日としていることを述べながら、失敗を重ねることで失敗を成功につなげる力が養われると述べている。

第2部の「傷の多い木が美しい年輪を残す」は失敗した後、前に進む勇気を失い過去に留まっている人のための助言が書かれている。傷の多い木が美しい年輪を残すように、真珠貝は真珠を抱いてこそ真珠貝になれるように、失敗の痛みを味わうだけでも価値があり、失敗自体よりそこから早く立ち直ることが大事だと力説する。

第3部の「道の果てにも道はある」では、韓国で社会問題化している自殺や、自殺を招く社会風潮を指摘する。自殺の誘惑に唾を吐けと言いながら、どん底から第一歩を踏み出す瞬間、希望が近づいてくと述べている。著者は本書を通し、失敗の果てにようやく出会える希望を語り、挫折から立ち直り、前に進むメッセージを伝えたいとしている。



私の人生に勇気を与えてくれた一言

내 인생에 용기가 되어준 한마디

著者：チョン・ホスン 정호승

出版日：2013年1月13日

発行元：ピチエ 비채

ISBN-10：899434392X | ISBN-13：9788994343921

ページ数：484ページ

版型：A5(140×210mm)

分野：文学>エッセイ



本書の概略

多くの読者を持つ詩人チョン・ホスンのベストセラー『私の人生に生きる力を与えてくれた一言』の後続作とも言える同書は、7年の歳月を掛けて書き下ろされた力作である。本書の前書きで著者は、自分の人生で得た知恵の一言を今、人生の瀬戸際に立っている人達と分かち合うため、この本を書いたと述べている。絶望のどん底に陥っている人々に伝えようとする五餅二魚（5つのパンと2匹の魚）のメッセージは、過去の失敗という挫折を払い落とし、前に進む力を与えてくれると思える。

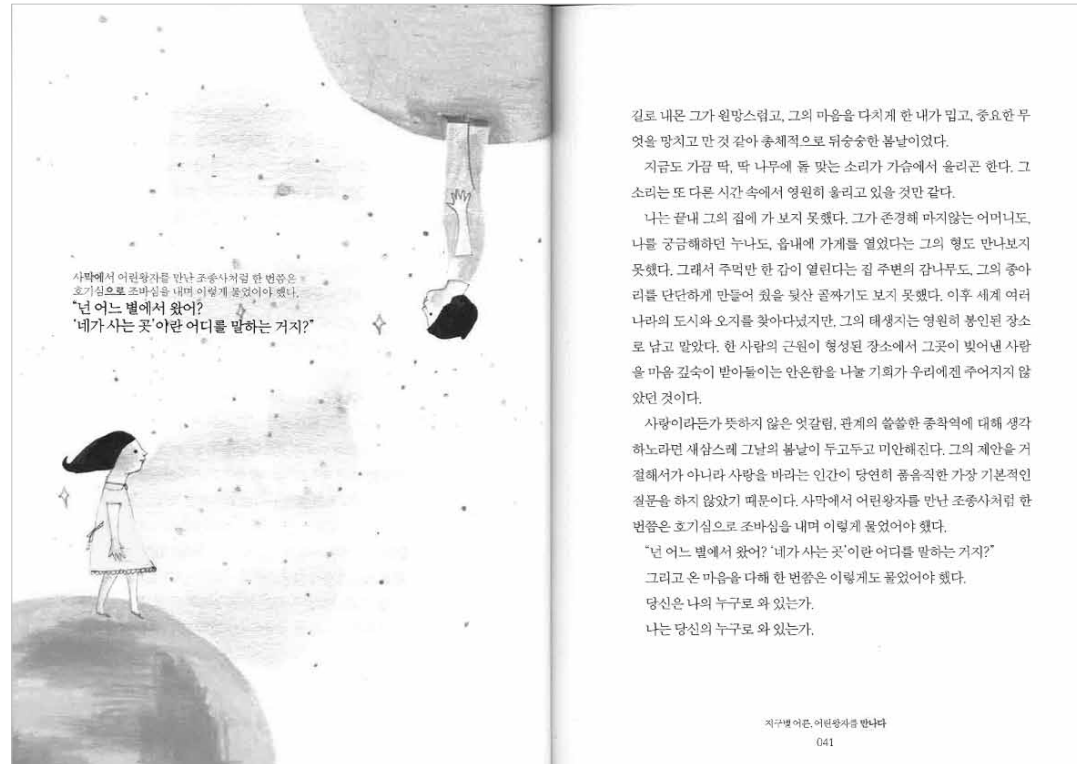
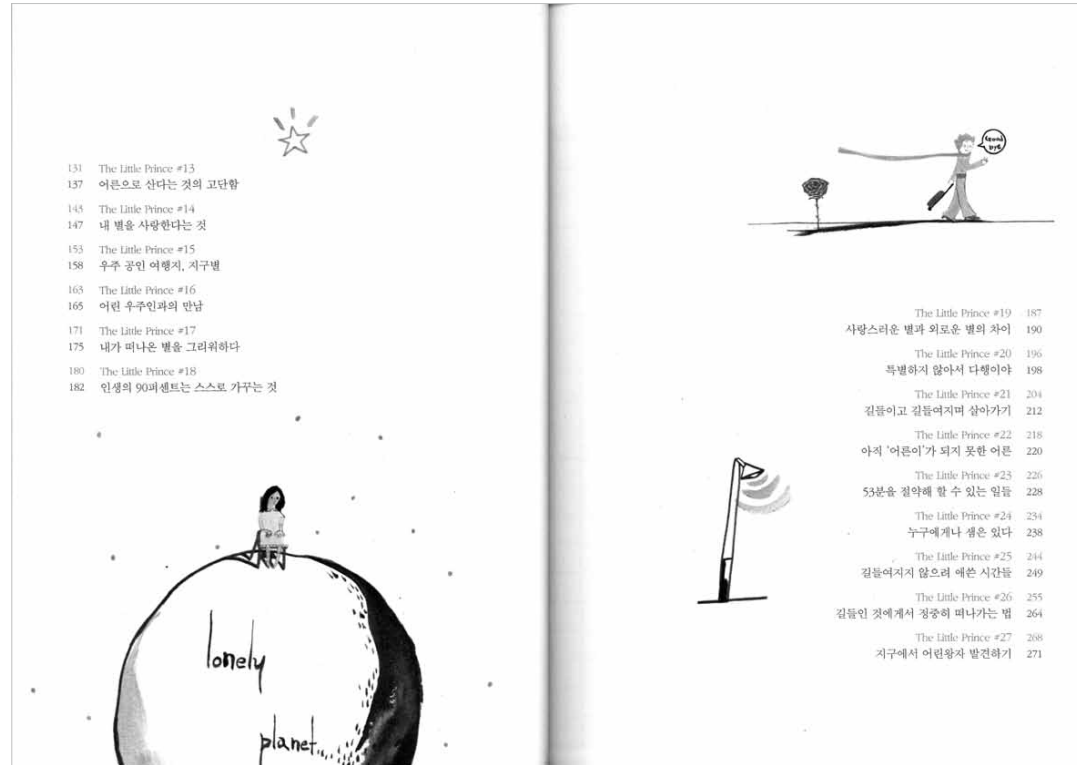
著者の経歴

1950年、韓国の大邱（テグ）で生まれ、慶熙大学校、国文学科を経て同大学院を出た。1972年、『韓国日報』新春文芸に童詩『石窟庵を登るヨンヒ』が、1973年、『大韓日報』新春文芸に詩『瞻星臺』が、1982年、『朝鮮日報』新春文芸に短篇小説『慰霊祭』が当選し、文壇に乗り出した。『悲し

みが喜びに』『ソウルのイエス』『夜明けの手紙』などの詩集、『私が愛する人』『揺らぎない葦』などの詩選集、大人のための童話として『恋人』『壺』『たき火』『汽車物語』など、散文集『少年お釈迦様』などを書いた。素月詩文学賞、東西文学賞、鄭芝溶文学賞、片雲文学賞などを受賞した。

日本でのアピールポイント

近年韓国では、宗教家による自己啓発本や癒しを唱えるヒーリング本が大変な人気を集めている。これは人々が、社会に蔓延する閉塞感、敗北感、これらに派生する自殺問題などからの癒しを求めていることを意味するのではないだろうか。先の見えない不安感に包まれた社会という意味では、日本も似たような状況下にあるといえる。韓国で広く愛されている、あたたかい希望のメッセージ、肯定的に生きるための考え方に、新たな視点や明るい希望を見いだせるのではないだろうか。



地球という星の大人が星の王子様に出会う

지구별 어른, 어린 왕자를 만나다.

著者 : チョン・ヒジェ 정희재

出版日 : 2011年10月10日

発行元 : 知識の森 지식의숲

ISBN-10 : 8957978763 | ISBN-13 : 9788957978764

ページ数 : 275ページ

版型 : A5(148×210mm)

分野 : 文学>エッセイ



本書の概略

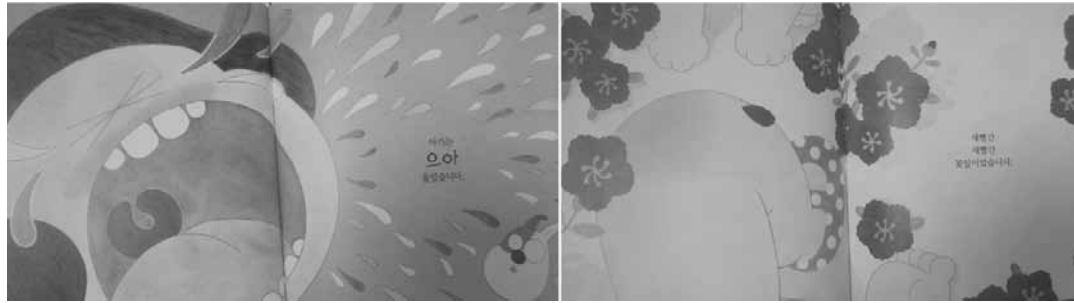
『星の王子さま』に著者のエッセイと素敵なイラストを加えた本で、ギフトにも最適な本である。著者は『星の王子さま』を読んで育った読者に向けて「本当に大人になったのか」「帽子は、ウワバミが象を飲み込んだものに見えるか」などを尋ねる。人生も愛も、一番の課題は受け入れることを学ぶことであり、またそれを自覚して幸せになるために、地球という星を旅するのではないかと著者は書いている。

著者の経歴

中央大学文芸創作科を卒業。インドとチベットなどの国を旅行後、大人と子どものための本を書き始める。著書に『都市で暮らして、愛して、学んで』『私はそこで愛を学びました』『あなたの幸運を折ります』のほか、絵本に『歯ブラシマン、助けて』『お菓子の魔女に気をつけて』などがある。

日本でのアピールポイント

世界で広く読まれている『星の王子さま』。韓国でも『星の王子さま』は大人になっても読みたくなる、万人に愛されている本である。世界中を旅した経験を持つ著者からのあたたかいメッセージと絵に癒される。十代〜二十代の女性向けのビジュアルブック。



ここで読者は「なーんだ」とだまされた気はせず、「よかった」と胸をなでおろし、ほんわかとした気持ちに包まれます。

赤い血が出るほどの傷はとても痛いという思い出がよみがえるからでしょうか。それが、きれいな赤い花びらでよかったと思うのでしょうか。子どもの頃にそんな思い出があったらどんなに素敵だろうと想像します。「花畑」の詩を書いたのは、韓国の児童文学の父と呼ばれる故ユン・ソクチュン作家です。この詩は詩集『三日月』(1964年)の中の1篇であり、数多くの詩を作った作家が生前に、自作の詩の中で最も好きな詩として選んだものだそうです。

たった8行の詩でありながら、花畑の美しさと香り、小さな子ども、赤い血、えんえんという泣き声、真っ赤な花びらなど、読者の五感に訴える言葉がちりばめられています。そして、転んでできた傷は実は赤い花びらだったという素敵な結末。8行の詩で読者はどれだけ想像をふくらませ、共感し、心を動かすことでしょう。

そこにさらなる魅力を加えたのがキム・ナギョンの絵です。漫画独特の二頭身で表現されたほっぺの大きな女の子。そして詩には登場しない子犬を描き、かわいらしさを倍増させます。女の子と一緒に花畑を駆けまわり、女の子の傷を心配そうに見つめ、女の子が泣くのをなだめるかのように見守る子犬。この子犬の視線を通して、読者はあたかも自分が花畑にいるような臨場感を味わい、花畑での出来事を女の子と一緒に経験することになります。

五感と心を動かすユン・ソクチュンの詩に、現代的なイメージを吹き込んで、さらに共感を呼び起こさせるキム・ナギョンの絵。ポローニャ国際児童図書展でも高い評価を受けたそうですが、世界中の誰もが共感し得て、温かい気持ちになる作品です。

全体のあらすじとアピールポイント

女の子がお花畑で転びました。すねに赤い血。女の子はえんえんと泣きます。ひとしきり泣いて、よく見ると、それは血ではなく、赤い花びらでした。

はみ出すように大きく描かれた女の子と子犬、そして赤い花が目を引きまします。ぷっくりした大きなほっぺ、ふっくらとした足。この女の子が花畑で何をやるのだろうか?と興味が湧いてきます。

1ページ、ユン・ソクチュンの詩の1行目、아기가(女の子が)。キム・ナギョンの描く漫画チックな女の子が紙面いっぱいに現れます。

3ページ、詩の1行目の続き、꽃밭에서(花畑で)。思わず「きれい!」と声を上げるほど、赤・黄・ピンクの鮮やかでいろいろな種類の花が一面に咲く花畑が現れます。

5ページ、女の子と子犬がイモムシをみつけたり、マーガレットの上に寝転んだり、タンポポの綿毛を飛ばしたり、シロツメクサやレンゲで冠を作ったり、花畑で子犬と楽しそうに遊ぶ女の子が表現されています。文字がない分、大人は昔むかし花畑で遊んだ自分の記憶を重ね、子どもは自由にセリフを想像することができそうです。

そうするうちに物語が展開します。女の子が転びます。すねに赤いものが見えます。정강이에 새빨간 피(すねに真っ赤な血)。赤い血を心配そうに見る子犬の視線。

次のページをめくると、紙面いっぱいに漫画チックに大泣きする女の子。クライマックスです。

そして、한참 울다 자세히 보니(ひとしきり泣いてよく見ると)とデクレッシェンドして、그건 그건 피가 아니고(それは、それは血ではなく)と続いて、あれ?何なのだろうと思います。

詩の最後の1行、새빨간 새빨간 꽃잎이었습니다(真っ赤な、真っ赤な、花びらでした)というどんでん返しです。

お花畑

꽃밭

著者：文 尹石重(ユン・ソクジュン 윤석중)

絵 キム・ナギョン 김나경

出版日：2010年4月28日

発行元：パラン세 파랑새

ISBN-10：8961551620 | ISBN-13：9788961551625

ページ数：32ページ

版型：A4(210×297mm)

分野：絵本



本書の概略

韓国児童文学の父と呼ばれる故ユン・ソクチュンの詩『花畑』の世界を、人気マンガ家であるキム・ナギョンが独特のイラストで表現した絵本。

著者の経歴

ユン・ソクチュン

1911年ソウル生まれ。1200余りの児童詩を発表した韓国を代表する児童文学作家。1956年、새싹회(若芽の会)を創立するなど、子どものための仕事に生涯をささげた。大韓民国芸術院賞、セジョン文学賞、大韓民国文学賞など数多くの賞を受賞。著作には、『어깨동무(幼なじみ)』『초승달(三日月)』などの童話集と『열손가락 이야기(10本の指の話)』『열두대문(12の大門)』などの童話集がある。2003年他界。

キム・ナギョン

アマチュア漫画同人誌『걸(キョル)』で活動中に漫画家デビュー。独特な画風と



共感を生む話で独自の世界を創りあげてきた。ユン・ソクチュンの『お花畑』で詩画展に参加したのが縁で、2012年初めての絵本『お花畑』を出版。



全体のあらすじ

女の子が雪の上を歩いています。歩くとピヨピヨピヨと音が出るので、おもしろくなった女の子は雪の上をどんどん歩いていきます。ふと気づくと道に迷ってしまいました。「おかあさん」と叫んでも返事はなく、途方に暮れて泣きだす女の子。ひとしきり泣いてから、雪の上を見ると、自分の足跡があることに気づきます。女の子は立ち上がり、お尻の雪を払って、足跡をたどって家に帰ります。



さに描かれています。この静と動のコントラストにより、女の子の感情がより読者に伝わりやすくなっています。

雪のはら

눈발

著者：文 尹石重 (ユン・ソクジュン 윤석중)

絵 キム・ナギョン 김나경

出版日：2011年12月10日

発行元：パランセ 파랑새

ISBN-10：8961553194 | ISBN-13：9788961553193

ページ数：40ページ

版型：230×240mm

分野：絵本



本書の概略

韓国児童文学の父と呼ばれる故ユン・ソクチュンの詩『迷子と雪』の世界を、人気マンガ家であるキム・ナギョンが独特のイラストで表現した絵本。

著者の経歴

ユン・ソクチュン
1911年ソウル生まれ。1200余りの児童詩を発表した韓国を代表する児童文学作家。1956年、새싹회(若芽の会)を創立するなど、子どものための仕事に生涯をささげた。大韓民国芸術院賞、セジョン文学賞、大韓民国文学賞など数多くの賞を受賞。著作には、『어깨동무(幼なじみ)』『조소담(三日月)』などの童謡集と『열손가락 이야기(10本の指の話)』『열두대문(12の大門)』などの童話集がある。
2003年他界。

キム・ナギョン

アマチュア漫画同人誌『걸(キョル)』で活動中に漫画家デビュー。独特な画風と共感を生む話で独自の世界を創り

あげてきた。ユン・ソクチュンの『お花畑』で詩画展に参加したのが縁で、2012年初めての絵本『お花畑』を出版。

日本でのアピールポイント

表紙の絵は、赤いずきんをかぶった女の子の真ん丸な頭が印象的です。白い雪の上についた手の跡を見つけているかわいいう女の子のとなりには、前作同様、詩には登場しない子犬が描かれています。

1ページは詩の1行目、눈 위로 걸어가니까(雪の上を歩くと)。赤いずきんをかぶった女の子が元気よく雪の上を歩き始めます。子犬は喜んで走っています。日本人なら、童謡の「雪やこんこ」のメロディーが浮かんでくるかもしれません。

キム・ナギョンは鉛筆からオイルペイントまでを使い、足跡には自分で作ったスタンプを押すなど、多様な技法を組み合わせながら柔らかく静かな色感で雪野原を描いています。それと対照的に女の子の姿と表情は漫画チックに大げ

て泣き出してしまったみんなのところへ一番先に駆けつけて来たのは、もちろん彼らの両親たちでした。



全体のあらすじ

ある晩、幼いおひめさまは、両親がケンカしている声で目覚めてしまいます。それがとても怖い声だったので、再び眠ることができなくなってしまいました。翌朝、両親のケンカに不安と恐怖を感じながらも、我慢していつも通りに朝ご飯を食べ、ブロック積みをして遊んでいたおひめさま。気がつくと、いつのまにか自分が積み上げていたブロックの高い塔の中に入ってきていました！そんなおひめさまのところへやって来た小鳥、子ネズミ、竜の子ども、そして幼いおうじさまはみんな、両親のケンカで傷ついていた仲間たちでした。お互いのつらい気持ちを話し合い、ついには声を上げ



主な登場人物

- 幼いおひめさま
- パパ、ママ
- 小鳥
- 子ネズミ
- 竜の子ども
- 幼いおうじさま



子どもたちが小学生になり、自分で読めるようになってからも十分楽しめます。

しらないふりのおひめさま

모르는 척 공주

著者：文/絵 チェ・スッキ 최숙희
 出版日：2012年10月10日
 発行元：チェギットンゴム 책임은곰
 ISBN-10：8993242720 | ISBN-13：9788993242720
 ページ数：30ページ
 版型：A4
 分野：絵本



本書の概略

パパ、ママ、ケンカしないで！
わたし、こわいよ！ さみしいよ！

子どものころは、親が思っているよりも、とてもデリケートなのです。この本はベストセラー絵本『だじょうぶ』の著者でもあるチェ・スッキが、両親の対立と葛藤によって人知れず傷ついている子どもたちの心を代弁してくれる絵本です。両親のケンカに不安と恐怖を感じながらも、誰にも言えないまま我慢している主人公のおひめさま。そんなおひめさまを讀者である子どもたちに重ねて、彼らの心を温かくなくさめると同時に、親の行動が子どもにも与える影響は大きいという事実を親たちに気づかせてくれる作品です。主人公の気持ちの変化を感じながら読んでいき、親子いっしょに悲しんだり喜んだり。最後の場面のおひめさまの嬉しそうな顔を見て、子どもたちもほっと一安心。そして何より鮮やかな色づかいが特徴のチェ・スッキのイラストが、よりいっそう心を温かくしてくれます。

著者の経歴

ソウル大学で産業美術を学び、絵本作家として活動を始める。2005年、ポロニーヤ児童図書展で今年のイラストレーターに、2007年、スウェーデン国立図書館の招聘作家として選ばれる。2011年にはホワイト・レイブンス賞を受賞した。絵本作家としての地位を確立し、海外でも翻訳されるなど、大人と子どもを問わず、多くの読者に愛されている。主な作品に『ママがおこった』『きみはきせきだよ』『だれの影だろう？』などがある。

日本でのアピールポイント

4〜7歳児向けの絵本です。やさしく語りかけるような文体で書かれており、読み聞かせするのにぴったりです。子どもたちが大好きなおひめさま、子ネズミといった愛らしいキャラクターを通して主人公の気持ちの変化を汲み取ったり、登場人物を自分に重ね合わせたる楽しさを感じられる作品です。

しましまみにわたしもはしれるよ！ ひばりみたい
にわたしもうたえるよ！

さあ、今度はわたしがやってみるね。みんな、わたし
みたいにできるかな？

『わたしがほんとうに？』

動物園に行ったとき、ママがこう言います。

- あなたが あかちゃんだったときはね、
あの カンガルーのあかちゃんみたいに
とっても ちいさかったのよ。

- わたしが ほんとうに？ あかちゃんだったの？

ママから聞くはなしはびっくりすることばかり。

わたしがあかちゃんだったとか、ちいさかったとか、
泣いてばかりだったとか。

わたし、もうこんなに大きくなって、ちゃんとおはなし
もできるよ！

全体のあらすじ

『だいじょうぶ』

ありさんがやってきます。

- ありさんって ちいさいなあ。
- だいじょうぶ！ よいしょ よいしょ
- ぼくは ちからが つよいから。

わあ、ありさんってすごいなあ！ 続いて、はりねずみ、
へび、ダチョウ、キリンも登場して……。

みんなそれぞれ得意なことがあるんだね！

さあ、最後はきみの番だよ。きみの得意なことはな
あに？

『わたしもわたしも』

- しまうまが たったか たったか はしるよ。
- わたしも わたしも！ たっ たっ たっ たっ。
- ひばりが ちちち うたうよ。
- わたしも わたしも！ ららら。



書にも取り上げられており、40万部以上
を売り上げたベストセラーです。

『わたしもわたしも』は、何でも真似した
がる幼児期にびつたりの絵本です。リズム
カルな擬音があふれる文章で、読者をと
りこにします。親子いっしょになって、本
に登場する動物たちの真似をしながら読
んでみれば、子どもたちは日々少しずつ
新しいことを覚えていくでしょう。

『わたしがほんとうに？』は、日々成長し
ている子どもを褒め、応援してくれる絵
本です。動物園にいる動物たちの赤ちゃ
んと、成長した自分の姿を比べる主人公
の女の子。わたしもこんなに大きくなっ
たよ！こんなこともできるようになった
よ！と堂々と話す主人公のように、子ど
もたちも自分の成長について胸を張って
話すようになるでしょう。

チェ・スッキの 童謡CD付き絵本セット

최숙희의 그림책 동요 세트

著者：文/絵 チェ・スッキ 최숙희

出版日：2009年6月20日

発行元：ウンジンジュニア 웅진주니어

ISBN-10：8901151286 | ISBN-13：9788901151281

ページ数：84ページ

版型：215×245mm

分野：絵本



本書の概略

親子いっしょに歌って楽しむ絵本！
韓国を代表する絵本作家、チェ・スッキ
のベストセラー絵本3冊と童謡を収録した
CD一枚がセットになっており、絵本をいっ
そう楽しめます。それぞれの絵本には、か
わいくてちよっとおませ、元気いっぱいな主人
公の女の子と動物たちが登場します。生
き生きと描かれている主人公に子どもた
ちは惹きつけられ、華やかでありながら暖
かみあふれるイラストは、読者の心を和ま
せてくれます。文章には分かりやすい言葉
が使われており、これから言葉を覚えてい
く子どもたちにぴったりです。

セットになっている『チェ・スッキの絵本童
謡集』には、3冊の絵本の朗読と童謡が
収録されています。童謡は、擬声語や擬
態語のリズムを生かした絵本の文章がそ
のまま歌詞になっており、親子いっしょに
歌ってみれば想像力も広がって絵本をさら
に楽しめるでしょう。

セット内容…絵本3冊『だいじょうぶ』『わた
しもわたしも』『わたしがほんとうに？』、
CD一枚『チェ・スッキの絵本童謡集』

著者の経歴

ソウル大学で産業美術を学び、絵本作
家として活動を始める。2005年、ポ
ロニー児童図書館で今年のイラストレ
ーターに、2007年、スウェーデン国
立図書館の招聘作家として選ばれる。
2011年にはホワイト・レイブズ賞
を受賞した。絵本作家としての地位を確
立し、海外でも翻訳されるなど、大人と
子どもを問わず、多くの読者に愛されて
いる。主な作品に『ママがおこった』『きみ
はきせきだよ』『だれの影だろう？』など
がある。

日本でのアピールポイント

『だいじょうぶ』は、さまざまな動物たち
の生態系の特徴を通して、命の大切さや
自信を持つことを学ぶ絵本です。小さな
動物たちにもそれぞれ長所があり、自信
を持って生きていくことを知った子どもた
ちは、自分の長所についても考えてみるよ
うになるでしょう。そして何度も繰り返
される、だいじょうぶ！のことは元氣
づけられるでしょう。小学1年生の教科

主な登場人物

おじいさん、ミンス

全体のあらすじ

「おはよう」の挨拶から眠りにつくまで、日常生活の様々なシーンでおじいさんとミンス(孫)のほほえましいやりとりが続く。おじいさん想いのミンスは、幼いながらおじいさんが何を好きで、どう接すれば喜ぶのかをよく知っている。大好きなおじいさんの前で、おじいさんを喜ばせる方法を実行するミンスと、それにやさしく笑って答えるおじいさんの、愛情にあふれた穏やかな時間が流れる。



おじいさんを喜ばせる 12の方法

할아버지를 기쁘게 하는 12가지 방법

著者：文 キム・インジャ 김인자
絵 ユン・ムンヨン 윤문영
出版日：2012年11月30日
発行元：パラン세 파랑세
ISBN-10：8961553852 | ISBN-13：9788961553858
ページ数：50ページ
版型：A4
分野：絵本



本書の概略

『おじいさんを喜ばせる12の方法』は、「読み聞かせの絵本作家」として名高いキム・インジャが、多くのおじいさんに直接会って話をした経験をもとにした絵本である。ミンスとおじいさんの素朴な日常会話を通して、「おじいさんが心から喜び、幸せを感じる瞬間が描かれています。ミンスが「おじいちゃん、よく眠れました？」とおはようの挨拶をすると、その日は一日気分が良いというおじいさん、ミンスが美味しくそうにご飯を食べていると、何も食べなくてもお腹がいっぱいになるというおじいさん、ミンスが相槌を打ちながら話を聞いてくれるのを喜ぶおじいさんの姿は、「日常にある幸せ」を私たちに気づかせると同時に温かい気持ちにさせてくれる。おじいさんの孫に対する愛情、そして孫のおじいさんに対する愛情が、映画のワンシーンのように美しく繊細に表現されている。

著者の経歴

著者：キム・インジャ
大学で国語国文学を学び、絵本の読み聞かせが好きで、「読み聞かせの絵本作家、キム・インジャ」と呼ばれる。幼稚園、

学校、図書館など、子どもや大人が集まるところであればどこでも駆けつけ、絵本を上手に読んで聞かせる。現在は読み聞かせの現場で見聞きした話を元に、心温まる感動的な絵本を描く絵本作家でもある。処女作『読み聞かせのおばあちゃん』をはじめ、『パパにこっそり、おばあちゃんにこっそり』『秘密の箱』を相次いで発表し、高い評価を得ている。
絵：ユン・ムンヨン

満州生まれ。弘益大学西洋画科卒。東洋放送、KBS、京郷新聞社を経て、Cheil World wideでCF監督(テレビCMのアイデア、構成、撮影から編集まで、制作に関する全ての準備、演出をする)として活動し、韓国CF界に残る名作を作成。また、制作、演出した映画で第1回MBC映像文化際大賞を受賞。雑誌の出版美術、日刊紙連載小説の挿絵、著者として絵本の執筆等、幅広く活躍している。『おじいさんを喜ばせる12の方法』を描く際は、映画演出の感性を生かして、ひとつひとつのシーンに渾身の力を込めたという。単純に人物と状況を描くのではなく、お互いが共感する瞬間を絶妙に捉えながら、穏やかで叙情的な絵で表現している。色彩を極度に制限したモノトーンの精密描

写から、やわらかく愛情にあふれたほほえましさを感じられるのは、おじいさんとミンスの細やかなまなざし、表情を逃さんとする作家の鋭い観察力が、絵の中に魂を吹き込んだからであろう。

日本でのアピールポイント

日本も韓国も核家族化が進んでいるが、儒教文化が根強く残る韓国では今も高齢者を尊び、大切にしている習慣がある。本書もミンスとおじいさんの会話と日常が、やわらかい敬語の文体(アヨ・オヨ体)で語られており、互いに思いやり愛する心だけでなく、年長者を敬う心の大切さもやさしく教えてくれる作品といえるだろう。日本では最近、祖父母世代のために「どう遊べば孫を喜ばせられるか」を書いた指南書が話題となったが、「何でもしてくれて、何でも買ってくれるおじいちゃん、おばあちゃん」ではなく、「ぼくたち、わたしたちが大切にしたいあげなきやいけないおじいちゃん、おばあちゃん」と、日本の孫たちに気づかせる一冊になれるのではないか。

- 田舎の「私教育」には特別なものがある
 - 都会で実践する田舎の教育法
 - 重要なのは塾の数ではない
- 親がひとりで子どもの教育に責任を持たなければ駄目ですか？
 - 都会で実践する田舎の教育法
 - 田舎の親と先生のように

4章 田舎の教育に関する都会のママの誤解と真実

- 田舎だけど、もう田舎ではない
- 田舎の子どもの勉強法
- 子どもだけの文化が必要だ
- 田舎の先生というものは存在しない
- 田舎の子どもたちにも競争は存在する
- 田舎にもイジメはある

5章 田舎？ 都会？ 重要なのは親の考え方

- 子どもは親の胸で育つ
- 親は犠牲になる人間ではない
- 体験学習から学習を取れ
- 「不足」が子どもを強くする
- 週に一回1時間 運動の力
- 従順な子どもに育てるな
- 活きた教科書で教えろ

プロローグ

「ナナちゃんのママ」イ・ウォンホン

付録

子どもの教育のために帰村するか悩むなら？
うちの子、山村教育に送ってみようかしら？

を見つげられるよう助言している。

4章からは田舎での教育にも限界や問題点はあるとし、必ずしも田舎での子育てを勧めるものではないと客観的な視点で言及。大事なのは田舎か都会かではなく、何がよい教育なのか親が常に悩む「教育姿勢」だと指摘している。また「親は犠牲になる人間ではない」など、子ども第一主義に走りがちな都会の親が自らを振り返ることも、幸せな子どもを育てる大切な要素であると説いている。

目次

プロローグ

「ナナちゃんのママ」イ・ウォンホン、都会の親に物申す

1章 都会のママは悩んでいる

- うちの子、本当に幸せでしょうか？
- 小学生が鼻血ですって？
- どんな教育環境が子どもには必要でしょうか？
- クム・ナナが田舎育ちですって？

2章 あなたの子どもは何点ですか？

- 「だって」「でも」を口癖にするのですか？
 - 都会で実践する田舎の教育法 否定せずに叱る
- 新しいことに自信がなさそうですか？
 - 都会で実践する田舎の教育法 親は垣根だ
- 1等でなくてもいい
 - 都会で実践する田舎の教育法 心に記憶させる
- 感性は学ぶものではなく感じるものだ
 - 都会で実践する田舎の教育法 市場へ、公園へ、時には裸足で
- 子どもにとって本当に必要な競争力とは何でしょう？
 - 都会で実践する田舎の教育法 成績だけが子どもの競争力ではない

3章 田舎だから勉強するのに良い

- 勉強量に比べ成績が上がらないですか？
 - 都会で実践する田舎の教育法 案に勉強するクセを捨てる
- この世のすべてが学習道具だ
 - 都会で実践する田舎の教育法 正答でない選択肢を示す

全体のあらすじ

試験の点数が悪いと子どもを叱る時、重いカバンを背に塾へ向かう子どもの後ろ姿を見送る時、この子育てで正しいのかと悩む親は多いはずだ。自然や文化に触れる機会すらも学習の延長線上になってしまった昨今、田舎での子育てに関心が高まりつつある。

1～3章ではこうした都会に暮らす親の悩みと、田舎の教育が子どもの人格だけでなく、感性、社会性、学習能力にどんな刺激を与え向上させるのか、具体例を挙げて説明。田舎の教育を都会で実践する方法も同時に解説することで、激しい受験戦争に疲れた都会の親が田舎の教育の長所を知り、新たな教育案

都会のママに贈る 田舎の教育法

도시 엄마를 위한 시골 교육법

著者：イ・ウォンホン 이원홍

出版日：2012年6月20日

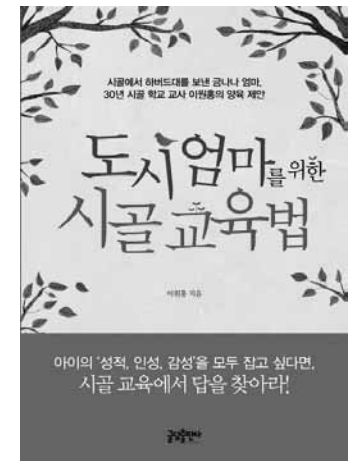
発行元：クルダム(インディゴ) 글담(인디고)

ISBN-10：8992814550 | ISBN-13：9788992814553

ページ数：213ページ

版型：A5

分野：家庭/生活>教育>教育一般書



本書の概略

ミスコリア出身のハーバード大生クム・ナナの母親で、30年にわたり韓国の地方で教諭を務めるイ・ウォンホンによる『都会のママに贈る田舎の教育法』。本書は子どもにどう教えるべきか、どんな教育を受けさせれば子どもが幸せになるか悩む都会の親たちや、田舎育ちの子がどうやってハーバード大学まで進んだのか不思議がる親たちに、田舎で過ごす幼少期が子どもにどれほど大きな力になるかを語る本だ。著者がクム・ナナを育て、教壇に立ちながら悟った田舎の教育法について事例を挙げながら詳しく説明し、都会でも実践できる田舎の教育法を紹介する。

著者の経歴

韓国の誠心女子師範大学家庭教科を卒業後、30年以上にわたり教壇に立つ教諭であると同時に、ミスコリア出身のハーバード大生、クム・ナナの母親である。現在は慶尚北道(キョンサンプクト)にあ

る石浦中学校に勤務しながら、物野中学校でも子どもたちを教えている。「子どもを育てようとするとするより、子どもの得意分野を観察し見つけてやる」「親に頼らず自立できる子に育てる」という教育における二つの原則は、田舎での子育てだからこそ守ることができたと思負している。

日本でのアピールポイント

子ども一人育てるのにかかる費用は二千万円とも三千万円とも言われる時代、いかにのびのびと子どもの能力を伸ばし、自立した人間に育てるかは、日韓を問わず共通の悩みと言える。都会の詰め込み教育に疑問を感じ悩む親たちに、田舎の教諭であり、田舎でミスコリア出身のハーバード大生を育てた著者の実践に基づくメッセージは、何らかのヒントを与えてくれるのではないか。

目次

子どもの時の10年間で、一生を幸せにする

1章 生まれてから3年、出産は続く

- 1 我が子はダイヤモンド
- 2 子どもは匂いで母親を記憶する

2章：1日最低3時間、母親の匂いが必要

- 1 マジックタイム3時間
- 2 心の根を下ろす
- 3 心の幹を育てる
- 4 心の枝を広げる
- 5 マジックタイム3時間、家族全員が幸せになる
- 6 1日3時間遊んであげる
- 7 マジックタイムの影、ブラックマジックを避け

3章：些細なことのために失ったもの

- 1 ひとりぼっちの子どもの脳で何が起きているのか
- 2 早期教育のせいで子どもがダメになる

4章：私はうまくやっているのか

- 1 我が子の心を読む
- 2 愛に遅すぎることではない

5章：それでも母親が答えだ

おわりに

全体のあらすじ

子どもの心が発育する過程で欠かすことのできない大切な要素のひとつに、インプリンティング(刷り込み)がある。生まれてすぐの心身ともに無能な時期に、自身の生命の権限を握る存在＝親の言葉を最初から聞かない者はいない。よって、この時期に親を通して子どもの心に刷り込まれる感情の表わし方や行動の仕方は、その後の母子関係や子どもの発育に多大な影響を与えるというわけだ。だが、インプリンティングの役割は単なる刷り込みだけではない。子どもの心に栄養を与えると同時に、母子の一体感も生む役割を持っている。子どもにとって母との一体感は、将来の人格と精神の安定に重大な影響を与える。従って幼児にとって最も重要な時期の3歳までは、少なくとも1日3時間を子どもと過ごし、離れなければならない場合も3日を超えてはいけないという子育ての3・3・3ルールをしっかりと守らなければならない。固い殻に一定期間守られるからこそさなぎが美しい蝶になるように、ママの匂いに包まれて安全に守られる期間が子どもに必要であること、子どもの健やかな成長のための前提条件は母親の匂いと体温であることを忘れてはならない。

最近韓国では早期教育がブームとなっているが、実は集中力を育てなければならない時期の文字教育は、集中力を妨げる原因になる。欧米など先進国では文字教育を禁止している幼稚園もあるくらいだ。識字教育を急ぐ必要はない。むしろ子どもにとっては、母親との時間を長く取れる方が良いのだ。また、子育てに失敗したと思っても子どもに申し訳ないと考えず、今後はうまくやっていけるというポジティブな心で子どもの心の再誕生を信じ続ければ、時間はかかっても必ずやり直すことができる。子どもが成長とともに親の話を聞かなくなるのは、生まれてから3年間のインプリンティングが不足していたからであり、子どもの抱える問題を共に解決していこうとする余裕と姿勢が、何より大切である。

一日3時間、ママの匂い

하루 3시간 엄마 냄새

著者：イ・ヒョンス 이현수

出版日：2013年3月11日

発行元：キムヨンサ 김영사

ISBN-10：8934961104 | ISBN-13：9788934961109

ページ数：291ページ

版型：A5(148×210mm)

分野：家庭/生活>育児>育児一般



本書の概略

本書は心理学者であり二児の母でもある著者が、20年にわたる経験と研究内容をもとに、母と子が子育てという長い道のりを楽しく健やかに過ごす基本ルールの提示を目的としたものである。本書では母親の胎内にいる時と同じように、のびのびと子どもが成長する条件はママの匂いだとし、子どもの精神的な安定と幸福のために、3歳までは1日3時間とにかく一緒にいてあげること、離れることを余儀なくされた場合でも3日を超えてはいけないという、子育ての3・3・3ルールを提案している。

著者の経歴

心理学博士、臨床心理専門家、精神保健臨床心理士。20年にわたり病院の精神健康医学科で心理検査、心理カウンセラーを務めてきた。現在はヒーリング・アカデミーの院長を務めながら、韓国の多くの大学で臨床心理学、精神病理学、神経心理学などを教えている。心理学者の母親として、心理学と脳科学の理論

をもとに考案した現実的な育児論に、自身の子育ての経験を加味した3・3・3ルールを提唱している。

日本でのアピールポイント

子どもの未来に必要なものは高級なベビーカーや早期教育で名高い幼稚園ではない。子どもの脳は、生まれてから3年の間に完成すると言われている。この時期の子どもの脳は、生存のために徹底して自身の言動を置かれた環境に合わせようとする。著者が心理学と脳科学の理論に基づいて、母親としての経験をまとめた3・3・3ルールをこの時期の子どもに実践することで、人として必要な言動やルールを刷り込むだけでなく、母親の胎内で守られているような心の安定も同時に与えることができる。様々な子育てのグッズや理論が溢れる現代から、言語も理論も教材も必要ない、温もりと匂いだけが求められるシンプルで原始的な子育てへ回帰する道しるべになる1冊。

としか思えない。当時の日本は韓国の要請を拒絶などしなかった。大統領だった金泳三氏が感謝するほどドルを支援したのだ。

5章:偏見と憎しみの拡散 勝者なきサイバー戦争

韓国のネットユーザーが日本の2chにサイバー攻撃を行う事件が発生した。韓国の至宝キム・ヨナがライバルの浅田真央に負けて3位になった直後だった。日本のネットユーザーがキム・ヨナを誹謗したとしてアクセスを集中させ、サーバーのトラブルを図ったのだ。しかし韓国のネットユーザーは、キム・ヨナが優勝した時も日本へサイバー攻撃を行った。勝敗に関係なく、何かにつけ理由をこじつけては攻撃に出るのだ。マスコミは「原因は日本側にある」と述べるだけで、犯罪行為であるサイバー攻撃に対する警告には消極的だった。

6章:ダブルスタンダードなマスコミ 帰化に見る2つの視覚

韓国のバスケットボール選手ハ・ウンジュが日本に帰化した。学生時代から国家代表を期待されていた彼女が致命的な怪我でコートを離れると、彼女を称えてきた協会とチームは彼女を見捨て「他チームではバスケをやらない」という誓約書まで強要する。傷ついた彼女に手を差し伸べたのは日本のチームだった。「リハビリで治療が可能かも知れない。サポートするので日本でやってみないか」と提案したのだ。彼女は日本でのリハビリで完全復帰、有名選手になった。韓国社会は韓国に帰化して活躍する外国出身の選手には賞賛を惜しまないのに、日本代表になるため帰化するか悩んでいた彼女を裏切り者とバッシングした。

7章:都市伝説を越え 幻の歌手「DNP006」を探せ

韓国の文化観光部が在韓日本大使館に抗議の文書を送った。内容は「ネット上で韓国を卑下している日本の歌手DNP006」の歌・映像に対して遺憾の意を表明し、対策を求めるものだった。しかしDNP006という歌手は、存在しない架空の人物だった。ネット上の噂とネットユーザーの投稿だけを根拠に外国公館へ抗議したのだ。結局、DNP006の存在も韓国を卑下したという内容も見つからなかったが、文化観光部は日本大使館に謝罪したのだろうか。

8章:韓国マスコミの未来のために マウスで走る記者と日本マスコミの伝書鳩

昔は足で稼ぐ記事と取材手帳が記者の象徴であった。しかし、最近の韓国の記者には調査も取材もせずに、外国の報道を翻訳して記事にするケースが多くなった。机に向かってネットニュースを検索し、翻訳ソフトで訳す。誤訳と誤報が生じるのは必然だ。

全体のあらすじ

1章:誤訳と誤報 史上最悪の誤報「母親が息子をレイプ」

日本で起こった「無理心中」を「レイプ」と誤訳し報道した韓国のマスコミがあった。乱立する小規模なマスコミの話ではない。50年の歴史を誇り、ラジオ放送局まで持っている大手マスコミのインターネットニュースだ。それを訂正も謝罪もしない無責任な報道により、読者は「日本」に対して歪んだイメージを持つようになる。なぜこのようなことが起きるのか。記者とマスコミの資質を問う。

2章 被害者ぶる われらの歪んだ英雄「金嬉老」

日本でヤクザを射殺し人質劇を起こしたことで有名な金嬉老。韓国では彼を民族差別と闘った英雄扱いし、事件の原因が日本社会の差別にあるかのように報じた。本当の原因であった借金、彼が父親のように信頼した日本人の警官、安定した生活を破綻させた彼をサポートしてきた市民団体が彼の素顔に失望し、救命活動をしたことを後悔しているという証言などは、ほとんど知られていない。韓国マスコミの偏向した報道姿勢がこれほど赤裸々に現れた出来事は他にないだろう。

3章:沈黙 3.1節に謝罪する日本人たち

日本統治下の1919年、朝鮮で独立運動が起きた3月1日は「3.1節」と呼ばれ、現在も韓国の重要な記念日だ。3月1日が近付くと特集番組や記事がテレビと新聞を飾る。2005年、ある新聞に「3.1節、韓国で日本の過ちを謝る日本人女性たち」という見出しの記事が載った。実は彼女らは統一教会の信者で、なかには400万円という大金を教会に納めて韓国に渡った人もいる。韓国社会は彼女らを良心的な日本人として評価するが、日本共産党の機関紙『赤旗』は、彼女らが韓国に渡って苦しい生活をしていると報じている。また彼女らの行動とは裏腹に、統一教会は日本の右派、右翼と強く繋がっている。統一教会の日本人信者は表で韓国に謝罪をしているが、統一教会は裏で日本の右派、保守派と蜜月関係にあるのだ。

4章:怒りを引き起こす 刺激的なタイトルで怒りを誘う

「中国・韓国・日本の間で自由貿易協定(FTA)が結ばれるのも時間の問題。しかしこれは国益がかかっており、慎重が必要だ」「激しい国際競争の中での貿易戦争は仁義なき戦い」という記事があった。内容に問題はなかったが、この記事がインターネットポータルサイトに掲載されるときの見出しは「アジア通貨危機の際に日本は韓国支援を拒絶」。アジア通貨危機は韓国で「IMF危機」と言われ、不景気、失業、倒産など暗いイメージを連想させる。本文のタイトルは「中韓日、FTA三国志」なのに、なぜポータルサイトでのタイトルは「危機の際に日本が拒絶」になるのか。意図的に日本を悪者にした

キムチ愛国主義

―マスコミの理由なき反日

김치 애국주의 ― 언론의 이유 없는 반일

著者：崔碩榮(チェ・ソキョン) 최석영

出版日：2010年10月04日

発行元：人物と思想社 인물과사상사

ISBN-10：8959061603 | ISBN-13：9788959061600

ページ数：253ページ

版型：A5(140×210mm)

分野：政治/社会



本書の概略

反日感情を生み出しているのは韓国のマスコミだ！韓国マスコミの排他的な愛国主義により、誤解と偏見が加味され伝えられている日本の姿・真実がいかに多いことか。本書ではそれらをひとつひとつ事例を挙げて検証。単なるマスコミ批判ではなく、こうした反日報道の真の被害者は韓国の国民なのだという事実を認識し、憎悪や差別、偏見に惑わされることのない「真実の報道」の必要性を説いている。

著者の経歴

1972年韓国ソウル生まれ。韓国の大学で日本学を専攻し、1999年来日。関東地方の国立大学で教育学修士号を取得。ミュージカル劇団、IT企業で日韓の橋渡しをする業務に従事する。2009年韓国へ帰国し。著者活動を開始。2010年韓国メディアの反日扇動を告発した『キムチ愛国主義』上梓。この本で韓国文化観光部が選定する2011年社会科学部門優秀推薦図

書に選ばれる。現在フリーライターとして活動。2012年日本で書き下ろしの『韓国人が書いた韓国が「反日国家」である本当の理由』が彩図社で刊行された。





1994年の韓国 全道 2010年 『漱石とその時代』 57頁 1994年 10月



目次

- 第1章 1970年代、東京大学、ルカーチ
- 第2章 小林秀雄、人は批評家になり得るのか
- 第3章 命をかけて文章だけ書いて自決した男、江藤淳
- 第4章 森有正、ノートルダム、李玉教授
- 第5章 『菊と刀』—前に置かれたものと後に置かれたもの
- 第6章 ミッチェルの『日帝下の思想統制』に寄せて
- 第7章 再び玄界灘を渡らねばならなかった思想的曲折
- 第8章 『イ・グァンスとその時代』と『イ・グァンスと私の時代』の間で

ある人のための後書き—カラスと鮒を欺いて旅立ったある少年の話
付録

私が読んで出会った日本

내가 읽고 만난 일본

著者：金允植(キム・ユシク) 김유식
 出版日：2012年9月10日
 発行元：グリーンビ 그린비
 ISBN-10：8976821548 | ISBN-13：9788976821546
 ページ数：808ページ
 版型：B5
 分野：人文>韓国文学者の日本体験



本書の概略

本書は長年日本文学、そして多くの文学者や研究者に接してきた経験を持つ著者が、日本留学体験をベースにし、自身の考えや感慨を書き綴ったものである。全体は8章で構成され、各章には核をなす人物や書物が配置されている。各章の題名を見るだけで、ある程度内容の推察が可能となる。

これら各章を総括するのが「前書き」で、日本というプリズムを通じて読んで出会った5つの山脈を取り上げた理由が語られている。その5つの山脈が小林秀雄、江藤淳、森有正、ベネディクト・リチャード・H・ミッチェルである。著者が訪日して文学研究に励んだ目的は「植民地時代における朝鮮人留学生の外面条件を知るとともに、内面的条件を確かめたかったから」だった。つまり、「彼らは日本に留学して何をどのよう学び、それによって何を失ったのか」ということである。

このように著者は謙遜しているものの、本書を読み進めていくと、執拗に対象を

追跡している様子が克明に記述されていることがわかる。しかも文体はエッセイ風の軽快なもので、読みやすく「演出」にも気を遣っている。読者は読むのに負担を感じることはない。留学当時の日記を随所に折り込んでいるのも効果的である。来日した頃は、いまほど日韓双方の情報交流が頻繁になされてはいない時代だった。それだけに若き研究者が来日したときの、課題に迫った喜びと気持ちの高ぶりが伝わってくる。

著者の経歴

1936年に韓国の慶尚南道で生まれる。ソウル大学国語教育科卒業後、同大学院国文科修了。ソウル大学教授(現在は名誉教授)。韓国の近代文学研究、文学評論における重鎮的存在。1970年、80年と2度にわたり東京大学の招聘研究員として来日、長期滞在して研究に励んだ。

著書に『近代韓国文学研究』『韓国現代小説批判』『文学史の新領域』『私が読んだバク・ワンソ』など多数。邦訳書に『傷

跡と克服—韓国文学者と日本』(大村益夫訳、朝日新聞社、1975年)がある。

日本でのアピールポイント

韓国では日本文学の研究者が若手を含めて多数輩出されているが、著者はその元老格にあたる。日本文学の最高の読み手であり、頂点に立つ批評家である。とはいえ、著者は日本文学研究の専門家というわけではない。韓国近代文学を研究するかたわら、「韓国の文学者の日本体験」を研究課題としてきたのだ。そうした仕事の総決算ともいえるのが本書である。B5判、807頁。そのボリュームに圧倒されるようにもなるが、韓国を代表する知性の日本観を知るためには最適であり、文学を学ぼうとする者の必読書ともいえるだろう。

目次

著者の言葉

1章 うまくできるという前向きなころ

- ・お母さんの答え
- ・指さん!ありがとう
- ・お母さんとピアノの靴探し
- ・ピアノが贈る、奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

2章 試練に勝つための感謝のころ

- ・今、翼が生えました
- ・家族は私のパワー
- ・ピアノにペダルがつきました
- ・大学生になりました
- ・ピアノが贈る奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

3章 私を変化させるチャレンジのころ

- ・お母さんに拍手を
- ・〈バルトーク〉のピロフは、この私!
- ・私一人でアメリカに残る
- ・ピアノが贈る奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

4章 美しい旋律のための我慢のころ

- ・愛し方を学びました
- ・ばいばい!美味しい食べ物とカワイイ花々
- ・ピアノの悪魔をやっつける
- ・私の左手
- ・ピアノが贈る奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

5章 不可能を可能に変える努力のころ

- ・私は「練習の鬼」
- ・ドキドキの初独奏会
- ・幻想即興曲
- ・ピアノが贈る奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

6章 分け合えばもっと大きくなる愛のころ

- ・私たち共に歩みましょう
- ・ピアノと音楽の仲間たち
- ・北朝鮮にも障害児がいます
- ・北朝鮮豆乳PR大使
- ・ピアノが贈る奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

7章 奇跡を呼ぶ希望のころ

- ・世界最高のポップスピアニスト、リチャード・クレイダーマンに会う
- ・私はカナダに行く
- ・ヨーロッパのデビューステージ
- ・韓国へのレンケラーを夢見て
- ・ピアノが贈る、奇跡のころレター
- ・ピアノと一緒に奇跡のころを育てる

全体のあらすじ

1章 ピアノを習い始めたヒアは、障害を持って産まれたピアノを自らの手で育てるために奮闘した母親の背中から「意志があればできないことはない」ことを知ります。

2章 足がなくとも使える特別なペダルを得たピアノは、ピアノの実力をめきめきとつけていきます。大学生になると寄宿舎生活を経験する中で、「困難は自らを成長させてくれる、ありがたいもの」と何事にも感謝することを学びます。

3章 映画の吹き替えや、異国の地アメリカでの初のホームステイなど、未経験の分野にチャレンジし、成功を収めるピアノ。不安を乗り越えて挑戦することで、自分の可能性を広げられることを知ります。

4章 花粉や小麦粉のアレルギーを持つピアノは、お母さんの反対を押し切り餃子を食った結果、アレルギーを発症し、大好きなピアノの練習ができなくなってしまいます。この経験から自分の欲求を一つ我慢することで、一つ得るものがあることを学びます。

5章 障害者であるという理由で断られた大会で見事最優秀賞を獲得し、独奏会では20曲あまりの曲を完璧に弾きこなししたピアノ。不可能を可能に変えたのは血のにじむような練習でした。ピアノは努力をすれば不可能はないことを知るのでした。

6章 ホームレス支援や北朝鮮の障害者支援、北朝鮮への食料支援など、ボランティア活動を積極的に行うピアノは、困っている人たちを助けることが自らの幸せに繋がると感じます。

7章 憧れの世界最高のピアニストと同じステージに立つまでに成長し、ついに夢のヨーロッパデビューを果たしたピアノ。希望を持たば奇跡が起こり、夢は現実になることを知ります。

身長103cmピアノの奇跡

103センチ미터 희아의 기적

著者：イ・ヒア、ヒョニ 이희아,현희 / 画：パク・ジン他6名

出版日：2011年8月30日

発行元：パランセ 파랑새

ISBN-10：8961552864 | ISBN-13：9788961552868

ページ数：208ページ

版型：A5

分野：児童書



本書の概略

「4本指のピアニスト」として有名なイ・ヒアが自らの経験をもとに学んだ、夢と希望を叶える7つの「ころのパワー」を伝える本。簡単な文章と7人の画家によるハートフルな絵で彩られているため、本が苦手な子供たちにもとつきやすい。章の終わりには、毎回読者が自らの考えをアウトプットできる書き込み式のページもあるので、情操教育にもピッタリ。

著者の経歴

イ・ヒア：1985年9月、韓国生まれ。先天性の障害により、足はひざ上までしかなく、両腕の指が2本ずつしかない。指の力を鍛えるため、5歳よりピアノを始める。7歳で学生音楽コンクールにおいて最優秀賞を受賞。4本指のピアニストとして話題となり、シドニー・バラリンピックの祝賀演奏や、韓国大統領府での祝賀演奏の他、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどでツアーを行う。

日本でのアピールポイント

2006年には日本放送文化大賞グランプリを受賞(ラジオ部門)し、2007年には「2本指のピアニスト」(新潮社)が出版されるなど、日本でも認知度の高いピアニストの作品であるため、関心を持つってくれる人が多いと思います。また、自身の経験から学んだリアルストーリーには説得力があり、希望や愛、忍耐や挑戦など、生きる上での「大切なこと」を気づかせてくれる内容は、子供向けとしてだけでなく大人たちの自己啓発本としても語れると思います。



おすすめの本:ノンフィクション

登山を意味するアルピニズムの起源から極限に挑戦するスーパーアルピニズムまで、200年の世界登山史の集大成となる『アルピニズム、挑戦の歴史』等の書籍を紹介し、著者の情熱から書籍の意義を解説する。

3章 ジョー・シンプソンの『死のクレバス―アンデス氷壁の遭難』にはジョーが実際に遭難した時の経験が描かれている。クレバスと呼ばれる雪渓の深い割れ目に落ちてしまったジョー。パートナーのサイマンはふたりを繋いでいる命のロープを切断し、ひとりで帰還する。ジョーは奇跡的に生還するが、サイマンは罪悪感を持つ。クレバスを人生の危機と例えるなど、登山での出来事を人生に置き換え、著者や登山家の経験を紹介する。

山と人生そして世界

- クィパウィを見て喜ぶ者のシルエット-レンズに映した自然、アン・スニルの『三角山』
- 傷を持ってはじめて岩に至る道を知った-山と詩が作るメタファー、イ・ソンプの『夜間山行』から『泥棒山道』まで
- 登山学校は人生の学校-山は学びの場、専門山岳人たちの『登山』と『登山:マウンテニアリング』
- 我々は過去の失敗から成長する-登りの歴史、イ・ヨンデの『アルピニズム、挑戦の歴史』
- 大丈夫ですか、よく頑張ったね-山と漫画、石塚真一『岳』

3章 それでもまた人生を登る

- 木は羽ばたく鳥をうらやまない-ヒマラヤと厨房、キム・ホンソンの『花がおりと積み肥の臭い』
- 「偉大な沈黙」はどこに-山と神、エドワード・ウィンバーの『アルプス登攀記』
- アルピニズムは不老草か-山と日常を区別する、ガイドーラマーの『青春の泉』
- ぼんやり山を眺めているだけでも良い-龍山と閨房の向こうの女の山、キム・クムウォンの『湖東西洛記』
- 私はいたい場所にて、いなければならない場所にいた-山と子供たち、アリソン・ハーグリーブスとジェームズ・バラドの『母の最後の山K2』
- 山は左右をわけない-行くことのできない山、朝鮮文人たちの『名山踏査記』と『金剛山遊覧紀』
- 生命はそれぞれの空へ登る-登山と死、ソン・ジェシクの『空に登る道』
- 「あの天上の一角」に風と雲だけ許されよ-山頂への礼儀、チョ・チョンゴンの『山頂墓地』
- 空のもとに眩しくない生がどこにあらうか-人生とクレバス、ジョー・シンプソンの『死のクレバスアンデス氷壁の遭難』

全体のあらすじ

1章 韓国人として初めてヒマラヤ8,000m級14座を全て登頂し「山岳グランドスラム」を達成したが、2011年に新しいルートの開拓のためヒマラヤに向かい失踪した故バク・ヨンソク。女性登山家による最初の「ヒマラヤ14座完登」のタイトルをかけた熾烈な競争の中、ナンガ・バルバット登頂成功後、下山途中に墜落死した故コ・ミヨン。そんな韓国を代表する登山家の生涯や挑戦の歴史を国内外の登山書籍と合わせて紹介する。

2章 韓国5名山のひとつと数えられる「智異山」に纏わる高麗時代から現代までの膨大な歴史がまとめられた『ドキュメンタリアルポ智異山』、スポーツとしての

山と人

目次

- 1章 よかった、私たちの傍に山があって**
- 山と人
 - いつも山が私の前の山を隠す-ハン・ワンヨンと植村直己の『青春を山に賭けて』
 - 見えない壁が見えない壁を越える-ジョン・スングォンと『輝く山』
 - 私の本性を見つめるために、高く寂しい生の北側に行く-故コ・ミヨンと『山文紀行』
 - 日常の緯度に戻ってくるために頂上に向かう-故バク・ヨンソクとロパート・スコット『南極日記』
 - 我々は歩くことによりはじめて自由になった-ジョン・グァンシクとスラヴォミールラウイツ『脱出記、シベリアからインドまで歩いた男たち』
 - 淡々と切り開いていった「デスゾーン」-キム・ヨンドと『私はこうやって生きて来た』
 - 寂しく自分に向かって歩く-ナム・ナンヒと『白い稜線に立つと』から『低い山の方が良い』まで
 - 生きて帰ってくるだけでありがたい-オ・ウンソンとラインホルト・メスナーの『生きた、選った:8000m峰14座完登』
 - 本当にそこに山があるのか-エアハルト・ロレタンと『シェルパ、ヒマラヤの伝説』

2章 ゆっくり深く山を読む

- 山と本
 - 私たちの中の「古い未来」-山人の家、アン・チファンとカン・ウング、キム・ウォンの『韓国の古建築:内雪嶽』
 - 未来は過去からくるもの-山岳運動のプライド、《山岳》
 - 私はいつもその山へ行きたい-智異山と人々、チェ・ファスとキム・ギョンリョルの『ドキュメンタリアルポ智異山1・2』

寂しい時は山に行け

외롭거든 산으로 가라

著者：キム・ソンミ 김선미
出版日：2012年9月20日
発行元：ヘネム出版社 해냄출판사
ISBN-10：8965743567 | ISBN-13：9788965743569
ページ数：300ページ
版型：A5
分野：探険/旅行作家



本書の概略

この本は「我々はなぜ山に登るのか？山は人間にとつてどのような意味を持つのか？」という根本的で素朴な疑問に「人」「本」「人生」の3つのキーワードを使って答えようとしたものである。韓国を代表する登山家たちの命を懸けた挑戦について語られ、国内外の有名登山家の生涯や登山記が紹介されている。そして国内外の山に関する書籍の他に、朝鮮時代の文献や現代日本の漫画など、様々な分野にわたり紹介している。韓国を代表する山岳専門写真作家イ・ハングの写真が載せてあり、視覚的な効果も高い。

著者の経歴

1969年韓国水原生まれ中央大学文芸創作学科。ふたりの娘を出産しロッククライミングを学ぶためKOLON登山学校に入学し「山」と出会う。

山岳専門雑誌『MOUNTAIN』で年間記事として働き退職後に子育てのかたわら、執筆活動をおこなっている。その他の著

書には山岳書『山の上で世の中を読む』『児童書』米一粒にも宇宙が詰まっているのだ』等がある。

日本でのアピールポイント

今回、世界遺産への登録が決定した富士山を含め、日本は北アルプスなど数々の名山に恵まれている国だ。幅広い登山マニアが存在し、最近では若い女性の中で「山ガール」と呼ばれる登山ファッショニズムが起きるなど、山に対する日本人の愛情は根強い。有名登山家の挑戦や、世界の登山に関する有名書籍について語られているため、日本の登山マニアも興味を持てる本であると考える。

PART 3：産後ケア、その誤解と真実

CHAPTER 1. 韓国にはあってアメリカにはない産後21日
地球の裏側の産後文化 / 40日間の産後ケア / 人種が違えば回復速度も違う
CHAPTER 2. 産後ケアの心得、伝統か科学か
伝統的な心得1 / 冷気を避ける-血液の循環が重要 / わざと汗をかくのは禁物 / 保温で免疫力を強める / 伝統的な心得2 / 産婦は何があっても横になる-出産後は女性ホルモンが急激に低下 / 骨盤臓器脱の危険/軽めの運動は回復への道 / 段階的に準備する家事と育児 / 伝統的な心得3出産後の入浴は禁止-環境の変化による再検討が必要 / 伝統的な心得4 / 滋養食でエネルギーを補う-ヨードの摂りすぎに注意 / 過剰な摂取は毒になる / 「BESTな産後ケア」 / 産後に最高の運動、ウォーキング
「専門家インタビュー」 産後の健康管理はどのように？

PART 4：女性の一生を左右する産後100日の心得

CHAPTER 1. 出産後ママの体がおかしい
産婦を苦しめる症状
CHAPTER 2. 産後の体を管理する原則1. 2. 3
軽い運動をする / 「BESTな産後ケア」本格的な産後の運動、いつ始めるか / 寒くも暑くもないように保温する / 「BESTな産後ケア」季節ごとの産後ケア法 / 無理せず日常に戻る
CHAPTER 3. 心の痛み、産後のうつ病
ストレスは産婦の心を病気にさせる / 産婦の情緒が不安定になる訳 / 「BESTな産後ケア」産後のうつ病に対処する / パパにも産後のうつ病が
CHAPTER 4. 肥満を予防する産後の食事
産後の食事の原則 / 産後の栄養はまんべんなく、適度に / 産婦の最大の悩み、産後の肥満 / 「BESTな産後ケア」産後のダイエットはどのように / 妊娠中のダイエットは危険 / 産後の健康に効く基本的な運動
「専門家インタビュー」 知れば知るほど混乱する？

PART 5：ママが幸せでこそ赤ちゃんも元気に育つ

CHAPTER 1. 産婦は配慮されるべき存在
産婦を癒す毛布の効果 / 朝鮮王朝時代にも100日間の出産休暇
CHAPTER 2. 私が選択したオーダーメイドの産後ケア
どの産後調理院に行きますか？ / 実家の母の世話になる / わが家で気楽に、産婦用の家政婦さんサービス / 「BESTな産後ケア」各国の産後ケア支援制度 / 妊娠・出産・育児の支援制度を正しく活用



目次

プロローグ

産後100日、母親の一生の健康がこの時期に決まる。

Part1：産後ケア、なぜ必要なの

CHAPTER 1. 真夏にババシャツを着る産婦たち
産後ケアだけではしっかりしないと
韓国の伝統的な産後ケア、どこまで従うか
CHAPTER 2. 出産後、2人に1人は苦しむ
女性の体を理解する / 「BESTな産後ケア」妊娠中の腰痛 / 出産を準備する体の変化 / 苦しみと感激が共存する誕生の瞬間 / 子どもが生まれたら母親の体は後回し
CHAPTER 3. 産後の悪寒は仮病だと？
体から冷たい風が / 産後の悪寒、韓国女性だけの苦しみではない
「専門家インタビュー」産後の悪寒について

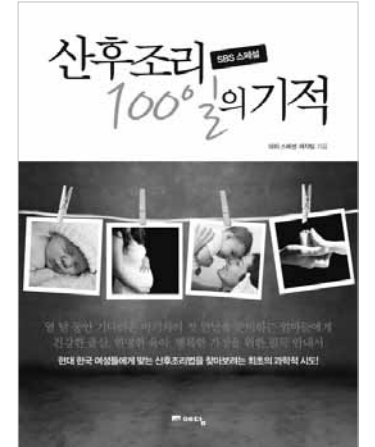
Part2：突然やってくる産後の悪寒

CHAPTER 1. 医師も直せない病気？
産後の悪寒の実体「悪寒」に注目しろ / 「BESTな産後ケア」基礎体力で産後の悪寒を予防する
CHAPTER 2.
西洋医学・漢方医学の「産後の悪寒」治療プロジェクト
21年間片方の足が冷える / 本当の原因を探せ / 不安、緊張そして自律神経系失調症 / 冷水に一度手を入れてだけで産後の悪寒が来る？ / 「BESTな産後ケア」産後の悪寒が疑われる場合は
CHAPTER 3. 出産後遺症の主な敵、ストレス
子供を産んで本当にたくさん泣きました / 理解し配慮してくれる家族がいるか / 「BESTな産後ケア」2人目を産んでから産後ケアを丁寧にすれば良い？ / 「専門家インタビュー」産後ケアをどのようにすべきか

韓国式の産後ケア100日の軌跡

산후조리 100일의 기적

著者：SBSスペシャル制作チーム SBS 스페셜 제작팀
出版日：2012年4月24日
発行元：イエダム 에담
ISBN-10：8959136794 | ISBN-13：9788959136797
ページ数：224ページ
版型：A5
分野：家庭/生活>妊娠/出産



本書の概略

本書は、韓国のTV局SBSで放送されたドキュメンタリー『韓国式の産後ケア100日の軌跡』を書籍化したものである。製作チームは3ヶ月間、出産前後の産婦たちに密着取材し、西欧と南米など世界各国の産後ケア文化を比較・分析することで、長い間「実家の母」を中心とした個人的な領域と見なされてきた出産後の女性の体のケアに対し、科学的で客観的な情報を提供する。また、産婦なら誰でも心配している出産後の健康管理、運動法、食事法、そして産婦の最も大きな悩みでもある産後肥満の予防法とダイエット法に関する詳細な情報は、出産を準備しているママ予備軍にも非常に役立つ。また産婦の産後うつ病に関してのアドバイスも充実している。

著者の経歴

SBSスペシャルは2005年7月10日の初放送から2012年4月8日の最終回まで286回にわたり常に新しい、未来が見える、理性的に論理を展開する感性に基づき表現するドキュメンタリーを目指して

製作・放映されてきた。SBSスペシャル2部作『産後ケアの秘密』は、2011年12月に「第13回大韓民国男女平等賞」の授賞式で、放送部門の優秀賞を受賞した。

日本でのアピールポイント

女優の小雪が韓国で長女を出産した際に、産後調理院という産後のケア施設を利用したことが大きな話題になった。小雪は出産前、テレビ番組でソウルの産院を訪問した時から韓国の産後ケア施設を絶賛していたそうで、彼女の出産を機に、韓国の産後ケア施設の充実したサービスや、きめ細かなケアが日本でも数多く紹介された。本書は韓国の産後調理院でも広く推奨されている韓国の現代的な産後ケアを、科学的な根拠に基づいて紹介するとともに、韓国の伝統的な産後ケアや外国の産後ケアと比較するなど、妊娠・出産・産後に関する興味深い内容が満載。産婦だけでなく、妊娠・出産を考えているママ予備軍、パパやママ予備軍にも、ぜひ読んでもらいたい本である。

- ・割り勘は悪いことでしょうか？
- ・食堂のオーナーになりたい
- ・朝鮮日報のせいで夫とケンカしました

2 家族一人間に対する礼儀

- ・母親と彼女の間で板挟みになりました
- ・お母さん
- ・利己的な母のためにつらいです
- ・弟(妹)の面倒を見るのが大変です
- ・「神聖な家族」の誕生
- ・お父さんの不倫、どうすればいいのかわかりません
- ・名節復活プロジェクト
- ・友達のお兄さんときあうようになって、友達と距離ができました
- ・長男というプレッシャーから抜け出したいです
- ・お姫様のような母親、お荷物に感じます
- ・私のお金は私が管理したいです
- ・期待が大きい両親に対し正直になるのが難しいです
- ・兄の奥さんになる人が結婚準備のために作った借金、両親に知らせるべきでしょうか？
- ・姉の夫と会いたくありません

3 友達一選択の瞬間

- ・友達が私の物を盗んだみたいです
- ・卑怯な私
- ・友人を裏切りました
- ・利己心の限界
- ・ある日親友に、ずっと負担だったと言われました
- ・自分だけが被害者症候群
- ・友人が面倒です
- ・義理か実利か、悩みます

4 職場一個人と組織の衝突

- ・へつらいながら私を裏切った同僚とどのように過ごせばいいですか？
- ・チンピラになろう
- ・仕事中毒の同期のせいでとても疲れます
- ・先輩が職場の上司のため、同僚から仲間はずれにされます
- ・上司の露骨なアピールが重荷です
- ・女性の上司のセクハラにどのように対処すればいいのでしょうか？
- ・上司があまりに仕事ができず、ストレスがたまります
- ・女性の上司、これでは本当に困ります
- ・年下の女性の上司に対する態度が大変です
- ・年上の男性部下の扱いが難しいです
- ・飲み会の場がとてつらいです
- ・男たちの職場サバイバルのノウハウに女である私も従わなければならないのでしょうか？
- ・タバコを吸わないと仲間ははずれになったみたいです
- ・友人が「金持ちの家」の子なのがうらやましいです
- ・事業アイテムを友人に奪われました
- ・仕事と人間関係、私はふたつとも正しくこなっているのでしょうか？
- ・仕事を辞めたいが、景気が悪くて悩んでいます

5 恋人一恋の原理

- ・友人の結婚を見るのがつらいです
- ・親しい同期との間に妙な雰囲気！
- ・友達だと思っていた女の子が告白してきました
- ・姉妹の間で板挟みになり、告白できずにいます
- ・好きな女性が学校の先輩ときあっています。告白するべきですか？
- ・7回目の告白ですが、10回したら成功するでしょうか
- ・男の友情の間に挟まれてしまいました。別れるしかありませんか？

全体のあらすじ

さまよえる「88万ウォン世代」と、タンジ日報総帥キム・オジュンによる会社員のための心のこもった相談！人生において突然ふりかかってくる幾千もの悩みを明快に整理する。2008年、長期不況に対する不吉な予感が韓国社会をパニック状態に追い込んでいた。経済環境の急変は個人と社会の価値観と基準を揺さぶる。今この地に暮らす若者たちも例外ではない。根本的な解決策は見えず、きろきろしながら流れに身を任せるが、不安に変わりはない。

Q. 行きたかった大学に行けなかった自分がつまらない人間に思えます

A. (回答より)韓国は、他人の欲望を満たすために人生すべてを使ってしまう人々、自分の空間ががらんと空いている人々があまりにも多い。あなただけの路線を探し、そこでプライドを取り戻しなさい。時間が長くなるかもしれない。容易ではない。だがその道はあなた自ら探すしかない。そして決して親切になってはいけない。今から少しずつ他人の期待を裏切る練習をなさい。他人の期待を裏切ったからといって、あなたがつまらない人になるわけではない。反対だ。そうやって自分の欲望の主人になりなさい。自分の戦いをなさい。ある日、人生の自由が、あなたのものになるから。(p.25)

目次（一部を抜粋）

Ⅰ 我一人生に対する基本的な態度

- ・もう30歳なのにどうやって生きていけばいいのかわかりません
- ・私の願いの年代記
- ・行きたかった大学に行けなかった自分がつまらない人間に思えます
- ・ソウル大に行けなくて本当によかったです
- ・センシティブで、周りの人の乱暴な言葉が我慢出来ません
- ・なぜ私は雑草を抜くのをやめて、ぼーっとしているのか
- ・20歳ですが、未来に対する道が見えません
- ・ティーンエイジャーに告白
- ・経済的に不安のある彼氏、別れなければならないのでしょうか？
- ・ブランド族への思い
- ・不倫、どうすればいいですか？
- ・自己客観化のために
- ・背が低くていつも憂鬱です
- ・人生に対する掌握力とは
- ・夢と現実、どちらを選択しなければなりませんでしょうか？
- ・やれば出来る！できなければやめろ
- ・男ですが、整形してもいいのでしょうか？
- ・オオカミ少年

健闘を祈る

건투를 빈다

著者：キム・オジュン 김어준

出版日：2008年11月10日

発行元：緑の森 푸른숲

ISBN-10：8971847980 | ISBN-13：9788971847985

ページ数：332ページ

版型：A5

分野：青少年向けエッセイ>正面突破の人生マニュアル



本書の概略

本書は韓国初のインターネット新聞「タンジ日報」の総帥であるキム・オジュンが、様々なメディアに連載してきた相談Q & Aをまとめた本である。著者は、多くの若者たちのアイデンティティの喪失に関する悩みや葛藤、家族、友情、職場、恋愛などに関する質問に、根本的かつ現実的な解答を提示してきた。すべての問題は人生に対する態度の問題で、幸せになる力はずでに自分自身の中に秘められていると述べており、それを見つけるためにはまず、自分自身に対する正しい認識が必要だと語る。人が絶体絶命の苦境に立たされた瞬間、自分自身で決定を下す根拠となるものを示す一冊といえる。

著者の経歴

弘益大学電気工学科卒業。インターネット新聞「タンジ日報」の終身総帥である。タンジ日報が毎週放送しているインターネットラジオ(POBCAST)「タンジラジオ」は、韓国の若者に絶大な人気を誇り、なかでも当時の李明博大統

領の政治形態を皮肉る意味の「나는吾今다(わたしはベテン師だ)」という時事問題を風刺するコーナーは、一躍社会現象にまでなった。代表作に『黙って政治』『しまった、成功してしまった』などがある。

日本でのアピールポイント

日本でも「相談室」とは思えないほど辛辣な回答が話題になった人気の連載があったが、平凡に生きることが何よりも難しく辛い昨今、自身の中では問題に対する結論がある程度出ていたり、望む道はどれなのか分かっていても、時として第三者による強力な助言や道標が、大きな自信と癒しを与え、背中を押してくれることが多いようだ。いずこの国も、人の悩みにそう大きな違いはない。ユーモアたっぷりだが現実的、厳しい内容だがクスツと笑える韓国の相談室から、韓国の若者が抱える悩みや、その背景にある社会問題が垣間見える。

目次

プロローグ 男性、自分だけの空間が必要である

1部 男性、1人でゴル・ルームに入る

- 1章 我々を逃避させるもの
- 2章 なぜ、それほど執着するのか
- 3章 ゴル・ルーム、ありのままの自分を受け入れる場所
- 4章 いきいきとした過去と向き合う
- 5章 世の中、自分はひとりぼっちだと感じる時

2部 男が向き合うべき6つのこと

- 1章 ありのままの自分と向き合う方法
- 2章 知らなかった隠された感情
- 3章 なぜ、他人の愛情と感心を期待するのか。
- 4章 責任を取りたがる悪い習慣
- 5章 一番怖い敵、怒り
- 6章 自分が嫌いな本当の理由

3部 男の涙は美しい、ゴル・ルームを出て

- 1章 男性、心の治癒の可能性を見つける
- 2章 苦痛は過ぎ去るもの
- 3章 十分に感じ、悲しむ
- 4章 共感、自分を慰める第一の方法
- 5章 心の筋肉を鍛える方法

エピローグ ゴル・ルーム、男性が失った慈い場所



全体のあらすじ

本書は大きく3つに分けられる。第1部では、身体と心が疲れてどこかに逃げ出したいと思っている男性の現在の姿に焦点を当てる。ふっと日常を離れたいたいと思った時、その時こそ、ゴル・ルームへ入る時である。30～40代の社会人の男性を対象に数年間、心理カウンセラーをやってきた著者のカウンセリング経験に基づき、男性が精神的に辛い時はいつなのかを観察、分析した後、心を治癒させるための一つの方法としてゴル・ルームを提案した。著者はまず、男性の心の苦痛のすべてが、過去のトラウマから始まると明らかにし、ゴル・ルームで自分の過去と向き合う省察の時間を持つことの重要性について強く語っている。

第2部では、ゴル・ルームで自分を省察する方法を示す。省察というのは、それほど大げさなものではなく、自分をきちんと見つめ直すことから始まる。その時、自分に聞くべきことは、次の通りだ。「過去のトラウマはあるのか」「自分も知らない隠された感情が、日常生活にネガティブな影響を与えているのではないのか」「他人に愛を要求しているのか」「危険を避けようと他人に依存しているのではないのか」「怒りを怒りとして外に出せず、心に溜め込んでいるのではないのか」「自己批判をさせられているのではないのか」これらの6つの中で、まず自分に当てはまるのはどれかを見つめ直すことで、現在の精神的な辛さの原因を理解することができる。

第3部では、疲れて痛む心を治癒する方法を詳しく説明する。まずは、変化を受け止めることから始まる。過去のトラウマを引き出すことは辛いかもしれないし、閉じられた心の扉を開くことはそう簡単ではないかもしれないが、著者が提案した方法を日常生活のなかで繰り返し習慣づけることで、安らかで幸せな気持ちになった自分をいつか見つけることができる。

男の空間

남자의 공간

著者：イ・ムンヒ 이문희 / 박·ジェンミン 박정민
 出版日：2013年2月4日
 発行元：21世紀ブックス 21세기북스
 ISBN-10：8950945991 | ISBN-13：9788950945992
 ページ数：284ページ
 版型：A5(151×222mm)
 分野：自己啓発>自己管理



本書の概略

30～40代の社会人男性を対象に長年心理カウンセラーをやってきた著者の研究事例に基づき、男にとって精神的に辛い時はいつなのかを観察。その原因を把握し、治癒させるための一つの方法としてゴル・ルーム(一人でいられる物理的な空間、心の余裕を持つための時間)を提案する。著者は男性の心の苦痛のすべてが過去のトラウマから始まると分析し、自分の過去と向き合うためには、ゴル・ルームで省察の時間を持つことが大切であるとしている。

著者の経歴

イ・ムンヒ：相談心理学博士、韓国青少年相談院の相談員、梨花女子大学の学生相談センター研究員を経て、現在京畿大学の学生相談センターで研究員として勤めている。企業および大学で20～40代男性の心理カウンセラーもしている。
 박·ジェンミン：相談心理学博士、韓国青少年相談院の相談員、梨花女子大学学生相談センター研究員。相談心理

の専門家として、韓国の大手メーカーでCEOの男性を中心に、心理カウンセリングやリーダーシップ・トレーニングを行っている。

日本でのアピールポイント

世界で最も生存競争が激しいとも言われる韓国社会の男性たちは、誰にも言えない多くの悩みや苦しみを抱え苦しんでいる。これは韓国だけでなく、日本の男性も同様であろう。日本の男性も30～40代といえば仕事に家庭にと忙しく、息つく間もない大変な時期だ。どうすれば、この時期に精神的余裕を持つて楽に過ごすことができるのか。隣国の頑張る男性、苦しむ男性、癒される男性の姿から何かヒントを得られるのではないだろうか。

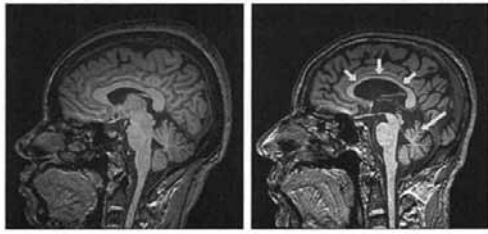


그림 1-2-2 뇌 MRI. 정상인(왼쪽)에 비교했을 때, 환자의 경우(오른쪽) 뇌혈관은 확실히 적다. 또한 뇌 전체가 더 선명하고 작은 골은 확실히 적음.

全体のあらすじ

認知症の予防だけでなく、認知症にかかっても悪化させない方法、笑顔と思いを忘れず、介護者が疲れない愛らしい認知症になる方法などの事例が細かく紹介されている。習慣が作り出す病である認知症に対する間違った情報や知識を正し、認知症とは何かをきちんと把握するための詳しい説明や治療方法を紹介している。

- 3.7 命を長らえさせる食習慣を維持しろ
- 3.8 三高を調節する

第4部 愛らしい認知症、憎たらしい認知症

- 4.1 愛らしい認知症を知っているか
- 4.2 あなたと私を泣かせる憎たらしい認知症
- 4.3 愛らしい認知症、珍しくない
- 4.4 愛らしい認知症になるソリューション 1 : 肯定神経回路網を厚くする
- 4.5 愛らしい認知症になるソリューション 2 : 否定神経回路網をなくす
- 4.6 愛らしい認知症になるソリューション 3 : 愛らしい夫婦が愛らしい認知症を生む
- 4.7 愛らしい認知症になるソリューション 4 : 家庭が円満だと認知症も笑顔に
- 4.8 愛らしい認知症になるソリューション 5 : 薬物治療も重要だ
- 4.9 妻の母の認知症日誌
- 4.10 私がもし認知症にかかったら
- 4.11 定期検診で認知症を予防しよう

終わりに 脳美人が真の美男美女

付録: 症例を通じた認知症の理解

- 1. 水頭症による認知症
- 2. 硬膜下血腫による認知症
- 3. 肝硬変による認知症
- 4. ウェルニッケ脳症
- 5. 神経梅毒による認知症
- 6. てんかんによる認知症の症状
- 7. 脳腫瘍による認知症
- 8. せん妄
- 9. 薬物による認知症の症状
- 10. 一過性の健忘症
- 11. 意味性認知症
- 12. 進行性非流暢性失語症
- 13. パーキンソン病による認知症
- 14. レビー小体型認知症

目次

プロローグ

誰でも最低30日は記憶を失う
誰でも認知症にかかる可能性がある。解決策は脳美人だ

第1部 脳美人が本当の美人だ

- 1.1 顔の美人より脳美人になれ
- 1.2 ケアをしないと脳が醜くなる
- 1.3 脳の筋力を鍛えろ
- 1.4 脳美人とはどんな人間か
- 1.5 脳美人の敵、認知症は生活習慣病だ
- 1.6 認知症を起こす脳の変化は若い時から始まる
- 1.7 あなたは今日、脳美人として生きたか?
- 1.8 脳美人になるには前頭葉を鍛えろ
- 1.9 前頭葉を鍛える10の習慣

第2部 脳美人の敵、認知症とは何か

- 2.1 物忘れ、私は認知症?
- 2.2 認知症、あなたはどれくらい知っている?
- 2.3 太い血管が詰まって起きる血管性認知症
- 2.4 細い血管が詰まって起きる血管性認知症
- 2.5 血管性認知症、なぜ1日も早い発見が必要?
- 2.6 どんな症状のときに血管性認知症を疑うべき?
- 2.7 もっとも多い退行性の認知症、アルツハイマー
- 2.8 アルツハイマーの主犯、アルミロイドの沈着
- 2.9 アルツハイマー病、段階ごとの症状・診断・治療
- 2.10 行動と性格の変化に始まる退行性の認知症 : 前頭側頭型認知症
- 2.11 治る認知症がある

第3部 脳美人が守るべき認知健康の心得

- 3.1 自分の脳を笑顔にする「人事を尽くして天命を待つ」
- 3.2 脂汗が出るまで運動しろ
- 3.3 とにかく煙草はやめろ
- 3.4 社会活動で脳を刺激しろ
- 3.5 大脳が活動する網を放すな
- 3.6 見苦しい酒の飲み方をするな

脳美人

뇌미인

著者 : ナ・ドクヨル 나덕률

出版日 : 2013年2月4日

発行元 : ウイズダムスタイル 위즈덤스타일

ISBN-10 : 8998010062 | ISBN-13 : 9788998010065

ページ数 : 284ページ

版型 : B5

分野 : 健康 > 健康一般 > 老年健康 > 認知症



本書の概略

顔と同じように脳もケアして百歳まで美しく生きよう!

神経科の名医による、認知症のない脳を作るプロジェクト『脳美人』。本書は、二十年以上にわたり多くの認知症患者を治療・研究してきた著者が、これまでの研究成果を整理したものだ。著者は常々「顔と同じように脳もケアすれば百歳まで生きられる」と主張しており、本書では認知症とは縁のない丈夫な脳を持った脳美人になるための心得や、具体的な方法、すでにかかってしまった認知症を悪化させない方法、尊厳を失わない美しい認知症などを紹介している。

著者の経歴

神経科の専門医。認知症・認知神経学を専攻。カナダのウエスタンオンタリオ大学の神経科と、アメリカのフロリダ州立大学神経科の特別研究員を経て、現在はサムスンソウル病院の神経科課長、

成均館医大の神経科学教室主任教授として在籍中。2000年から2002年まで3年連続「ベストドクター」(東亜日報)、2004年に「韓国最高の医者」(朝鮮日報)、2009年には「名医」(中央日報)に選ばれた。

日本でのアピールポイント

今や高齢化社会が進む日本で、認知症、介護は避けて通れない深刻な社会問題にまで発展している。日本と同じように少子高齢化が急速に進む韓国の介護事情や、認知症や老後に関する正しい知識を、最前線の現場で働くプロの視点から整理したわかりやすい書籍である。

7部 ついに金を稼ぐ

主人公は最後の夕食をとりながら、財テクに必要な要素を教えられる。自宅に帰った主人公は、翌朝教え通りに資金計画を立て、チョン・ナヨンが描いた絵を使って1千万ウォンを得る。さらに分譲マンションに投資し、4千万ウォンを得る。

8部 12月24日、クリスマスイブ

懸賞広告のおかげで、新広告会社へチーム長待遇で雇われ、他の広告会社の外部コンサルタントになる。12月24日のクリスマスイブ、主人公はチョン・ナヨンにプロポーズをしたが、彼女は孤児になってから今までのいきさつ、そして来年修道女になる決意を伝え、涙ながらにプロポーズを断る。それから主人公は、次の目標をあのホテルの特別室の会員の資格を得ることに決め、金持ちになろうと努力している。

主な登場人物

トッコ・チョル 主人公。36歳未婚のサラリーマン。知り合いの自営業者より資産が少なく危機感を持つ。

億万長者 主人公の先生役。有望な青年に資産形成法を講義する主義。ホテルの特別室を提供され、KPとも呼ばれる。

チョン・ナヨン ホテルの女性従業員。億万長者の車との事故で両親を失うが、彼の援助を受けローマの大学で絵画を学ぶ。

全体のあらすじ

1部 銭湯で出会った億万長者

主人公は銭湯で億万長者と出会い、金持ちになる方法を教えてほしいと頼み込んだ。彼からその場で3つの簡単なテストを受けると、夜7時にあるホテルへ来るようにと招待された。

2部 発想を変えなければ金持ちになれない

ホテルに行き、美女チョン・ナヨンの案内で、億万長者のいる特別室に通され、食事をしながら固定観念を変える3つの質問を投げかけられる。

3部「マネー・リーダーシップ」がなければ金持ちになれない

ホテルの最上階のジャングル庭園を散歩し、良い刺激と金銭管理能力の重要性に気付く。

4部 お金と億万長者の本質を学ぶ

部屋に入って始まった講義で、億万長者の持つ10の共通点を教わる。

5部 今朝、私にこんなことが

翌朝の朝食で億万長者から新聞の読み方3ポイントを教わり、最後のテストとして、カードを使わず4時間以内に1千万ウォンを立てるように命じられる。成功すれば1千万ウォンを与えられるが、できなければ1千万ウォンを没収されるという条件だった。

主人公は飛び込んだカトリック教会の神父へ、工事不足分1千万ウォンの寄付を条件に同額の借金を申し込むと、神父は預かっている6千万ウォンの株式を貸してくれた。

6部 金儲けのシステムを学ぶ

最後のテストをパスした主人公は「金儲けのシステム」と、資本作り5段階を教わる。

目次

- 1部 銭湯で出会った億万長者
- 2部 発想を変えなければ金持ちになれない
- 3部 「マネー・リーダーシップ」がなければ金持ちになれない
- 4部 お金と億万長者の本質を学ぶ
- 5部 今朝、私にこんなことが
- 6部 金儲けのシステムを学ぶ
- 7部 ついに金を稼ぐ
- 8部 12月24日、クリスマスイブ

銭湯で出会った億万長者の金持ちの話

목욕탕에서 만난 백만장자의 부자이야기

著者：パク・ソンジュン 박성준

出版日：2006年7月10日

発行元：イルピッ 일빛

ISBN-10：8956451125 | ISBN-13：9788956451121

ページ数：357ページ

版型：A5

分野：経済/経営>財テク/金融>お金持ちになる方法



本書の概略

どうすれば大金が得られるのか、経済学の専門用語を使わず小説形式で説明する。主人公は平凡な30代のサラリーマン。偶然出会った富豪から1泊2日の集中講座を受け、資産形成のコツを教わる。富豪は主人公に生活習慣や金銭感覚における落とし穴を説明し、それを改めて努力すれば、資産は作れると語る。

本書は主人公の行動を通して、サラリーマンが日常生活を送りながら借金を清算し、年収分の資産をどのようにすれば作り出せるのかを身近な韓国の実情に合わせて、具体的に理解できるような書かれている。

著者の経歴

1965年生まれ。西江大学校経営学科、高麗大学政策大学院を経て米フィラデルフィアのドレクセル大でMBA課程修了。LG総合商事、錦湖アジアナグループ、コムホタイヤ、ING生命に勤務。現在は(株)ワーキングコンサルティング所長。企業内教育専門の講師として、億万長者の財テク、

経営革新ワークアウト等の分野を扱い、交渉スキル公認講師としても活動中。出講先企業は、錦湖アジアナグループ、サムスン電子、ロッテグループの他、公企業も含め多数。大学等でも特別講義をおこなっている。

日本でのアピールポイント

サラリーマンの資産形成を説くハウツー本の類は日本にも多いが、本書はそれを小説形式で解説するという斬新な形をとっている。収入の範囲内でできる投資方法が、感情移入しやすい身近な登場人物の登場する小説形式で、具体的に実感できるような書かれている。

- 巡って競争する。性選択の場合、すべての決定権は女性にある。
- 13章 一夫多妻は男性にいいように思われるが、結局競争が厳しくなるだけである。雌の選択する基準がきびしくなるからだ。
- 14章 性選択で主導権は、子供を産むためには女性の体を借りるしかない男性よりも、子供を産むことができる女性にある。だから男性は自分を大きく見せることに注力する。
- 15章 人間はもともと一夫一妻が適しているが、離婚と再婚が変異を提供する。
- 16章 繁殖構造そのものや、鳥の雄が雌に求愛するために集まる場所を示すLekについて、解明されていないことが多いが、経済学の競合市場を応用して説明しようとする試みはあった。
- 17章 変異が容易にできるように、無性ではなく有性が存在する。
- 18章 雄・雌だけではなく、もっと多様な性がある。
- 19章 繁殖とは、遺伝子が自分達のコピーを広めうための手段に過ぎない。
- 20章 種を守るための生命体の犠牲は、自然選択だけでは説明が十分ではなく、いまだに議論が続いている。
- 21章 互惠性利他主義について解説する。
- 22章 宗教と科学が融和を試みる。
- 23章 文化の起源と伝播に、遺伝子はある程度関わっている。
- 24章 自由意志によって絶えず生物が誕生したというラマルクの主張が正しかったら、生物学のさまざまな事象が説明しやすかったかもしれない。
- 25章 唯一人間だけが持っている説明する脳は、自由意志の進化の中で誕生した。

全体のあらすじ

前書き ダーウィンの偉大さ。

ダーウィンの進化論を知っておかなければならない理由

- 1章 進化論は生命の意味と現象を説明する最もすばらしい理論だ。
- 2章 4つの条件さえあれば、進化は必ず進む。遺伝的変異個体のうち、生存に有利なものが生き残る。
- 3章 突然変異は重要な概念ではあるが、盲信は禁物だ。
- 4章 変化する環境の中で生き残る個体は、遺伝的変異を豊かに持っているものである。
- 5章 自然界の進化が方向性を持つことができない理由は、遺伝的浮動にある。
- 6章 進化とは単純な進歩ではなく、多様性が増加する方向に変化する過程だ。
- 7章 進化でいう適応とは、それによって生命体がよく生存し、繁殖できる遺伝的な特徴である。
- 8章 自然選択は完璧な生命体を作ることはできない。理由は 1)不規則な環境と 2)遺伝的な制約のため。
- 9章 自然選択の結果で生まれた現在の生命体は、まるで熟練した時計職人が設計して修理したかのように見えるが、実は目の見えない職人が手がけているようなものだ。
- 10章 産業革命によるオオシモフリエダシヤクの色は、農業と環境変化により変化した。進化は周囲で絶えず進んでいる。
- 11章 ペニシリンなどが進化の歴史。いつも既存のウィルスより強いものが出現する。医学は、生物体は進化するという考えながら接することが大事だ。
- 12章 自然選択の観点から見れば生物は食べ物や巣を巡って争うが、性選択の観点から見れば配偶者を

日本でのアピールポイント

ダーウィンの進化論を、わかりやすくしかも深く理解することができる。知らなかった生物学の世界が理解でき、ものを見る目が変わるので、知識が広がることはもちろん、自分の世界が広くなるとても有意義な本だ。

ダーウィンの知能 — 共感の時代を生きるための知恵

다원지능-공감의 시대를 위한 다윈의 지혜



著者：チェ・ジェチョン 최재천
 出版日：2012年1月2日
 発行元：サイエンスブックス 사이언스북스
 ISBN-10：8983715006 | ISBN-13：9788983715005
 ページ数：310ページ
 版型：A5
 分野：人文

本書の概略

ヴィクトリア時代のイギリス社会において、宇宙の成り立ちと生命の誕生は、創造主の恩恵と意思によるものではなく、自然の法則によって自然的に、そして偶然できた結果という挑発的な主張を盛り込み、民衆に大きな衝撃を与えたダーウィンの『種の起源 (On the Origin of Species)』と進化論。その後150年という長い年月に酷烈な試練と研磨を経て、人類文明と他の学問の世界に広く伝播された。数多くの知識人によって絶えず論議され続け、継承と発展を繰り返した進化論は、現代ではただ創造論に反した生物学理論としてではなく、生物環境と非生物環境全てを最も明快に説明できる理論となっている。科学者チェ・ジェチョン教授が発刊した『ダーウィンの知能』は、150年間で進化論が発展してきた過程と進化論を巡って繰り広げられた碩学たちの論争、そして現代進化論の核心を解説する最高の進化生物学の教科書である。進化論は生物学の範疇を超え、哲学と経済学、

法学、文学、政治学、芸術など、さまざまな分野に影響を与えることによって、より豊かで多様化された21世紀の知識生態系を網羅した。

チェ・ジェチョン教授は命が起こし、拡大した社会現象全てを最も包括的に説明できる原理である進化論をきちんと理解することこそが、我々の前に山積された問題の解決に実用できると強く主張している。また、先達の知識人がそうであったように、「集団的知性」として機能し、人類の知的世界を拡大し豊かにすると確信している。

著者の経歴

チェ・ジェチョン
 科学大衆化のパイオニア的な学者で、エドワード・オズボーン・ウィルソンの『知の挑戦 (Consilience)』を韓国語に翻訳し、韓国ではもちろん、海外の学界でも著名な学者となった。彼は1995年以来、市民団体・学校・研究所などで講演を行ったり、TV出演・新聞掲載を通して一般人に科学を広める作業を続けて

いる。1990年、ハーバード大学で博士号を取得、ハーバード大学専任講師を経て、1992年ミシガン大学で準教授になった。1989年アメリカ昆虫学界で若手科学賞を、2000年には大韓民国科学文化賞を受賞し、1992〜1995年まで Michigan Society of Fellow of Junior Fellow に選出された。2004年、ソウル大学の自然科学分野の教授に就任し、2006年にはイファ(梨花)女子大学の自然科学学部

目次

1部 売れる人文学

スティーブ・ジョブズは人文学的なCEOなのか
アン・チョルスは人文学的な政治家なのか
フランス哲学はなぜポピュリズムだと疑われたのか
なぜ東洋古典派は自己啓発本として読まれるのか
人文学に関する本はすべて人文系だろうか
人文学教室ブーム、どのような成果を生んだのか

2部 失われた人文学

社会運動としての社会科学はどうなってしまったのか
学問の言語としてのドイツ語は消えてしまったのか
心理学は脳科学に席を譲らなければいけないのか
人文学は科学に席を譲らなければいけないのか
歴史大河小説は今も可能なのか
批評はどのように全体を洞察する力を回復できるだろうか
社会科学は社会工学として残るのだろうか

3部 戦う人文学

マルクス主義に代わる(を継ぐ)抵抗の哲学とはどんなものか
女性学は性暴力談論を通して何を語ろうとしたか
韓国現代詩はどのようなパワーを持っているか
人文学は韓国映画をどう変化させたか
なぜ使徒パウロが急進的な政治哲学者として脚光を浴びるのか
人文学は労働者の武器になれるのか

4部 可能性としての人文学

新たな民衆史学は可能だろうか
東洋現代哲学は可能だろうか
韓国で精神分析は患者を治療しているのだろうか
人文学者にとっての地獄とは何か
翻訳の政治学がなぜ必要なのか
SNS時代、人文学の課題は何なのか

全体のあらすじ

1部の「売れる人文学」では、韓国で人文学ブームに火をつけたスティーブ・ジョブズ、「政治は知らないが、人文学なら少しわかる」と言って韓国の政治界に新しい風を巻き起こしたアン・チョルス、人文学を標榜する自己啓発本など、「売れる」人文学とは何かを分析する。そして、なぜ人文学が「人気商品」となり得たのか、このような現象が意味するものは何かを検証する。

2部の「失われた人文学」では、韓国社会で大きな位置を占めていた既存の人文学の斜陽化について考える。「象牙の塔」として長いあいだ絶大な影響力を誇ったドイツ語、韓国現代文学を代表する作品といわれる『土地』などの作品を生んだ歴史大河小説、文学を鋭く読み解いてきた近現代の文学批評などは、現代の韓国で衰退の一途をたどっている。若者を支える存在であったはずの人文学が、民主化運動の盛んだった1980年代以降どのように変化し、なぜ勢いを失い始めたのか、時代の流れとともに検証する。

3部の「戦う人文学」では、様々な理由から肥大化、または痩せ細ってしまった人文学の本来あるべき姿を示す。現実と戦い続ける韓国現代詩をはじめ、世界中で注目を浴びつつある韓国映画が人文学にどのような変化を与え、新しい談論を生んできたか紹介し、抵抗の哲学、既存の秩序や価値をくつがえす武器としての人文学を提示する。

4部の「可能性としての人文学」では、未来の人文学のアウトラインを提示する。なかでも疎通のツールとして使われるはずのSNSがむしろ会話を遮断し、モノローグ化させてしまっているというスリリングな論旨の展開と、それゆえSNS時代はコミュニケーションの時代ではないという結論を導き出した25章の内容は興味深い。

戦う人文学

— 韓国人文学の最前線

싸우는 인문학—한국 인문학의 최전선

著者：ソ・ドンウク 서동욱 他 21名

出版日：2013年 01月25日

発行元：バンビ 반비

ISBN-10：8983714794 | ISBN-13：9788983714794

ページ数：287ページ

版型：A5

分野：人文>人文学一般>人文学の理解



本書の概略

本書は韓国の全国紙である京郷新聞の企画「人文学に投じる12の質問」と、インターネット新聞プレシアンとの企画「絶望の人文学」に連載された内容をまとめたものである。韓国では2011年、スティーブ・ジョブズの「アップルは人文科学とテクノロジーの交差点に立っている」という発言をきっかけに、人文学ブームが巻き起こった。百貨店など様々な場所で人文学の教室が開かれ、人文学を標榜する本が数多く出版された。本書では人文学が持つ本来の役割とは何かを改めて検証し、韓国の「知」の最前線に立つ大学教授・評論家・書評家らが選んだ25のテーマを元に、現代における人文学の在り方や韓国人文学の過去、現在、そして未来を考える。

著者の経歴

ソ・ドンウク(企画者)
1969年生まれ。詩人・評論家。韓国の西江大学校哲学科教授。季刊誌『世界と文学』の編集委員を務めている。主な著書に『哲学練習』『ドゥルーズの哲

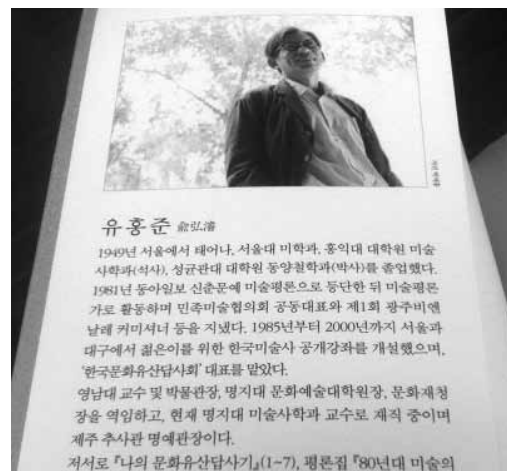
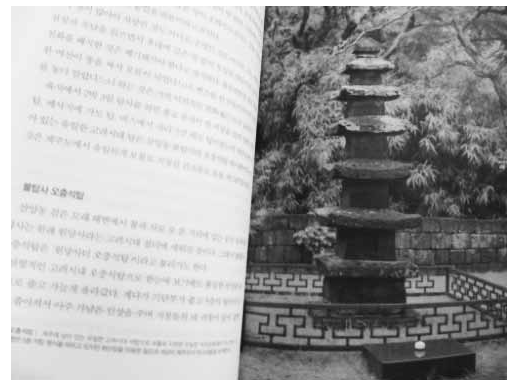
学』『匿名の夜』、詩集『ランボーが詩をやめた日』『宇宙戦争中の初恋』。訳書にドゥルーズの『カントの批判哲学』『プルーストと記号たち(邦訳『プルーストとシニユ』)、レヴィナスの『存在から存在者へ』などがある。

日本でのアピールポイント

新聞の連載企画だったため、一つ一つのテーマが明確で読みやすい。「人文学」を扱っている本は固いというイメージがあるが、CEOと労働者の人文学、SNS時代の人文学など、韓国社会で「いま」注目されている話題や人々の関心事が取り上げられているため、人文学に興味のない層も手に取りやすい。また人文学と韓国の社会構造、人文学と時代の流れに伴う文化や国民意識の変化など、韓国の人文学を読み解くカギとして様々な社会的要素が取り上げられており、韓国社会の過去・現在・未来と韓国人文学の過去・現在・未来を、同時に見渡すことができる構成となっている。

目次

本を出しながら
 「済州ホ氏」のための「済州学」案内書
 済州踏査一番地1ー臥屹本郷堂
 済州踏査一番地2ー朝天ノブンスイ(広い石原)
 済州踏査一番地3ーダランシオルム
 済州踏査一番地4ー龍泉洞窟
 済州踏査一番地5ー下道里海女ブルトク
 (海女が着替えたりした場所)
 漢拏山ウィッセオルム登坂記ー霊室
 耽羅国巡礼1ー三姓穴
 耽羅国巡礼2ー観徳亭
 耽羅国巡礼3ー五賢壇
 済州の西南部1ーハメル商船展示館
 済州の西南部2ー松岳山
 済州の西南部3ー大静泉秋史の謠声
 済州の西南部4ー藝瑟浦
 加時里からドンネコまで1ー小型馬博物館
 加時里からドンネコまで2ー済州学の先駆者
 地名索引



全体のあらすじ

「済州ホ氏」のための「済州学」案内書」と書いてあるので、てっきり済州で生まれて「ホ」という苗字を持つようになった、ホ氏の先祖の痕跡を辿りながら済州の文化遺産を紹介する内容かと思っていたのだが、それは大きな間違いだった。

済州は韓国人が最も愛するリゾート地だ。たぶん、休暇になると最も行きたがる場所ではないかと思う。それほど、リゾート地としてのイメージが強い。ほとんどの韓国人が人生で一度は済州に行った経験があると思う。しかし、著者は済州を訪れる人のほとんどがレンタカーに乗り済州を楽しんでいるが、その真の魅力は十分に味わっていないと主張する。済州ホ氏とは、韓国のレンタカーのナンバーには「ホ」がつくため「済州ホ氏(済州を訪れた観光客)」という意味で、済州ホ氏のたの済州学、つまり済州を訪れた観光客のための案内書という意味でこの文章を書いたのだそうだ。なんとも奇抜な発想である。

著者によると、済州は自然・歴史・民俗・言語・美術などがひとつに結ばれたときこそ価値が現れるのだという。そのため、この本には済州の文化遺産はもちろん、済州を理解するのに欠かせない3万人が虐殺された四・三事件に対してもきちんと解説している。

学生に教えるような柔らかく面白い文章で、読み手は自然と済州の歴史・自然にのめり込ませる。また、美しい景観の写真もぐっと目を引く。日本の自然とは色彩が違う、韓国の自然を感じる事ができる一冊である。

日本でのアピールポイント

済州は2007年ユネスコの世界遺産に選ばれた美しい島である。韓国人のリゾート地から世界的な観光地として生まれ変わった済州の魅力や、存分に伝える一冊だ。読めば思わず済州に行きたくてたまらなくなる。また、一つの物事に対してとことん追及することが好きな日本人の知的好奇心をくすぐるに違いない。

私の文化遺産踏査記7：済州道

나의 문화유산답사기7 : 돌하르방 어디 감상광

著者：ユ・ホンジュン 유홍준
 出版日：2012年9月15日
 発行元：チャンビ 창비
 ISBN-10：8936472186 | ISBN-13：9788936472184
 ページ数：472ページ
 版型：A5
 分野：人文>地域紹介>済州道



本書の概略

済州(チエジュ)は、大韓民国本土の南部に位置する島。1993年に発売した第1巻から2011年に発売した第6巻まで、人文書としては初めて三百万部を突破するという驚異的な記録を残した『私の文化遺産踏査記』の著者、ユ・ホンジュン教授(明知大学美術史学科)が第7巻ー済州編を出版した。前作とは違い、今回発売した第7巻は一冊すべてで「済州」について取り扱っており、済州の自然と文化遺産、歴史と人の話を余すところなく盛り込んでいる。その深さと密度は、踏査記の新たな分野を切り開いたと言えるほどだ。

韓国人のリゾート地から世界的な観光地になった済州。自然の美しさと文化遺産の価値を、このように集約した本は今までなかった。第7巻の済州編は済州での新しい発見を通し、我々に済州を見る新しい目を与えるはずだ。

著者の経歴

ユ・ホンジュン
 1949年ソウル生まれ。ソウル大学校美学科、弘益大学校大学院美術史学科(修士)、成均館大学校大学院東洋哲学科(博士)を卒業した。1981年東亜日報新春文芸美術評論で文壇登場後、美術評論家として活動、民族美術家評議会共同代表、第一回光州ビエンナーレコミッション等を経る。1985年、2000年までソウルと大邱で公開講座「若者のための韓国美術史」を十回開き、「韓国文化遺産踏査会」代表就任。明知大学校教授および文化芸術大学院長、文化財庁長官を歴任、現在明知大学校美術史学科教授在職中、済州秋史館名誉館長就任。評論集踏査記として『私の文化遺産踏査記』(全6巻)、美術史著作として『朝鮮時代画論研究』『画人列伝』(全2巻)、『阮堂評伝』(全3巻)、『ユ・ホンジュンの韓国美術史講義』等がある。刊行物倫理委員会出版著作賞(1998)、第18回萬海文学賞(2003)等を受賞。

目次

序文

第1部 茶、遊びの美学

- 22 太初に聖なる木があった
- 28 最初の茶人 陸羽と‘茶経’
- 48 茶の本性は儉素なもの
- 56 茶禅一味
- 68 茶の風流、酒とともに 詩とともに
- 86 皇帝の茶 大紅袍
- 102 品茶の遊び、茶の味は美酒 香りは蘭よりも
- 110 茶碗 その美学
- 132 宋時代 士大夫たちの茶風情
- 150 元・明・清代の絢爛な茶文化
- 164 日本の茶道の成立
- 178 茶室と茶情 利休と侘び茶
- 192 利休の審美主義と悲劇

第2部 紅茶、社交の美学

- 204 茶は道を通じて世界を1つに結んだ
 - 218 香りはオリエントから、コーヒーの伝来
 - 230 幸福な陶酔、イスタンブールのカフェ
 - 242 コーヒー、ファッションとイデオロギー
 - 254 もう一つの美学、グルマンディーズ
 - 272 サロンとアカデミー、社交と談論
 - 288 ダーザリン・ウバ・キーマン「大英帝国の紅茶」の誕生
 - 300 初のコーヒー・ハウス、ロンドンのバスカ・ロゼーの店
 - 312 あなたの行きつけのコーヒー・ハウスはどこですか？
 - 322 アフタヌーンティーとティーガーデン
 - 336 マイセンとウエッジウッド磁器の物語
 - 354 ジェントルマンとクラブ
 - 370 ティーテーブルは幸福の玉座、文人と茶文化
- 385 あとがき
389 参考文献

全体のあらすじ

茶は中国からシルクロードを通り、初めてヨーロッパへ伝来された。その過程で徐々に世界的に好まれるようになり、地域ごとに独特な茶文化が生まれた。遊びとしての東洋的な茶文化と、社交の重要なアイテムである西洋的なカフェ文化を、多様な資料や引用し様々な角度から紹介している。本場中国の気風や日本の侘び精神・厳肅主義、またヨーロッパへ繋がる茶文化に対する歴史的な検討も行われている。茶文化が文明化の指標として認識されるようになった過程や脈絡も追うことができる。



東洋と西洋のお茶物語

동과 서의 茶 이야기

著者：イ・グァンジュ 이광주
 出版日：2002年5月25日
 発行元：ハンギル사 한길사
 ISBN-10：8935654523 | ISBN-13：9788935654529
 ページ数：392ページ
 版型：B6
 分野：歴史/文化>食文化>お茶



本書の概略

東・西洋の多様な茶文化を紹介。それぞれのお茶がどのように文化的な発展を遂げたのか、どんな役割を果たして来たのか、中国・日本・ヨーロッパなどに伝来した歴史とともに、お茶の社交文化を中心に紹介している。

著者の経歴

高麗大学史学科・同大学院卒業。その後、世界の知性史を中心にヨーロッパ文化全般に関する幅広い研究を継続しており、現在は仁齋(インジエ)大学名誉教授。『情念としての歴史』(1987)、『ヨーロッパ社会 風俗散策』(1992)、『美しい地上の本、一冊』『ベネチアのカフェフロリアンへ行く』(2001)など著書多数。

日本でのアピールポイント

お茶(もしくは紅茶)と関連性のある写真、詩句、風景、挿絵の資料が豊富で、引用文やエピソードなどを分かりやすい説明調で紹介。読者に語りかけられるようなやさし

い文体と、ページをめくるたびに香ばしく美味しい茶一杯を友に、異国を旅しているような気分させられる描写が醍醐味。ヨーロッパ全般の幅広い歴史研究を中心に続けてきた著者が、さらに「お茶」をキーワードにした東西文明や精神文化の大交流を、歴史家の視線と観点から解釈している点が興味深い。また、東洋と西洋の長い社会的な文化交流を、著者独自の審美眼と洒落た感覚で紹介しているストーリー性豊かな内容は、幅広い読者層に受け入れられる一冊だと思う。

ントン・フリーア美術館所蔵品2点、サンフランシスコ・東洋美術館所蔵品3点、ロサンゼルス郡立美術館所蔵品1点、クリーブランド美術館所蔵品2点

図版目録およびリスト

英語版付



全体のあらすじ

絵画・書芸

全26点収録。詳細は高麗仏画4点、風俗画含む朝鮮時代絵画11点、現代絵画1点、推定日本での高麗仏画の模写2点、古代岩刻画1点、碑石文3点、古文書2点、額1点、近代の事件に関する旗1組

工芸・陶磁器

全27点収録。原三国時代土器2点、百濟時代瓦当(軒丸瓦尖端部)1点、新羅王陵と出土品2点、新羅の金冠2点、百濟時代工芸4点、渤海時代三彩1点、統一新羅時代梵鐘1点、推定日本の百濟時代工芸1点、高麗時代漆器1点、高麗青磁1点、水中文化財1点、朝鮮時代工芸1点、朝鮮時代陶器9点

彫刻・建築

全28点収録。推定日本の百濟時代仏像1点、百濟時代仏像1点、高麗時代仏像2点、朝鮮時代仏像1点、新羅時代石塔1点、百濟時代石塔1点、統一新羅時代石灯籠2点、統一新羅時代仏像1点、統一新羅時代石塔2点、統一新羅時代石造物1点、新羅時代石造物1点、朝鮮時代石像3点、朝鮮時代宮殿建築1点、朝鮮時代宮殿構造物2点、朝鮮時代木造建築4点、朝鮮時代王陵1点、統一新羅時代庭園1点、統一新羅時代仏像専(せん)1点、段々畑1点

在外韓国文化財(19点)

大英博物館所蔵品1点、ケルン東アジア美術館所蔵品1点、ギメ東洋美術館所蔵品4点、ホノルル美術館所蔵品1点、メトロポリタン美術館所蔵品1点、ボストン美術館所蔵品1点、シカゴ美術館所蔵品2点、ワシ

日本でのアピールポイント

日本でも今まで韓国文化財を紹介する本が発行されている。しかし傾向として、「高麗磁器」など特定分野に偏ったものか、全集形式で刊行されたものが多く、門外漢が接するには専門用語の多さ、または本自体の形態から近づきにくい印象があった。本書は、文化財専門用語を極力避けたワットと気さくさ漂う文体、近代遺物や段々畑も文化財と認める新鮮な視点、そして写真の比重が高いソフトカバーの体裁で、一般人も求めやすい本の形式になっている。古くから韓国古美術の愛好者が多い日本では、一般美術家にも注目されやすい内容と思われる。

ユ・ホンジュンの国宝巡礼

유홍준의 국보순례

著者：俞弘濬(ユ・ホンジュン) 유홍준

出版日：2011年8月10日

発行元：ヌルワ 놀와

ISBN-10：8990620538 | ISBN-13：9788990620538

ページ数：267ページ

版型：A5

分野：歴史/文化>文化一般>文化財/遺産



本書の概略

韓国のロッグセララーが語る、韓国文化財の美！

本書は、韓国で三百万部のロングセララー『私の文化遺産踏査記』の著者ユ・ホンジュン教授が、朝鮮日報に連載中の同名連載『ユ・ホンジュンの国宝巡礼』へ120回以上にわたり掲載した文章をまとめたものである。著者独特の基準で韓国文化財の名品を選定した本書は、韓国政府指定の国宝、国内所蔵の文化財に限らず、海外に所蔵された名品も多数紹介している。収録された絵画、書芸、陶磁器、彫刻、建築など各分野の名品解説の隣のページには美しい写真を添えている。その魅力を鑑賞できるように構成されている。著者ならではの独特かつワットに富み、簡潔で読みやすい文章からは、それぞれの名品に込められた深い物語が生き生きと描写され、読者が今後新たな視点で文化財を鑑賞できるようアドバイスしている。

著者の経歴

ユ・ホンジュン

1949年ソウル生まれ。ソウル大学校美学科、弘益大学校大学院美術史学科(修士)、成均館大学校大学院東洋哲学科(博士)を卒業した。1981年東亜日報新春文芸美術評論で文壇登場後、美術評論家として活動、民族美術家評議会共同代表、第一回光州ビエンナーレコミッションナー等を経る。1985年〜2000年までソウルと大邱で公開講座「若者のための韓国美術史」を十回開き、「韓国文化遺産踏査会」代表就任。明知大学校教授および文化芸術大学院長、文化財庁長官を歴任、現在明知大学校美術史学科教授在職中、済州秋史館名誉館長就任。評論集踏査記として『私の文化遺産踏査記』(全6巻)、美術史著作として『朝鮮時代画論研究』『画人列伝』(全2巻)、『阮堂評伝』(全3巻)、『ユ・ホンジュンの韓国美術史講義』等がある。刊行物倫理委員会出版著作賞(1998)、第18回萬海文学賞(2003)等を受賞。

- ・ 協同組合の子会社企業「グラナローロ」
- ・ 協同組合だけで協同する？幼稚園協同組合「カラバクプロジェクト」
- ・ シェフとウェ이터の労働者協同組合「カムスト」
- ・ 演劇も協同組合で「バラカ」
- ・ 小規模の協同組合も印刷広告物協同組合「キチンコープ」

世界で一番しあわせな国：デンマーク

- ・ 風車も協同組合で回る風力協同組合「ミドルグロン」
- ・ 持続可能な銀行を目指す協同組合銀行「メルクール」
- ・ グローバル畜産協同組合企業「ダニッシュクラウン」
- ・ 国境を越え協同組合として連帯する乳加工協同組合企業「アーラ・フーズ」
- ・ 都会の真ん中で養蜂？コペンハーゲンで出会ったミツバチ協同組合

家族農業が支える幸せな農業強国：ニュージーランド

- ・ 世界第1位の酪農・農業組合「フォンテラ」
- ・ 若き農夫の夢「ヤングファーマーズクラブ」
- ・ ニュージーランドの代表的企業「セズプリ」も協同組合？

日常にとけこんだ協同の精神と文化：スイス、オランダ

- ・ 消費者協同組合の王国、スイス
- ・ 持続可能性こそ「ミグロス」のDNA
- ・ オランダの協同組合銀行「ラボバンク」
- ・ 世代を超えて受け継がれるラボバンク 協同の力

まだまだ知らないことはある：イギリス、カナダ、アメリカの協同組合

- ・ 登山家たちの協同精神が山岳国カナダを目覚めさせた
- ・ 協同組合の元祖イギリス、再びルネッサンスを夢見る
- ・ アメリカを支える協同組合
- ・ 協同組合をはじめるには

第2章 韓国の協同組合は今どこにいるか

私たちには原州(ウォンジュ)がある、協同組合のメッカ

- ・ 生活協同組合があるから、住民はしあわせ
- ・ 農協…協同組合の要は息を止めたまま

韓国に求められる協同組合を想像してみよう

- ・ 私たちの生活に必要な協同組合の想像力
- ・ 幸せな想像1) 人口10万人あたりに1つパン屋さんの協同組合
- ・ 幸せな想像2) 協同組合 チキン店の競争力
- ・ 幸せな想像3) ソウル市長はアパート協同組合の理事長
- ・ 幸せな想像4) 都市を変える アパート協同組合
- ・ 幸せな想像5) 小回りバスの協同組合事業
- ・ 幸せな想像6) 移動通信 消費者協同組合の力
- ・ 幸せな想像7) ウェディング事業は大学生の協同組合で？
- ・ 幸せな想像8) 出版人の労働者協同組合
- ・ 幸せな想像9) 株式会社から協同組合へ
- ・ 幸せな想像10) 代案学校、そして農業学院
- ・ 幸せな想像11) 果樹園と帰農協同組合
- ・ 幸せな想像12) 社会的企業にふさわしい経営形態 … 体にびったりあった服がいい

第3章 協同組合の大家に会いにゆく

「協同組合はよりよい社会を作る」

ポーリン・グリーン(国際協同組合連盟会長)
ジョンストン・バーチャル(スコットランド スターリング大学教授)

「持続可能な協同組合を若者に伝えていこう」

マリア=エレーナ・チャベス(ILO 国際労働機構局長)

「民主主義の価値を守るために協同組合を育てる」

ステファノ・チャマニ(イタリア ポローニャ大学教授)

全体のあらすじ

第1章は協同組合先進国のリアルな現場報告。協同組合の聖地といわれるイタリアに始まり、デンマーク、ニュージーランド、スイス、アメリカなど世界8ヶ国をたずねる。日本人にもなじみの深い生活協同組合のみならず、国のエネルギー政策を支える風力協同組合、金融危機を生き抜いた協同組合銀行など、多様なスタイルと最新事情を紹介。

第2章では、もし韓国にさまざまな協同組合が現れたら、を想像してみる。地域の商店街、アパート運営、移動通信分野、学校経営などの12の場面を通して、協同組合で変わる社会の姿をシミュレーション。

第3章では、協同組合研究の大家へのインタビュー。協同組合を支える理念を確認する。

目次

まえがき

ひとりで行けば早く行ける、みんなで行けば遠くに行ける

プロローグ

なぜ協同組合なのか？

第1章 世界の協同組合の現場をゆく

- ・ 小さな町が豊かに生きられる秘訣：協同組合の聖地 イタリア ポローニャ
- ・ 大型スーパー級の消費者協同組合「イーベルコープ」
- ・ 農家だけで協同する農民協同組合「コメータ」
- ・ 家も協同組合で買う住宅協同組合「コープ アンサローニ」

雇用に喘ぎ、格差は広がり続ける。今、日韓両国は同じ閉塞感に覆われています。本書の著者である3人の韓国人ジャーナリストは、こうした状況を打破する糸口を探るべく取材を開始し、協同組合に社会変革のヒントを見出しました。本書で提示される様々な成功事例は、日本にとっても目からウロコ。商店街の活性化、大学生の起業など、多くの場面で活用できる“現代社会の参考書”のような一冊です。

協同組合は素晴らしい —世界の99%のための企業を学ぶ—

협동조합, 참 좋다—세계 99%를 위한 기업을 배우다

著者：キム・ヒョンデ 김현대、ハ・ジョンラン 하중란、チャ・ヒョンソク 차형석

出版日：2012年7月16日

発行元：プルンチシク 푸른지식

ISBN-10：8996431583 | ISBN-13：9788996431589

ページ数：312ページ

版型：A5

分野：経済/経営>経営管理>企業営業一般



本書の概略

世界同時不況が叫ばれる一方で、経済に振り回されない自立的な暮らしが営まれている場所がある。例えばイタリアのポローニャでは不動産投機取引が存在せず、なんと市民の85%が持家で生活。デンマークのコペンハーゲンには、市街地の養蜂場がホームレスの雇用と緑の再生に一役買っている。ニュージーランドの酪農家は月給制に近い。安定した収入が健全な牛の育成につながり、結果として消費者にも安全な乳製品が届けられている。いずれも、協同組合⇨利潤追求ではない企業スタイルが深く社会に浸透していたからこそ実現したものだ。本書は、3人の韓国人ジャーナリストが世界各国で協同組合の最前線取材。理論ではなく具体論で地域再生の道筋を示すリアルな啓発書。

著者の経歴

キム・ヒョンデ…ソウル大学社会学専攻。「権力と資本からの独立」を掲げ1988

年に発刊した進歩・革新系新聞『ハンギョレ』の創設メンバーであり、現在も記者として最前線に立つ。『協同組合を起業せよ(내협동조합을기업하라)』監修。

ハ・ジョンラン…ソウル大学新聞学科現・言論広報学科卒業。1993年にラジオ番組プロデューサーとしてKBS(韓国放送公社)に入社。『ひきこもり青少年のための2泊3日キャンプ』『ヨーロッパ代案経済の力 協同組合ビジネスの現場を行く』等の特集を制作。

日本でのアピールポイント

景気がいいのは一部のグローバル企業だけ。社会全体でみれば若者は就職難や非正規

目次

プロローグ

- 1) 政治とは何か？
- 2) 選挙と参与制度を活用すること
- 3) 政党を活用すること
- 4) NGOで活動すること
- 5) 世論を作るということ
- 6) 直接闘うということ

付録 権利の探し方のマニュアル
索引

全体のあらすじ

1) 政治とは何か？

将来の見えない生活を強いられている韓国の政治状況を分析しその原因を探りながら、このような状態を変えるには、政治に参加することが大切だと強調している。

2) 選挙と参与制度を活用すること

選挙権を正しく使っているか、投票の際は何に留意しなければならないかが、ステップを踏む形式で書かれている。

3) 政党を活用すること

政党に加入するにはどうすればいいか、加入したら何ができるのかが、具体例を挙げて述べられている。

4) NGOで活動すること

NGOに加入して政治活動に参加するのも一つの方法である。韓国社会でNGOが果たしている役割を例に挙げながら、どのような方法でNGOを探しだし、どのように活動すればいいのかが述べられている。

5) 世論を作るということ

世論を作り出すにはどうすればいいのか、ネットを使う際、何に注意しなければならないか、そして、正確な情報を得ることのできる情報公開制度をうまく利用するにはどうすればいいのかについて述べられている。

6) 直接闘うということ

良心と信念に基づいてどうしても受け入れられない不条理には従わないことの大切さを、非暴力不服従の精神を貫いたガンジーやキング牧師、韓国のろうそくデモの例を挙げて語っている。

都市生活者の政治白書

도시생활자의 정치백서

著者：ハ・スンウ 하승우、ユ・ヘジョン 유해정

出版日：2010年5月10日

発行元：ブックハウス 북하우스

ISBN-10：8956054576 | ISBN-13：9788956054575

ページ数：390ページ

版型：B6

分野：政治/社会>市民運動



本書の概略

政治に直接参加するために、すぐ実践できる情報満載の書。平凡な都市生活者が政治に参加して政治的な市民となるにはどうすればいいのか。たとえば選挙への関与の仕方、政党への加入の仕方、NGO活動、世論の作り方、直接対決の方法など、具体的な例を挙げて易しく説明している。

著者の経歴

ハ・スンウ・慶熙大学政治外交学科卒業後、高麗大学校と慶熙大学校で政治学修士課程と博士課程を修了。草の根自治研究所「イウム(つながり)」運営委員。知行ネットワーク研究活動家。著書に『希望の倫理トランス』等がある。

ユ・ヘジョン・人権研究所「窓」、人権財団「ひと」で活動中。大学卒業と同時に3年の期限付きで始めた人権運動が、1つの間にか10年を越える。人間が人間らしく生きられる社会を作ることが夢。

日本でのアピールポイント

本書では、韓国における政治活動の参加方法が紹介されているが、未来に夢と希望をもてない今の日本で政治を変えるにはどうしたらいいのか、おおいに参考になる内容だと思われる。

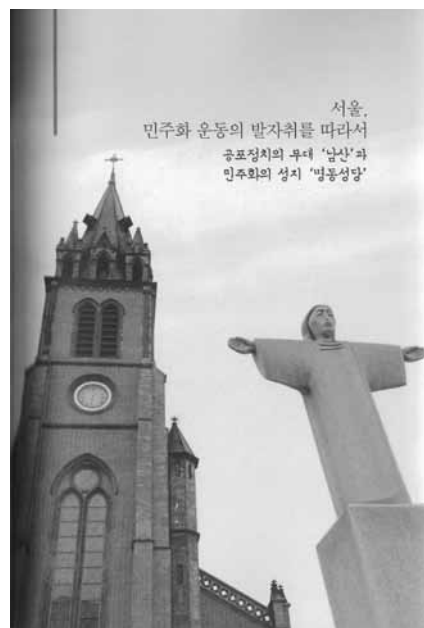
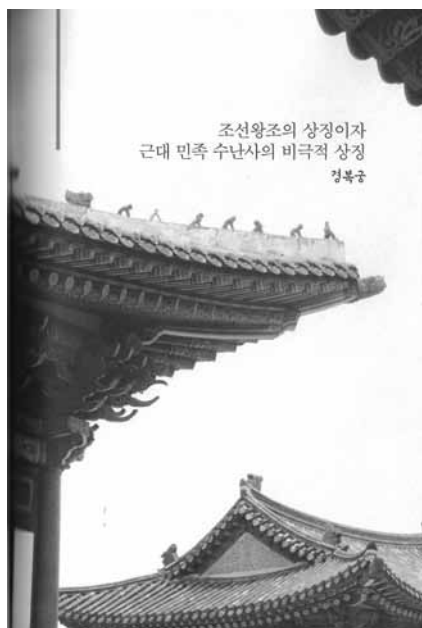
目次

- ・戦争を記念する場所に平和はない—戦争記念館
- ・被害者と歴史が共存する場所—ナムの家
- ・和解できない矛盾空間—国立ソウル顕忠院
- ・朝鮮王朝の象徴であり近代民族受難史の悲劇的象徴—景福宮
- ・歴史的現場は今日を照らす鏡となり—独立公園と西大門刑務所歴史館
- ・草1本にも歴史が息づく場所—江華島
- ・未完の革命が地に埋まる場所—国立4.19民衆墓地
- ・ソウル、民主化運動の跡をたどって—恐怖政治の舞台「南山」と民主化の聖地「明洞聖堂」
- ・民主主義がうまれる場所—広場
- ・外来文物が上陸した関門、仁川—チャイナタウンと自由公園

全体のあらすじ

必ずしも観光客にとって有名な場所とはいえない、ソウル周辺の歴史的名所を紹介している本書を通して、読者は韓国近現代史を旅することが出来るのではないだろうか。そこには輝かしい歴史の物語は存在せず、悲しい歴史が横たわっている現実には読者は直面することになる。だが決して目をそむけず、裏話も含めた豊富な情報をよりコンパクトな形でまとめているのがハン・ホング氏の大学での講義であり本書である。特に冒頭の戦争記念館の項では、なぜ韓国には平和博物館ではなく戦争博物館があるのかという素朴な疑問から始まり、博物館の展示内容はもとより建設されるまでの経緯など、博物館建設の歴史をたどりながら韓国現代史も振り返る記述となっている。

韓国の空の玄関口となっている仁川の項では、チャイナタウンが取り上げられている。韓国と中国、華僑の関係をたどりながら、なぜチャイナタウンが今の規模にとどまったのかなど、実際に街を歩いていても分からない歴史、「目に見えない」部分の記述が豊富である。その他にも慰安婦とされた女性たちが集団で暮らしているナムの家では、被害者から見る歴史の重要性について、いわゆる国立墓地であるソウル顕忠院では、死者を国家が追悼することの意味について考えさせられる内容である。



ハン・ホングと一緒に歩く —平和のまなざしで振り返った 韓国現代史

한홍구와 함께 걷다 — 평화의 눈길로 돌아본 한국 현대사

著者：ハン・ホング 한홍구
 出版日：2009年11月30日
 発行元：コムドゥンソ 검동소
 ISBN-10：8980403445 | ISBN-13：9788980403448
 ページ数：251ページ
 版型：A5
 分野：歴史/文化>韓国史>韓国近現代史



本書の概略

本書は歴史家が一般読者向けに平易な言葉で歴史的な場所について説明した一種のガイドブックである。著者であるハン・ホングが大学の「文化遺産探訪」という授業で学生とともに歴史の現場を訪れ、授業内容をまとめた形で構成されている。紀行文や探訪記といった本と本書の決定的な違いは、例えば戦争記念館の項では戦争記念館の展示内容にとどまらず、その背景にあるもの、展示を目に見えるものとする「目に見えない」ものにまで説明が及んでいる点である。また所々に写真が多く用いられており、ビジュアル面でも読んでいて楽しい本である。

著者の経歴

1959年ソウルに生まれる。ソウル大学国史学科を卒業後に、米国ワシントン大学で博士号を取得する。現在は聖公会大学教養学部教授。国家情報院の過去史委員会民間委員を務め、平和博物館建設推進委員長理事、良心による兵役拒否権実現と代替服務制度改善を願う連帯会

議の共同執行委員長を歴任している。著書に『大韓民国史』『ハン・ホングの現代史再読』などがある。『韓洪九の韓国現代史』韓国とはどういう国か』『韓洪九の韓国現代史(2)負の歴史から何を学ぶのか』『倒れゆく韓国韓洪九の韓国「現在史」講座』が日本語翻訳されている。

日本でのアピールポイント

文体は非常に容易で読者に語りかけるような記述となっているが、歴史用語が多数使用されているため、歴史への理解が翻訳の際に求められる本となっている。韓国の読者にとっては、今まで学校教育を通して教えられてきた歴史を客観的に読みなおす書籍として、日本の読者にとっては、定番コースだし世界遺産だから何となく行っていた景福宮、シヨッピングの途中で目には入るけど中に入った人は少ないだろう明洞聖堂、ロープウェイと夜景が有名な南山が、どのような歴史の産物なのかを知る書籍として、興味深い内容満載の1冊となっている。

おすすめの本：ノンフィクション

カメラ恐怖症の映画俳優

ーチョ・ソンムク 映画俳優兼プロデューサー

ゆっくりでも、ひたすら一本道を歩いていく

ーイ・ジョンヒャン 映画監督

作曲しない映画音楽家

ーチョ・ヨンオク 音楽監督

3. 映画は待つもの

死ぬまで映画を撮り続けたい

ーキム・ユジン 映画監督

階段の1段がこんなに高くて険しいなんて

ーソ・ヨンヒ 映画俳優

変化を模索し続ける照明監督夫婦

ーチェ・ソンウォン、ナム・ジナ 照明監督

映画工場の工場長

ーパク・ヒジュ 撮影監督

人生を変える映画を作りたい

ーキム・ヨンテ 映画監督

「チョン・ヨンイル^{※訳注}」にやりたい映画ジャーナリスト

ーオ・ドンジン 映画評論家

（※訳注：映画評論家1928～1988 青龍映画賞にチョン・ヨンイル映画評論賞がある。）

4. 映画で明日を夢みる

私のすべては映画のためにある

ーカン・ウソク 映画監督

韓国映画のフロンティア

ーシン・チョル プロデューサー

アメリカで成功する女優になりたい

ーキム・ユンジン 映画俳優

幅広いジャンルの韓国映画を製作する

ーユン・ジェギョン 映画監督

商業映画は観客の嗜好に合わせなければならない

ーチョン・テウォン プロデューサー兼映画監督

粋で美しいアクション演技をつくりだす

ーチョン・ドゥフン 武術監督兼映画俳優

会社を代表するブランドになれ

ーチェ・ユニ マーケッター

5. 尽きることのない話ー美しいこの世の散策をやめた人々

姉と弟の悲しい物語

ーチェ・ジンシル 映画俳優

映画に愛され、映画を愛した俳優

ーイ・ウンジュ 映画俳優

今日もいつもどおり忠武路の朝が明ける

ーチョン・スンヘ プロデューサー

全体のあらすじ

第1章

パク・チャヌク監督（『オールド・ボーイ』『親切なクムジャさん』）、国民的俳優アン・ソンギらのインタビューを通して、映画に携わるようになったきっかけから、失敗を乗り越え、名声を得るまでの苦労を語る。

第2章

メディア嫌いで有名な『おばあちゃんの家』のイ・ジョンヒャン監督や、韓国で初めて映画のOST（『接続ーザ・コンタクトー』）を大ヒットさせたチョ・ヨンオク音楽監督らのインタビューを通して、それぞれの映画に対するこだわりを語る。

第3章

興行に失敗しても映画を撮り続けるキム・ユジン監督（『神機箭（日本未公開）』）や、デビュー10年目にして主演女優賞を受賞したソ・ヨンヒらのインタビューを通して、映画へのあきらめない姿勢を語る。

第4章

『シュリ』で一躍有名になり米国ドラマ『LOST』で世界的スターとなったキム・ユンジンや、コメディ映画の質を低下させたと評されながらも大ヒットした『大変な結婚（原題：家紋の栄光）』のプロデューサー、チョン・テウォンらのインタビューを通して、映画に対する夢、飽くなき野望を語る。

第5章

若くして自ら命を絶った女優チェ・ジンシルやイ・ウンジュらを偲び、彼女らの死が韓国映画界に与えた影響を語る。

目次

はしがき

夢中になれ！映画を好きになれば、彼らのように……

1. 映画、運命なのか中毒なのか

つらい時期を乗り越える力は、自分を信じる力だ

ーパク・チャヌク 映画監督

現場を守る俳優として生きていく

ーアン・ソング 映画俳優

好きで選んだ仕事だから、能動的にやらなくてはい

ーイム・ジェヨン 照明監督

最善を尽くせば、その思い出は貴重なものだ

ーキム・サンボム 編集記者

死ぬほど一生懸命やれば、無駄なものは何もない

ーイ・ジュニク 映画監督

映画のために挑戦することが楽しい

ーキム・ミヒ プロデューサー

2. 映画の中心で愛を叫ぶ

映画の力で愛を込めて表現する

ーベ・チャンホ 映画監督

映画を色彩で包む

ーキム・ギチョル 美術監督

千の顔を持つ男

ーパン・チュンフン 映画俳優

映画が好きだ

ー韓国映画を代表する忠武路の映画関係者らの率直な話

나는 영화가 좋다ー한국영화를 대표하는 총무로 영화인들의 진솔한 이야기

著者：イ・チャンセ 이창세

出版日：2011年10月31日

発行元：知識の森 지식의숲

ISBN-10：8957978968 | ISBN-13：9788957978962

ページ数：368ページ

版型：A5

分野：芸術/大衆文化>映画



本書の概略

映画担当の記者、プロデューサー、俳優でもある著者が、映画監督や俳優など28人の映画人に対するインタビューを通して、映画とは何かを語っていく。監督や俳優だけでなく、音楽や照明などの裏方、成功者、失敗者など様々な人物が登場し、映画人としての人生観や映画観を飾らない率直な言葉で語る。

著者の経歴

中央大学新聞放送学科を卒業し、朝鮮日報の『スポーツ朝鮮』、国民日報の『スポーツトゥデイ』などで20年にわたり記者として活躍した。『スポーツ朝鮮』が創刊された1990年、17年間中断していた青龍映画賞の授賞式を復活させる中心的な役割を担い、以後10年間、式の進行を指揮する。授賞における審査過程を初めて公開し、賞の公正性を期した。2001年から2年間で、映画現場を守る人々の日常をスケッチしたコラム『映画村物語』を週刊朝鮮に連載した。2003年から韓国映画の製作に携わり『人生の

逆転（2005年日本公開）』などを製作した。現在はフューチャーフィルム（株）の代表プロデューサー。

日本でのアピールポイント

映画が好きなお人、映画業界を志す人なら誰でも楽しんで読める作品である。日本でも人気を博した映画のみならず、様々な映画のシーンや、28人の映画人のオフショットの写真も多数収載されていて見どころ満載である。



- 19 風邪の初期に鼻水と咳が出る時
- 20 風邪の初期に悪寒がする時
- 21 風邪や過労で喉が痛い時
- ※貧血、血液循環に関する漢方薬作り
- 22 虚熱が出て喉が渇き動悸が激しく忘れやすい時
- 23 軽い貧血の時
- 24 血液の循環が良くない時
- ※筋骨格系に関する漢方薬作り
- 25 過労による腰痛、腎虚による腰痛の時
- 26 首筋がこって頭が重い時
- 27 体が痛む時
- 28 二日酔い解消、胃腸の調子が良くない時
- 29 二日酔い解消、体がむくみ重い時
- ※ダイエットに効く漢方薬作り
- 30 空腹がひどかったり体力が落ちた時
- 31 ダイエットにストレスを感じる時
- 32 下肢肥満やむくみがひどい時
- 年齢・世代ごとの補薬作り
- ※成長期の子どものための漢方薬作り
- 33 食が細い時
- 34 汗をたくさんかく時
- 35 風邪をひきやすい時
- 36 やたらとビックリし眠りが浅い時
- 37 内臓が冷え腹痛がし便が緩い時
- 38 しょっちゅう具合が悪く虚弱体質な時
- 39 成長に助けが必要な時
- ※受験生のための漢方薬作り
- 40 集中力が落ちた時
- 41 頻繁に腹痛、下痢、食欲低下が起こる時
- 42 ストレスで不安になり眠れない時
- ※生理前後の女性に効く漢方薬作り
- 43 生理痛がある時
- 44 生理前症候群
- ※出産期の女性に効く漢方薬作り
- 45 出産後の悪露を取り除く時
- 46 出産後に気血を補う時
- ※更年期の女性に効く漢方薬作り
- 47 更年期初期、突然のぼせ脂汗が出る時
- 48 更年期、体力大家がひどい時
- ※老年期の健康に効く漢方薬作り
- 49 食欲を失い元気がない時
- 50 腰、膝などの関節に力がなく痛い時

第3部：生活に余裕を与える韓薬を手軽に楽しみ方

- 韓薬の利用法1 韓薬茶
- 01 ケツメイシ茶
 - 02 クコシ茶
 - 03 菊花茶
 - 04 橘皮減茶
 - 05 当帰茶
 - 06 なつめ茶
 - 07 えごま茶
 - 08 かりん茶
 - 09 ミント茶
 - 10 しょうが茶
 - 11 五味子茶
 - 12 ゆず茶
 - 13 ハトムギ茶
 - 14 高麗人參茶
- 韓薬の利用法2家で楽しむ薬草半身浴

全体のあらすじとアピールポイント

第1部では、韓方について一般的に認知されている誤った常識や噂の例を挙げ、補薬を作る前に簡単な韓方の常識を解説する。そして韓薬を購入できるサイトや場所などを記載し、韓薬の保存や煎じ方、韓薬の種類などの基礎知識をまとめている。

第2部では、季節・症状・年齢や世代ごとの補薬の作り方が50種類、記載されている。また、韓方や補薬を服用する以外にも、規則正しい生活や食生活の重要性を説き、読者の健康を補薬作り以外の面からもサポートしてくれる。

第3部では、韓国の伝統茶の特徴や作り方、韓薬を用いた半身浴の楽しみ方などを記載し、多方面から韓方を楽しむことが出来るように手助けをしてくれる。

目次

第1部：私たちが必ず知っておくべき韓薬の常識

わたしたちは健康を願っている韓薬に関する常識をくつがえす知っておくと便利な韓薬の材料の仕入れ先薬効を2倍に高める韓薬の材料購入の要点簡単で便利な韓薬の煎じ方韓薬の材料の効能と選び方

第2部：私たちの生活に必ず必要な補薬作り50

- 季節ごとの補薬作り
- 01 春、五月病で体がだるい時
 - 02 春、黄砂が吹く時
 - 03 夏、夏バテする時
 - 04 夏、冷房病の予防と治療に
 - 05 秋、季節の変わり目の健康管理に
 - 06 冬、寒さ対策に
- 症状ごとの補薬作り
- ※体力維持の漢方薬作り
 - 07 元気がなくて疲れている時
 - 08 手足が冷える時
 - 09 冷や汗が出る時
 - 10 血液を綺麗に、体を軽く
 - 11 漢方薬の代名詞、十全大補湯
 - ※神経系の症状に効く漢方薬作り
 - 12 動悸が激しく眠れない時
 - 13 ひどいショックを受け不安な時
 - ※消化器系の症状に効く漢方薬作り
 - 14 消化不良の時
 - 15 下痢の時
 - 16 便秘の時
 - ※呼吸器系の症状に効く漢方薬作り
 - 17 咳が抜けない時
 - 18 呼吸器系を丈夫にしたい時

踊る韓方医チェ・スンの自分で作る韓方薬

춤추는 한의사 최승의 내 손으로 보약만들기

著者：チェ・スン 최승
 出版日：2007年1月20日
 発行元：ジョンナムスプ 전나무숲
 ISBN-10：8991373089 | ISBN-13：9788991373082
 ページ数：273ページ
 版型：A4(210×297mm)
 分野：健康>漢方治療>漢方健康



本書の概略

韓国では一般的に服用されている韓薬。韓国には韓薬を専門的に処方する韓方医が多くいて、筆者もその一人である。日本でも韓国の美容や健康への強い関心から、ガイドブックで取り上げられるほどなのでご存知の方も多いのではないだろうか。本書は体調不良の治癒を目的とした専門書ではなく、様々な原因から生じる身体の不調に合わせて韓薬を家で手作りし、短期間服用することによって健康の改善と維持を目指す、補薬のレシピ本である。

著者の経歴

ソウルの慶熙大学校韓医科大学卒業後、同大学院で韓方精神科修士課程修了。ポセン韓方病院韓方内科専門医を修了し、イエガ韓方院共同院長を歴任。大韓韓方肥満学会会員、韓国精神治療学会会員である。「踊る韓方医」という通称は、2004年に発売された『踊る韓方医チェ・スンの

ダンスダイエット』(『춤추는 한의사 최승의 댄스 다이어트』)に由来している。

日本でのアピールポイント

日本でも韓国の美容や健康への強い関心から、韓方薬が旅行のガイドブックで取り上げられるようになった。本書には、日本でも手に入れやすい材料で、お茶をいれるように作れるレシピが掲載されていると同時に、症状ごとにどんな漢方薬が効果的なのか一目でわかるようになっており、韓国で漢方薬を購入する前の指南書としても利用できる。著者は女医で、自ら振り付けを考案したダンスによるダイエットを開発、主婦や一般人から人気を得た。日本で爆発的に売れた『モムチャン・ダイエット』のように著者にスポットライトを当てた宣伝も可能な1冊である。

- 37 背中と胸のニキビを無くすためには長い髪を切ってリンスを使わないこと!
- 38 高い化粧品を買わずに高い美容道具を買え!
- 39 清潔な肌がほしいなら布団、シーツ、枕カバーをまめに替えろ!
- 40 肌美人になりたいならお菓子を遠ざけろ!
- 41 タバコを捨てろ!
- 42 美しい肌は化粧品ではなくあなたにかかっている!



目次

プロローグ 彼らを信じないで!

1章 専門家たちが広めた間違った情報

- 01 モチ肌になりたいなら手で顔をさわるな?
- 02 洗顔だけに30分、産毛の内側まできれいに洗え?
- 03 洗顔後の急速な水分の蒸発、3秒以内に保湿剤を塗れ?
- 04 振動ファンデーションを使えば化粧がもっときれいになじむ?
- 05 紫外線カットクリームは豆粒くらい塗れ?
- 06 化学成分はどれも肌の敵?
- 07 肌年齢は絶対に知らなきゃダメ?
- 08 洗顔だけで赤ちゃん肌がつくれる?

2章 広告がふきこんだおかしな考え

- 09 化粧品が肌に奇跡を起こす?
- 10 化粧品はテクノロジーが集約されたものすごい科学?
- 11 成分は関係ない? 化粧品は絶対に塗らなきゃわからない?
- 12 誰もが機能性化粧品、機能性ならどれも効果がある?
- 13 韓方化粧品には何か特別なものがある?
- 14 歳をとるほど高価な化粧品を使わないといけない?
- 15 肉割れクリームを塗れば本当に肉割れが消える?
- 16 ボディスリミング製品を塗ればセルライトが消える?
- 17 男性には男性だけの化粧品が必要?

3章 定番すぎて捨てられない迷信

- 18 化粧は必ずクレンジングクリームで落とさないといけない?
- 19 肌が望むものは昼と夜では違う?
- 20 きめを整えるために化粧水の使用は必須?
- 21 高いエッセンスをひとつくらいは必ず塗らなきゃダメ?
- 22 目のまわりには絶対にアイクリームだけを塗らなきゃダメ?
- 23 アロマオイルはやさしい天然成分?

4章 だまされないために必ず知っておくべき真実

- 24 ナノ粒子が肌の奥まで浸透する?
- 25 有機化粧品のほうがやさしくて効果がある?
- 26 DIY化粧品のほうがやさしくて安全?
- 27 きれいなデザインも大事?
- 28 ミネラル・メーキャップは奇跡の製品?
- 29 BBクリームはメーキャップ化粧品じゃなくて基礎化粧品?
- 30 化粧品でニキビとアトピーを治せる?
- 31 インターネットの使用後レビューは役に立つか?
- 32 新聞記事は事実を語っているか?

5章 ビュアな肌をつくるための最強のアドバイス

- 33 定期的な角質除去は肌の健康に必須!
- 34 よい洗顔剤でよい肌をつくれる!
- 35 紫外線遮断剤をかんたんに信じるな!
- 36 化粧が固まるのがイヤならたくさん塗るな!

美肌をダメにする42の真実

—最強のビューティー・アドバイザー 2人による肌の常識

명품 피부를 망치는 42가지 진실
—최강 뷰티 멘토 2인이 전하는 피부의 정석

著者 : チョン・ヘシン 정혜신 / チェ・ジヒョン 최지현
 出版日 : 2013年1月7日
 発行元 : ウィズダムスタイル 위즈덤스타일
 ISBN-10 : 8998010119 | ISBN-13 : 9788998010119
 ページ数 : 276ページ
 版型 : A5(148×220mm)
 分野 : 健康>スキンケアの方法



本書の概略

外見と若い肌に執着するあまり、マスコミや化粧品会社の華やかな広告に惑わされ、多くのお金と時間をつぎ込んだにもかかわらず大した結果が得られない現状に対し、美肌を手に入れるためには、まず健康な食生活と適度な運動、仕事とプライベートのバランスを通して心を豊かにすることを提言する。

著者の経歴

チョン・ヘシン・清潭洞ピュア皮膚科医院 (www.pureskin.co.kr) 院長。SBSテレビ『よく食べよく暮らす方法』など各種メディアで活躍中。皮膚科専門医としての座右の銘は「基本に忠実であれ」「過ぎたるは及ばざるがごとし」。主な著書は『肌に話しかける女』『セルフ肌管理法』『スタイル・ゴルフ』など。チェ・ジヒョン・ライター・翻訳家。日刊紙の外信部、ニューズウィーク韓国語版の翻訳委員を経て人物、教育、経済、文化など多方面にわたる執筆あり。主な著書・翻訳書は『ミス 코리아・クム・

ナナのネバーエンディング・ストーリー(共著)、『これを読まずに化粧品カウンターに行ったらダメよ(ポーラ・ビゴーン著)』『ガラクタ捨てれば自分が見えるー風水整理術入門(カレン・キングストン著)』など。

日本でのアピールポイント

韓国コスメが日本の市場を賑わすなか、リーズナブルな費用で健康な肌をつくるため、基本にたちかえて噂や評判を一つずつわかりやすく論破する姿勢は、消費者にとって新鮮かつ良心的と言える。商品を売るために手段を問わないマスコミや化粧品会社、メーキャップ・アーティスト、専門医に対して批判的だが、名指しで全面否定する記述はない。

目次

- PART1 思い出のトッポッキ
 - PART2 子供のための健康トッポッキ
 - PART3 おもてなしトッポッキ
 - PART4 韓国伝統料理トッポッキ
 - PART5 ダイエットトッポッキ
 - PART6 世界の中のトッポッキ
 - PART7 アレンジトッポッキ
 - PART8 残りものトッポッキ料理
- *付録－韓国全土のトッポッキ

全体のあらすじ

トッポッキのトック(餅)の種類と特徴、使用する調味料を初めに紹介し、8つのPARTに分けてテーマ別のトッポッキ料理レシピを掲載している。一つ一つのレシピは、食欲をそそる美味しそうな写真から始まり、メニューや材料の説明、調理方法が写真を添えながら分かりやすく説明されている。付録として地域別にトッポッキの店を紹介し、実際に著者が訪れ、その土地のトッポッキの味、お店の雰囲気レポートしている。



ニュー開発に尽力している。料理&生け花アカデミー Hyun Academy、ネイバー料理ブログを運営している。

日本でのアピールポイント

メニューの説明は短い文体で分かりやすく、そして読者に語りかけるように書かれている。レシピは4〜6の工程に分けて簡潔に、写真を添えて箇条書きされている。日本のお料理レシピ本とさほど変わらないレイアウトで、版元にデータごと購入して使うことをおすすめ。トッポッキはすでに日本でも市民権を得た韓国の食べ物で、20〜50代の女性、特に韓流ドラマなどのファン層にアピールできる一冊である。

料理になったトッポッキ

요리가 된 떡볶이

著者：イ・ヒョンギョン 이현경
 出版日：2011年9月30日
 発行元：ネックサスBOOKS 넥서스BOOKS
 ISBN-10：8957978119 | ISBN-13：9788957978115
 ページ数：192ページ
 版型：150×170mm
 分野：料理>テーマ別料理



本書の概略

韓国の伝統料理トッポッキは、韓国人であれば老若男女誰もが好む手軽な食べ物だ。しかしトッポッキは屋台で食べる料理、安い間食というイメージで、正統な料理からは疎外感を持たれているのが現実だ。有名トッポッキフランチャイズ「アツタル」の娘で料理研究家の著者が、40年間守ってきたトッポッキの秘密のレシピ70種を公開する。韓国料理の世界化、政府の米消費政策により、トッポッキに対する関心が高まる中、代表的な間食となったトッポッキを単なる庶民的な間食ではなく、韓国の正統料理・高級料理として生まれ変われることを示すために本書は発刊された。同じ人が作っても出来上がりの味がいつも違うトッポッキを、おもてなし料理としても見劣りしないメニューから、レストランメニューのような品格のあるメニューまで、いつでもどこでも同じ味を出せるように、トッポッキ料理として初めてレシピをマニュアル化し、最上の調味料の比率から調理法まで、「アツタル」だけの特別なトッポッキ料理を紹介

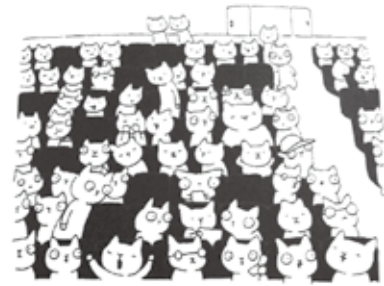
著者の経歴

韓国最大の粉食フランチャイズ「アツタル」(父(アボジ)の天ぶら、娘(タル)のトッポッキ)の「娘」。CJホームショッピングと料理雑誌『ESSEN』フードスタイリストとして活躍し、KBS『リビングショー』、あなたの6時、『MBC』生放送今日の朝』等に出演。

現在(株)Otworkspace 料理研究所所長であり、アツタルの理事として様々なメ

『いつでも同じ味を出せるような標準化されたレシピで、誰でも簡単に調理できるように工夫されている。』また、トッポッキは材料や調理法によって、状況に合った料理に変身できる。季節の野菜を使い子供の栄養を考えた健康トッポッキや、低カロリーの食材を使ったダイエット効果を期待できるトッポッキ、外国人でも美味しく頂けるトッポッキ等、レシピが多様化されており、自分に合ったトッポッキをきつと見つけることができる。

している。



처음에는 볼꺼지가 전까지 어색할지도 몰라. 하지만 곧 익숙해질 거야.

全体のあらすじ

白猫のスノーキャットは、とにかく面倒なことを横に置いて一人の時間を謳歌する性格。買い物はまとめて行き、何もしなくて良い日を「作る」。何もしないことをヒマだと思うことなく、何かを思いついてはちまちまやってみる。母親に口うるさく言われたら穴を開け、箱をかぶり、貞子が出てきたら1人の時間を邪魔するなど追い返し、何かにつけて主題歌をつくる。そこにあるものに、いちいちちょっかいをかけて遊んでいるスノーキャット。彼は絶対に面倒くさがり屋では、ない!

目次

招待	ダースベイダー	近所の熊おじさん
箱を使う	宇宙人の訪問	先生の回想
テーマ曲	感心	歌をつくる
新聞帽子	あなたがひとり遊びに成功する確率	ひとり遊びを妨害するものたち
ひとり映画	リング再び	カウンセリング
あなたのタイプは?	死んだふり	灯りを消す
生まれつき	モルダー	空虚
想像だけで楽しい	猫に学ぶひとり遊び	屈しない
仮面	すいかの種	母と話す
主題歌	忠告	透明人間
リング	方向感覚テスト	自虐の方法
適材適所の音楽	履歴書	人の管理
宇宙人に拉致される	ひとりカフェ	おもちゃ
克服	選択	ひとりごはん
机の下	アウトサイダー	
オレンジの顔	離脱	



人気作。εpsilon0という開かれた場所で開催されたがゆえの緩々とした空気が残っており、息抜きに最高の一冊に仕上がっています。おもしろくて真面目なふるく付き。

SNOWCATのひとり遊び

SNOWCAT의 혼자 놀기

著者：クオン・ユンジュ 권윤주
 出版日：2009年5月30日
 発行元：OPENBOOKS 열린책들
 ISBN-10：893290863X | ISBN-13：9788932908632
 ページ数：115ページ
 版型：B5
 分野：マンガ>コミックエッセイ



本書の概略

Playing Alone
 そのサブタイトルが示す通り、ひとり遊びを何よりの楽しみにしている人たちがいる。ひとりで過ごす時間を大切にし、干渉せず、自由に過ごす。ところが周りからは「いつもけだるい人」に見えている。そんな人が、あなたの周りにもきつというはず！
 小さな白い猫、スノーキャットが教える「ひとりでうまく遊ぶ」方法。それは時に子供っぽく、時間の浪費で、言葉ではうまく説明できないこと。だけど、疎外感、ひとりぼっちをマイナスに捉えず、楽しみに変え、時にはどこかで同類の心地よい空間を作り出していたりする。
 「けだるい人」は、何もかもめんどくさいと感じて墮落した生活を送っているわけではなく、そこに価値を見出し、何にでも興味を持って実践してみる、「楽しんでる人」だと言えるのだ。ひとりご飯、ひとり映画、ひとり暇つぶし。現代生活のわずらわしさを避け、それ自体を自分なりの楽しみへと昇華してい

くこと。そんな妄想に近い遊び方を、クスツと笑える息抜きを、スノーキャットは教えてくれる。

著者の経歴

1975生まれ。弘益大学視覚デザイン科卒業。1997年、何気ない自分の毎日を描いてみようというHPを開設、趣味でマンガを描き始める。1998年からウェブ雑誌『ネットタッチコミックス』で連載を開始。『FINE 2.0』で『スノーキャットの映画日記』を連載。受賞歴に2002年 第1回 読者漫画大賞、オンライン漫画賞、2005年 第24回フランス3千万動物仲間のための財団文学賞がある。

その他の作品に『消しゴム』『猫が来た』『SNOWCAT in Paris』などがある。
www.snowcat.co.kr
日本でのアピールポイント

韓国で盛んなウェブマンガという文化の中で、本として出版されるほどの

目次 (一部を抜粋)

- 話その一 粉青沙器どぼん模様祭器
- 話その二 青磁象嵌雲鶴模様瓶
- 話その三～その六 陶磁器作品はなくコミックのみ
- 話その十二 陶磁器各部の名称

主な登場人物

主人公 おさげ髪の女性。子供時代はちびまる子ちゃんに似た姿で描かれている。彼女の親友は魚、先輩はカンガルー、教授はリス、習字の先生は鶏、といったように、さまざまなかわいらしいキャラクターで登場する。

全体のあらすじ

主人公のホヨンは名門大学で陶磁器について学ぶ女子大生。親に厳しく育てられたが、現在は寄宿舍で気の合うルームメイトたちと暮らす。試験は大変だが、大好きな陶磁器を見ると想像が膨らむ。勉強に追われる韓国の大学生の日常、夜食の出前に盛り上がるなど、飾り気のない女子寄宿舍の生感が興味深く、家族や夫婦愛を扱ったコミックでは思わずほろりとさせられる。

陶磁器一心を込めた器

도자기 - 마음을 담은 그릇

著者：ホヨン 호연
 出版日：2008年5月13日
 発行元：ANIBOOKS 애니북스
 ISBN-10：8959191949 | ISBN-13：9788959191949
 ページ数：416ページ
 版型：A5
 分野：漫画>コミックエッセイ



本書の概略

韓国のポータルサイト、ネイバーのウェブチューン(インターネット連載漫画)だったが、人気が高く単行本化された。韓国が誇る数々の美しい陶磁器を、親しみやすいイラストの漫画で紹介している。全60話に分かれており、タイトルには陶磁器の名前が付けられている。一つの陶磁器に対して、その陶磁器にまつわる作者の経験、想像、思い出などが数ページのコミックエッセイで描かれている。3〜7ページほどのものが多く、一番長いもので25ページ。コミックの部分は4コマ漫画あり、劇画調ありとさまざま。陶磁器の名称などをわかりやすく解説してくれるコミックである。土器から白磁、青磁に至る朝鮮伝統の陶磁器の流れを網羅した1冊である。

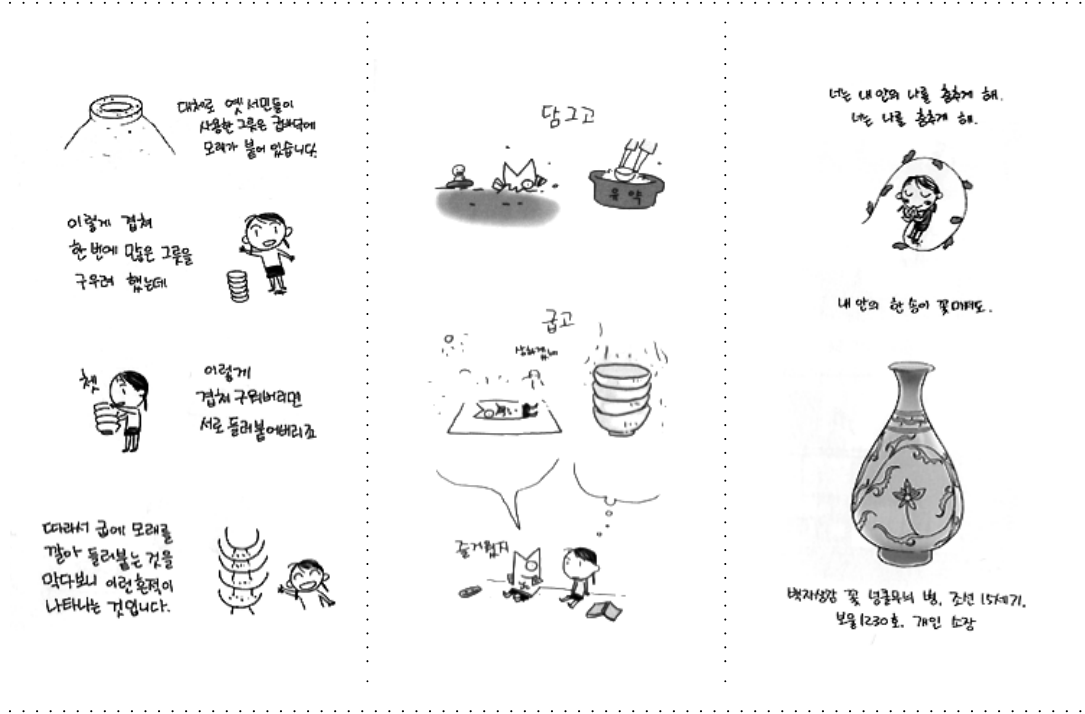
著者の経歴

高麗大学卒業。イラスト・ウェブチューン作家。大学在学中にブログで始めた『陶磁器』が人気を集め単行本化された。単行本としては『陶磁器』のほかに、3コマ

日本でのアピールポイント

日本ではジャンルとして確立されているコミックエッセイで、親しみやすく女性好みの本。美しい写真で紹介されている国宝級の陶磁器の数々には所蔵美術館が明記されている。日本語版でそれぞれの美術館へのアクセス情報などを付け加えれば、韓国文化や陶磁器に興味がある旅行者のよい手引きになると思われる。

漫画の『砂金日記』があり、『寺で出会う私たちの文化』(バク・サンヨン著2010年)でイラストを担当した。他にも、古朝鮮の始祖とされる檀君をテーマにしたウェブチューンがある。現代の韓国で忘れられがちな伝統的な朝鮮文化を、親しみやすい漫画で描く姿勢が注目を集めている。



目次

1巻

- 1話 私は垢すり師
- 2話 神の手
- 3話 男湯
- 4話 風呂闘
- 5話 こんな僕でI`m so sorry but i love you
- 6話 強い
- 7話 星が光る夜、僕たちは風呂闘をしている
- 8話 自分自身が怖い
- 9話 授業
- 10話 愛はクムジャ湯の薬草風呂で

2巻

- 11話 頭が真っ白
- 12話 新人テスト
- 13話 みんな、よく分かってないじゃん
- 14話 彼女の事情
- 15話 肌色の巨塔(1)
- 16話 肌色の巨塔(2)
- 17話 チャンス
- 18話 記憶
- 19話 虚勢
- 20話 お父さん
- 21話 夢

3巻

- 22話 浴槽の月光
- 23話 垢すりするぞ!
- 24話 決戦前夜
- 25話 雨の中で
- 26話 お風呂の神
- 27話 クムジャ湯の屋上
- 28話 契約終了
- 29話 さようなら
- 30話 花粉の雪
- 31話 ANDING



全体のあらすじ

1巻:ヤミ金業者に追われるホセは、偶然入った高級風呂「クムジャ湯」で自分の才能を見抜いたカン会長に会い、垢すり師の研修生として働きます。唯一の目標はお風呂大会で優勝し、賞金3万円と副賞の最高級セダンをもらうこと。苦しい生活から抜け出したい一念で、必死に努力をしていく。

2巻:垢すり対決で先輩カンへに勝ったホセは自信满满。しかし、クムジャ湯伝統の新人テストに通らなければクビになり、優勝賞金は水の泡となってしまう!カンへの教えて無事新人テストに合格し、正式なクムジャ湯の一員になる。

3巻:待ち望んだお風呂大会、渾身の力で垢すりに臨むホセ。しかし優勝を逃してしまう。すべてが水の泡になったその時、専攻のデザイン関連会社に就職するチャンスが訪れる。クムジャ湯を去りデザイン会社に入社したホセは、サラリーマンとして平凡な毎日を送るが、自分のやりがいほ垢すり師であった事に気付きクムジャ湯に戻ることに。

主な登場人物

ホセ 短大でデザインを専攻し卒業するが就職ができず、ヤミ金に手を出してしまい追われる身になる。偶然入った高級風呂「クムジャ湯」で出会ったカン会長の提案で垢すり師になり、人生が大きく変わる。父が垢すり師だったことにコンプレックスを持っている。

カン会長 クムジャ湯のオーナーで自他公認のお風呂の神。かつてある事件によって腕を怪我し、一線から退く。今は若手の垢すり師を養成し、後継者を選ぶためお風呂大会を開催している。

カンへ 子供の時からお風呂で育ち、垢すり師の職にプライドを持っている青年。研修生のホセの指導係になり情熱をもって教えるが、ホセとは何かにつけ口論になる。過去にカン会長との間に起こったある出来事とは……。

ユラ クムジャ湯の女湯の新人。垢すり師の母の影響で自分も垢すり師を目指す、まだ実力が追いつかない。

お風呂の神

목욕의 신

著者：ハ・イルグォン 하일권

出版日：2012年5月2日

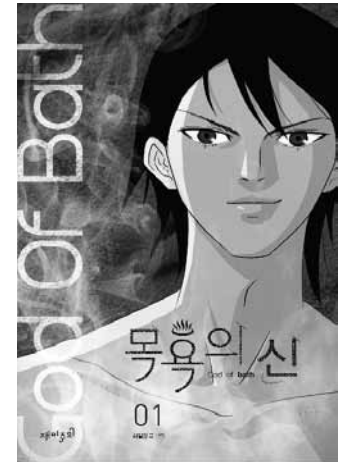
発行元：ジェミジュイ 재미주의

ISBN-10：8901144646 | ISBN-13：9788901144641

ページ数：900ページ

版型：A5

分野：漫画>コミックエッセイ



本書の概略

都心での生活に憧れ田舎からソウルに上京した主人公「ホセ(虚勢と同じ発音)」は、見栄えばかり気にする日々を送り大学を卒業するが、社会はそんなに甘くない!ホセは厳しい就職難に直面しニートになった。ニートになってもお金の無駄遣いは変わらず、挙句の果てにヤミ金にまで手を出してしまい、借金業者に追われる身に転落する……。偶然に入った高級風呂で出会った「風呂の神」カン会長は、ホセの才能を見破り借金を肩代わりする事を条件に「お風呂大会」に出場することを提案する。これを機にホセは「クムジャ湯」で垢すり師の研修生になり、お風呂大会に向かって物語は進んで行く。

著者の経歴

1982年ソウル生まれ。2008年に世宗大学漫画アニメーション学科を卒業、同年デビュー作『サンボン・イバルソ(サンボン床屋)』で韓国漫画大賞新人賞を受賞。その語数々のヒット作を発表し若手漫画

家として注目を集め、『お風呂の神』の大ヒットで一躍人気漫画家になった。

日本でのアピールポイント

韓国を訪れる多くの日本観光客が一度は体験する「テミルギ(垢すり)」。垢すりの体験そのものも新鮮だが、それより気になるのが「テミリ」と呼ばれる垢すり師の独特存在だ。体の隅々まで2度3度に渡り、垢を残さず落としてくれる垢すりのプロフェッショナル。垢すりをした後はまるでストレスまで吹き飛んだような爽快感!

近年、日本のスーパー銭湯にも広まっている韓国独特のお風呂文化「垢すり」をテーマにした『お風呂の神』。ユーモア溢れるこの漫画には、数々のイケメン垢すり師が登場する。既に映画化も決まっており、人気アイドルがキャストイングされるとの噂も流れるなど、実写化も原作同様に注目を集めている。『お風呂の神』が、もう一つの韓流アイコンになるかもしれない。

発行人 中沢けい
編集長 古川綾子
編集委員 金承福
鈴木文
趙美良
許真
禹丞美

アートディレクション 岡崎暢子
デザイン 尹炳宇
表紙写真 井上美知子

編集協力 五十嵐真希 井上美知子 臼井菜摘 小山内園子
加来順子 吉良佳奈江 近藤佳那子 酒井美絵子
田口睦 舘野哲 中野宣子 朴賢淑 朴珍榮
橋川幸一 蜂須賀光彦 韓基殷 藤原友代 星野悦子
松山麻衣子 宮田裕子 村木典生 森川景子
柳川陽介 ヤン・ミソン(五十音順)

日本語で読みたい韓国書籍 -おすすめ50選-

2013年5月30日発行
企画・編集・発行：K-文学振興委員会
印刷：モリモト印刷株式会社

〒104-0052 東京都中央区月島2-5-9 2F
Tel:03-3532-3896 Fax:03-5548-6026
E-mail:info@k-bungaku.com
www.k-bungaku.com

K-文学振興委員会は、公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団の平成24年度助成金をはじめ、大韓出版文化協会、ゲームオン株式会社、韓国コンテンツ振興院、韓国文学翻訳院、在日韓国人経営者クラブ、在日本韓国人連合会、ユーキャンバイザワールド株式会社、そして韓国の多くの出版社からご支援を頂き活動しております。

1. 高齢化家族 고행화 가족 2. 旅をする猫 고양이 여행자 3. やじ馬たち 구경꾼들 4. 私のTOEIC満点手記 나의 토익만점 수기 5. わたしの恋愛のすべて 내 연애의 모든 것 6. 私の舌が口の中に閉じ込められているのを拒否するなら 내 혀가 입속에 갇혀 있길 거부한다면 7. 君の声が聞こえる 너의 목소리가 들려 8. オオカミ 늑대 9. たった一度の愛 단 한번의 연애 10. 桃の木 복숭아 나무 11. 西の森へ行った 서쪽 숲에 갔다 12. 時間を売る店 시간을 파는 상점 13. ワンドウギ 완득이 14. ウィザード・ベーカリー 워저드 베이커리 15. おやすみ、ママ 잘자요 엄마 16. 古代ギリシャ語の時間 희랍어 시간 17. 幸せな晚餐 행복한 만찬 18. 私の人生に勇気を与えてくれた一言 내 인생에 용기가 되어준 한마디 19. 地球という星の大人が星の王子様に出会う 지구별 어른, 어린왕자를 만나다 20. お花畑 꽃밭 21. 雪のほら 눈밭 22. しらないふりのおひめさま 모르는 척 공주 23. チェ・スッキの童謡CD付き絵本セット 최숙희의 그림책 동요 세트 24. おじいさんを喜ばせる12の方法 할아버지를 기쁘게 하는 12가지 방법 25. 都会のママに贈る田舎の教育法 도시엄마를 위한 시골 교육법 26. 一日3時間ママの匂い 하루 3시간 엄마 냄새 27. キムチ愛国主義—マスコミの理由なき反日 김치 애국주의 - 언론의 이유 없는 반일 28. 私が読んで出会った日本 내가 읽고 만난 일본 29. 身長103cmヒアの奇跡 103센티미터 희아의 기적 30. 寂しい時は山に行け 외롭거든 산으로 가라 31. 韓国式の産後ケア100日の軌跡 산후조리 100일의 기적 32. 健闘を祈る 건투를 빈다 33. 男の空間 남자의 공간 34. 脳美人 뇌미인 35. 銭湯で出会った億万長者の金持ちの話 목욕탕에서 만난 백만장자의 부자이야기

36. ダーウィンの知能—共感の時代を生きるための知恵 다윈 지능 - 공감의 시대를 위한 다윈의 지혜 37. 戦う人文学—韓国人文の最前線 싸우는 인문학 - 한국 인문학의 최전선 38. 私の文化遺産踏査記 나의 문화유산 답사기 39. 東洋と西洋のお茶物語 동과 서의 차 이야기 40. ユ・ホンジュンの国宝巡礼 유홍준의 국보순례 41. 協同組合は素晴らしい—世界の99%のための企業を学ぶ 협동조합, 참 좋다 - 세계 99%를 위한 기업을 배우다 42. 都市生活者の政治白書 도시 생활자의 정치 백서 43. ハン・ホングと一緒に歩く - 平和のまなざしで振り返った韓国現代史 한흥구와 함께 걷다 - 평화의 눈길로 돌아본 한국 현대사 44. 映画が好きだ—韓国映画を代表する忠武路の映画関係者らの率直な話 나는 영화가 좋다 - 한국 영화를 대표하는 충무로 영화인들의 진솔한 이야기 45. 踊る韓方医チェ・スンの自分で作る韓方薬 춤추는 한의사 최승의 내 손으로 보약만들기 46. 美肌をダメにする42の真実—最強のビューティ—アドバイザー2人による肌の常識 명품피부를 망치는 42가지 진실 47. 料理になったトポツキ 요리가 된 떡볶이 48. SNOWCATのひとり遊び SNOWCAT의 혼자 놀기 49. 陶磁器—心を込めた器 도자기 - 마음을 담은 그릇 50. お風呂の神 목욕의 신



日本語で読みたい韓国書籍 -おすすめ50選-
 発行日:2013年6月1日 企画・編集・発行:K-文学振興委員会
 〒104-0052 東京都中央区月島2-5-9 2F
 Tel:03-3532-3896 Fax:03-5548-6026
 E-mail info@k-bungaku.com www.k-bungaku.com